

柱状図(175.00m～200.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事				
													0 20 40 60 80 100			
180			+	花崗斑岩	にぶい 黄橙	CL'	100	16	36	●	●	●	①			
						灰黄褐	①	100	25					69		
							100	12	34							
							100	21	71							
							100	36	86							
						にぶい 黄橙	CM'	100	30					84		
								100	20					96		
								100	19					29		
								100	10					20		
								100	13					35		
								100	19					31		
						灰黄	CL'	100	3					0		
								にぶい 黄橙	CM'					100	22	36
														100	21	44
														100	17	28
100	13	45														
にぶい 黄	CL'	100	16	26												
		100	14	14												
にぶい 黄橙	CM'	100	19	49												
		明黄褐	100	18	42											
		100	18	41												
		100	29	40												
		100	25	35												
190			+	花崗斑岩	にぶい 黄橙	CM'	100	15	35	●	●	●				
							100	22	33							
							100	18	41							

1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	①-2		調査位置			北緯	
発注機関					調査期間		東経
調査業者名	主任技師			現代場人	コ鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	+ 66.14 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘削長	115.00 m	度	90° 下	向	36°	使用機種	エンジン
						ハンマー 落下用具	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	岩盤区分	岩級	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブノズル	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)				
																				(N値 ~ 深度)	0	10	20	30											40	50		
66.08 65.85	0.08 0.36	0.08 0.36		シルト混じり砂	にぶい 黄橙						0.00~0.08m: 植物根混じり腐植土。 0.08~0.36m: 腐植混じり砂。 全体に植物根を含む。 0.36~2.93m: マサ土。 にぶい橙~黄橙色を呈するシルト混じり砂からなる。所々、花崗斑岩やアブライトの岩片を含む。																											
62.96	3.93	3.93		花崗斑岩 アブライト	橙 淡橙	Eg VIg	dg	ε	3		3.93~4.42m: 花崗斑岩。 4.42~4.96m: アブライト。 ブロック化した岩盤と推定される。	3.93	3.93				D'								557			20.0										
62.56 62.13	4.42 4.96	4.42 4.96		花崗斑岩 アブライト	橙 淡橙	Eg VIg	dg	ε	3		4.96~5.59m: 橙色を呈するシルト質砂からなる。	4.96	4.96				D'																					
61.62	5.59	5.59		アブライト	浅黄橙						5.59~7.75m: アブライト。 径1~5mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を3%程度含む。 全体に風化、変質し原岩組織が不明瞭である。	5.59	5.59				D'																					
59.87 59.51	7.75 8.20	7.75 8.20		花崗斑岩 アブライト	橙						7.75~10.70m: アブライトと花崗斑岩が互層状に分布する。 アブライトは径1~2mm程度の石英、長石、径1mm以下の黒雲母の斑晶を3%程度含む。 花崗斑岩は径1~7mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~7%程度含む。両者の境界は漸移的である。	7.75	7.75				D'																					
59.09	8.72	8.72		花崗斑岩	橙						9.37~9.58m: マンガンが濃集し、暗灰色を呈する。	8.72	8.72				D'																					
58.56	9.37	9.37		アブライト	黄橙						10.70~32.11m: 花崗斑岩。 径3~12mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を10~15%程度含む。全体に風化、変質し原岩組織が不明瞭である。	9.37	9.37				D'																					
57.89	10.20	10.20		花崗斑岩	黄橙						11.73~11.91m: 破砕帯 (Hc)。上盤67°下盤25°。幅7cm程度。灰白色粘土からなる。塊状構造がみられる。	10.20	10.20				D'																					
57.48	10.70	10.70		アブライト	黄橙						13.27~13.61m: 斑晶の含有量が5%程度のアブライトを挟む。	10.70	10.70				D'																					
55.40	13.27	13.27		花崗斑岩	浅黄橙						18.15~18.54m: 斑晶の含有量が5%程度のアブライトを挟む。	13.27	13.27				D'																					
55.13	13.61	13.61		アブライト	赤橙						22.63~22.66m: 破砕帯 (Hc)。上盤60°下盤56°。幅2cm程度。灰白色粘土からなり、下盤に暗褐色粘土を伴う。	13.61	13.61				D'																					
51.46	18.15	18.15		花崗斑岩	淡黄 浅黄橙	Eg VIg	dg	ε	3		22.66~22.83m, 23.30~23.89m: 斑晶の含有量が5%程度のアブライトを挟む。	18.15	18.15				D'																					
51.14	18.54	18.54		アブライト	黄橙						22.91~23.08m: 変質帯。上盤77°下盤62°。幅8cm程度。灰白色粘土からなる。膨縮著しく、不規則な形状を呈する。	18.54	18.54				D'																					
47.81	22.66	22.66		花崗斑岩	浅黄橙						24.74~24.80m: 変質帯。上盤50°下盤31°。幅4cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	22.66	22.66				D'																					
47.67	22.83	22.83		アブライト	にぶい 黄橙							26.00	26.00				D'																					
47.29	23.30	23.30		花崗斑岩	黄橙												D'																					
46.81	23.89	23.89		アブライト	にぶい 黄橙												D'																					
				花崗斑岩	灰白												D'																					

H20-①-2

柱状図(0.00m~30.00m)
H20-①-2

孔口標高	T.P.	66.14m	掘削長	115.00m
------	------	--------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	
10	65.85	0.36		有機質混じり砂	にぶい橙	⑧	100					0.00~0.08m ・有機質土である。
		0.36		シルト混じり砂	にぶい橙		100	0	0	0.00~0.36m ・有機質混じり砂である。 ・全体に植物根を含む。		
		3.93		花崗斑岩	淡橙		100			0.36~3.93m ・シルト混じり砂である。 ・にぶい橙~黄橙色を呈する。		
		4.42		アブライト	浅黄橙		100	0	0	3.93~5.59m ・花崗斑岩である。		
		4.96		アブライト	橙		100	0	0	4.42~4.96m ・アブライトである。		
		5.59		アブライト	黄橙		100	0	0	4.96~5.59m ・強化部である。		
		7.75		花崗斑岩	黄橙		100	0	0	5.59~7.75m ・風化、変質し原岩組織が不明瞭である。		
		8.20		アブライト	浅黄橙		100	0	0	5.9~7.75m ・アブライトである。		
		8.72		花崗斑岩	赤橙		100	0	0	7.75~10.70m ・アブライトと花崗斑岩が互層状に分布する。		
		9.37		花崗斑岩	淡黄		100	0	0	9.37~9.58m ・マンガンが濃集し、暗灰色を呈する。		
20	55.40	13.27	アブライト	黄橙	D'	100	0	0			0.70~32.11m ・花崗斑岩である。 ・全体に風化、変質し原岩組織が不明瞭である。	
		13.61	アブライト	黄橙		100	0	0	11.73~11.91m ・破碎部である。 ・主に灰白色の固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅7.0cm ・上端境界の傾斜は67°、下端境界の傾斜は2°である。			
		18.15	アブライト	黄橙		100	0	0	10.70~13.61m ・アブライトである。			
		18.54	花崗斑岩	黄橙		100	0	0	13.61~14.81m ・赤橙化する。			
		22.6	アブライト	黄橙		100	0	0	14.81~18.54m ・アブライトである。			
		22.6	アブライト	黄橙		100	0	0	22.63~22.66m (f-①-2-2破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。			
		23.36	花崗斑岩	黄橙		100	0	0	18.54~22.66m ・灰白色の未固結礫状部及び暗褐色の未固結粘土状部からなる。			
		23.89	アブライト	黄橙		100	0	0	22.66~22.83m, 23.30~23.89m ・アブライトである。			
		27.32	花崗斑岩	黄橙		100	0	0	22.83~23.08m ・変質している。			
		27.6	アブライト	黄橙		100	0	0	23.08~24.80m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。			
30	47.81	23.36	アブライト	黄橙	⑧	100	0	0			24.80~25.73m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。	
		23.89	花崗斑岩	黄橙		100	0	0	25.73~26.90m ・変質している。			
		27.32	アブライト	黄橙		100	0	0	26.90~27.31m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。			
		27.6	花崗斑岩	黄橙		100	0	0	27.31~27.39m ・変質している。			
		27.6	アブライト	黄橙		100	0	0	27.39~27.62m ・アブライトである。			
		27.6	花崗斑岩	黄橙		100	0	0	27.62~28.21m ・変質している。			
		27.6	アブライト	黄橙		100	0	0	28.21~28.91m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。			
		27.6	花崗斑岩	黄橙		100	0	0	28.91~29.08m ・変質している。			
		27.6	アブライト	黄橙		100	0	0	29.08~29.31m ・変質している。			
		27.6	花崗斑岩	黄橙		100	0	0	29.31~29.91m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。			

- 1-81, 1-82 (分類c) ①
岩種区分の”腐植土”を消去したため。
(性状が近いものを丸めたため)
- 1-83, 1-86 (分類c) ②
性状が近いものを丸めたため。
- 1-84 (分類d) ③
記事欄の記載変更に伴う変更。(柱状図模様の変更)
- 1-85 (分類d) ④
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-87 (分類c) ⑤
表現を統一したため。
- 1-88 (分類d) ⑥
記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
- 1-89 (分類d) ⑦
記事欄の記載変更に伴う変更。(岩級区分の変更)
- 1-90 (分類b) ⑧
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D □ [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定期日)	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)									
																(N 値 ~ 深度)																								
	44.04	27.32	[Stratigraphic Column Diagram]	花崗斑岩	灰白						25.64~25.73m: 変質帯。上盤57°, 下盤46°, 幅5cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	0																												
	43.79	27.62		花崗斑岩	淡橙	Eg	VIg	dg	δ			27.31~27.39m: 変質帯。上盤69°, 下盤55°, 幅3cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	0																											
	41.70	30.21		花崗斑岩	淡橙							27.32~27.62m: 斑晶の含有量が5%程度のアプライトを挟む。	0																											
	41.34	30.66		花崗斑岩	淡橙							27.97~28.21m: 変質帯。上盤不明, 下盤48°, 幅16cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	0																											
	40.16	32.11		花崗斑岩	淡橙	Dg	IVg	cg				30.21~30.66m: 斑晶の含有量が5%程度のアプライトを挟む。	0																											
	37.90	34.91		アプライト	灰白	Eg	VIg	dg				32.11~34.91m: 斑晶の含有量が5%程度のアプライトからなる。	0																											
				アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				32.90~34.91m: 破砕帯(Hc, Hb, Hj)。上盤66°, 下盤63°, 幅91cm程度。主に灰白色粘土からなり、一部に原岩組織が残る。	0																											
				アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				34.91~58.50m: 花崗斑岩。径1~10mm程度の石英、長石、径6mm以下の黒雲母の斑晶を10~20%程度含む。全体に斑晶が小さい。	0																											
				アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				34.91~45.65m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。	0																											
				アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				35.00~35.20m: 節理に沿ってマンガンが網目状に分布する。	0																											
				アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				35.64m以深は節理に沿って褐色化を呈することが多い。	0																											
				アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				40.00~40.50m: コアの表面が褐色化している。	0																											
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				41.08m: シーム、傾斜84°。幅0.2cm程度の褐色粘土からなる。周辺は節理が発達している。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				44.95m: シーム、傾斜53°。幅0.6cm程度の黒色粘土からなる。周辺は節理が発達している。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				45.61~45.65m: 変質帯。上盤60°, 下盤45°, 幅2cm程度。黄褐色砂状を呈する。上盤と下盤の傾斜方向が異なる。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				45.65~50.36m: コアは硬質で、ハンマーで金屬音を発することが多い。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				50.36~52.74m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~ぶい金屬音を発する。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				51.83m: シーム、傾斜40°。幅0.7cm程度の塊凝り黒色粘土からなる。変形構造が認められる。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				52.74~58.36m: コアは硬質で、ハンマーで金屬音を発することが多い。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				54.63~54.66m: 変質帯。上盤40°, 下盤50°, 幅2cm程度。軟質化している。下盤に幅0.2cm程度の灰白色粘土を伴う。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				55.51~58.00m: 節理に沿って淡緑灰色を呈する粘土を伴うことが多い。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				58.36~70.46m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~ぶい金屬音を発する。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				58.50~60.10m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が大きく、含有量も20~25%程度と多くなる。境界は漸移的である。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				58.69~59.39m: 変質帯。上盤90°, 下盤80°, 掘削方向とほぼ平行に分布するため幅は不明。軟質化している。	0																												
			アプライト	淡橙	Dg	IVg	cg				60.10~66.10m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が小さく、含有量も10~15%程度と少なくなる。境界は漸移的である。	0																												

H20-①-2

柱状図(0.00m~30.00m)
H20-①-2

孔口標高	T.P.	66.14m	掘削長	115.00m
------	------	--------	-----	---------

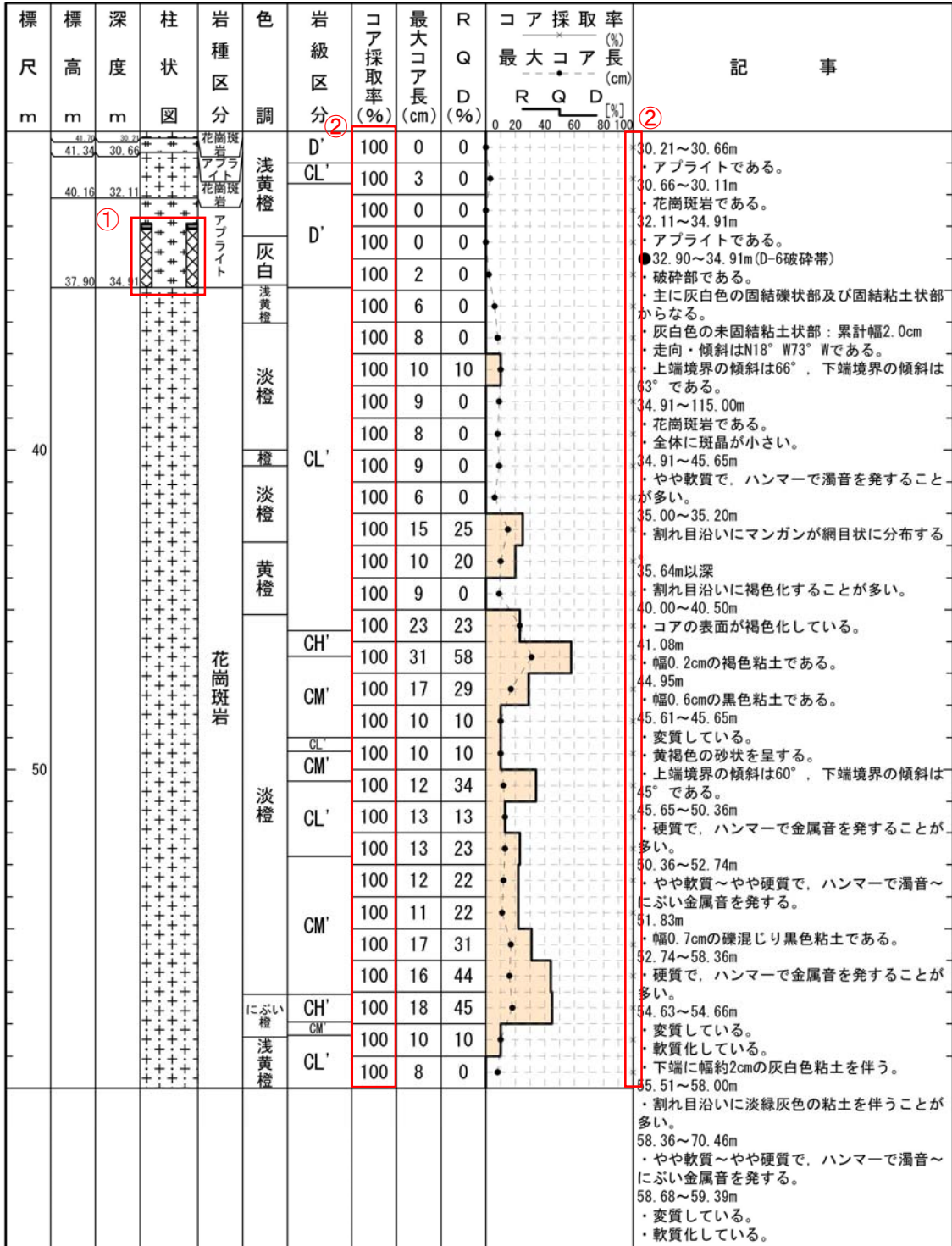
標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記事
	65.85	0.36		有機質混じり砂	にぶい橙		100						0.00~0.08m ・有機質土である。
				シルトリ砂	にぶい黄橙		100	0	0				0.00~0.36m ・有機質混じり砂である。 ・全体に植物根を含む。
	62.96	3.93		花崗斑岩	淡橙		100						0.36~3.93m ・シルトリ混じり砂である。 ・にぶい橙~黄橙色を呈する。
	62.56	4.42		アブライト	浅黄橙		100	0	0				・所々に花崗斑岩やアブライトの岩片を含む。
	62.13	4.96		アブライト	黄橙		100	0	0				3.93~5.59m ・花崗斑岩である。
	61.62	5.59		アブライト	黄橙		100	0	0				4.42~4.96m ・アブライトである。
	59.87	7.75		花崗斑岩	橙		100	0	0				4.96~5.59m ・強化部である。
	59.51	8.20		アブライト	黄橙		100	0	0				・シルトリ質砂状を呈すマサ土からなる。
	59.09	8.72		花崗斑岩	黄橙		100	0	0				5.59~7.75m ・アブライトである。
	58.56	9.37		アブライト	黄橙		100	0	0				・風化、変質し原岩組織が不明瞭である。
	58.23	9.78		花崗斑岩	黄橙		100	0	0				5.75~10.70m ・風化、変質により軟質で、ハンマーで著しい濁音を発する。
	57.89	10.20		アブライト	赤橙		100	0	0				7.75~10.70m ・アブライトと花崗斑岩が互層状に分布する。
	57.48	10.70		アブライト	淡黄		100	0	0				9.37~9.58m ・マンガンが濃集し、暗灰色を呈する。
	55.40	13.27		花崗斑岩	黄橙		100	0	0				10.70~32.11m ・花崗斑岩である。 ・全体に風化、変質し原岩組織が不明瞭である。
	55.13	13.61		アブライト	黄橙		100	0	0				●11.73~11.91m ・破碎部である。 ・主に灰白色の固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅7.0cm ・上端境界の傾斜は67°、下端境界の傾斜は25°である。
	51.46	18.15		アブライト	黄橙		100	0	0				13.27~13.61m ・アブライトである。
	51.14	18.54		花崗斑岩	黄橙		100	0	0				13.52~14.81m ・赤橙色化する。
	47.81	22.66		アブライト	黄橙		100	0	0				18.15~18.54m ・アブライトである。
	47.57	22.89		花崗斑岩	黄橙		100	0	0				●22.63~22.66m (f-①-2-2破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・灰白色の未固結礫状部及び暗褐色の未固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結礫状部：累計幅1.0cm ・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm ・走向・傾斜はN62° E33° Nである。 ・上端境界の傾斜は60°、下端境界の傾斜は56°である。
	47.29	23.39		アブライト	黄橙		100	0	0				22.66~22.83m, 23.30~23.89m ・アブライトである。
	46.81	23.89		花崗斑岩	黄橙		100	0	0				22.91~23.08m ・変質している。 ・灰白色粘土からなる。 ・膨縮が著しい。 ・上端境界の傾斜は77°、下端境界の傾斜は62°である。
	44.04	27.32		アブライト	黄橙		100	0	0				24.74~24.80m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。
	43.79	27.66		花崗斑岩	黄橙		100	0	0				25.64~25.73m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。
				アブライト	黄橙		100	0	0				26.80~26.90m ・割れ目沿いにマンガンが網目状に分布する。
				花崗斑岩	黄橙		100	0	0				27.31~27.39m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。
				アブライト	黄橙		100	0	0				27.32~27.62m ・アブライトである。
				花崗斑岩	黄橙		100	0	0				27.97~28.21m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。

1-90(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 最大コア長 → cm R Q D □ [%]	岩盤区分	岩等級	孔内水位(測定月日) N 値	(標準貫入試験) 試験					掘進速度 (cm/時)	コアラチーフ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)				
															N 値 ~ 深度	0	10	20	30								40	50		
44.04	27.32		花崗斑岩	灰白	VIg	dg	3			25.64~25.73m:変質帯。上盤57°、下盤46°。幅5cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。 26.80~26.90m:節理に沿ってマンガンが網目状に分布する。 27.31~27.39m:変質帯。上盤69°、下盤55°。幅3cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。 27.32~27.62m:間は斑晶の含有量が5%程度のアプライトを挟む。 27.97~28.21m:変質帯。上盤不明、下盤48°。幅16cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。											470			0.1	泥水 10	0	0			
43.79	27.62		花崗斑岩	淡橙	VIg	dg	4												5/9 28.00			40.0	60	0.1	泥水 10	10				
41.70	30.21		花崗斑岩	淡橙	IVg	cg	3			30.21~30.66m:間は斑晶の含有量が5%程度のアプライトを挟む。 32.11~34.91m:間は斑晶の含有量が5%程度のアプライトからなる。 32.90~34.91m:破砕帯(Hc, Hb, Hj)。上盤66°、下盤63°。幅91cm程度。主に灰白色粘土からなり、一部に原岩組織が残る。																				
41.34	30.66		花崗斑岩	淡橙	IVg	cg	3																							
40.16	32.11		花崗斑岩	淡橙	IVg	cg	3																							
37.90	34.91		花崗斑岩	淡橙	Vg	cg	4			34.91~58.50m:花崗斑岩。径1~10mm程度の石英、長石、径6mm以下の黒雲母の斑晶を10~20%程度含む。全体に斑晶が小さい。 34.91~45.65m:コアははや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。 35.00~35.20m:節理に沿ってマンガンが網目状に分布する。 35.64m以深は節理に沿って褐色化を呈することが多い。																				
			花崗斑岩	淡橙	IVg	cg	3			40.00~40.50m:コアの表面が褐色化している。 41.08m:シーム。傾斜84°。幅0.2cm程度の褐色粘土からなる。周辺は節理が発達している。																				
			花崗斑岩	淡橙	IVg	cg	3			44.95m:シーム。傾斜53°。幅0.6cm程度の黒色粘土からなる。周辺は節理が発達している。 45.61~45.65m:変質帯。上盤60°、下盤45°。幅2cm程度。黄褐色砂状を呈する。上盤と下盤の傾斜方向が異なる。 45.65~50.36m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。																				
			花崗斑岩	淡橙	IVg	cg	3			50.36~52.74m:コアはや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。 51.83m:シーム。傾斜40°。幅0.7cm程度の緑混じり黒色粘土からなる。変形構造が認められる。 52.74~58.36m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。																				
			花崗斑岩	淡橙	IVg	cg	2			54.63~54.66m:変質帯。上盤40°、下盤50°。幅2cm程度。軟質化している。下盤に幅0.2cm程度の灰白色粘土を伴う。 55.51~58.00m:節理に沿って淡緑灰色を呈する粘土を伴うことが多い。																				
			花崗斑岩	淡橙	IVg	cg	2			58.36~70.46m:コアはや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。 58.50~60.10m:花崗斑岩。上位に比べて斑晶が大きく、含有量も20~25%程度と多くなる。境界は漸移的である。 58.68~59.39m:変質帯。上盤90°、下盤80°。褶曲方向とはほぼ平行に分布するため幅は不明。軟質化している。 60.10~66.10m:花崗斑岩。上位に比べて斑晶が小さく、含有量も10~15%程度と少なくなる。境界は漸移的である。																				

H20-①-2

柱状図(30.00m~60.00m)

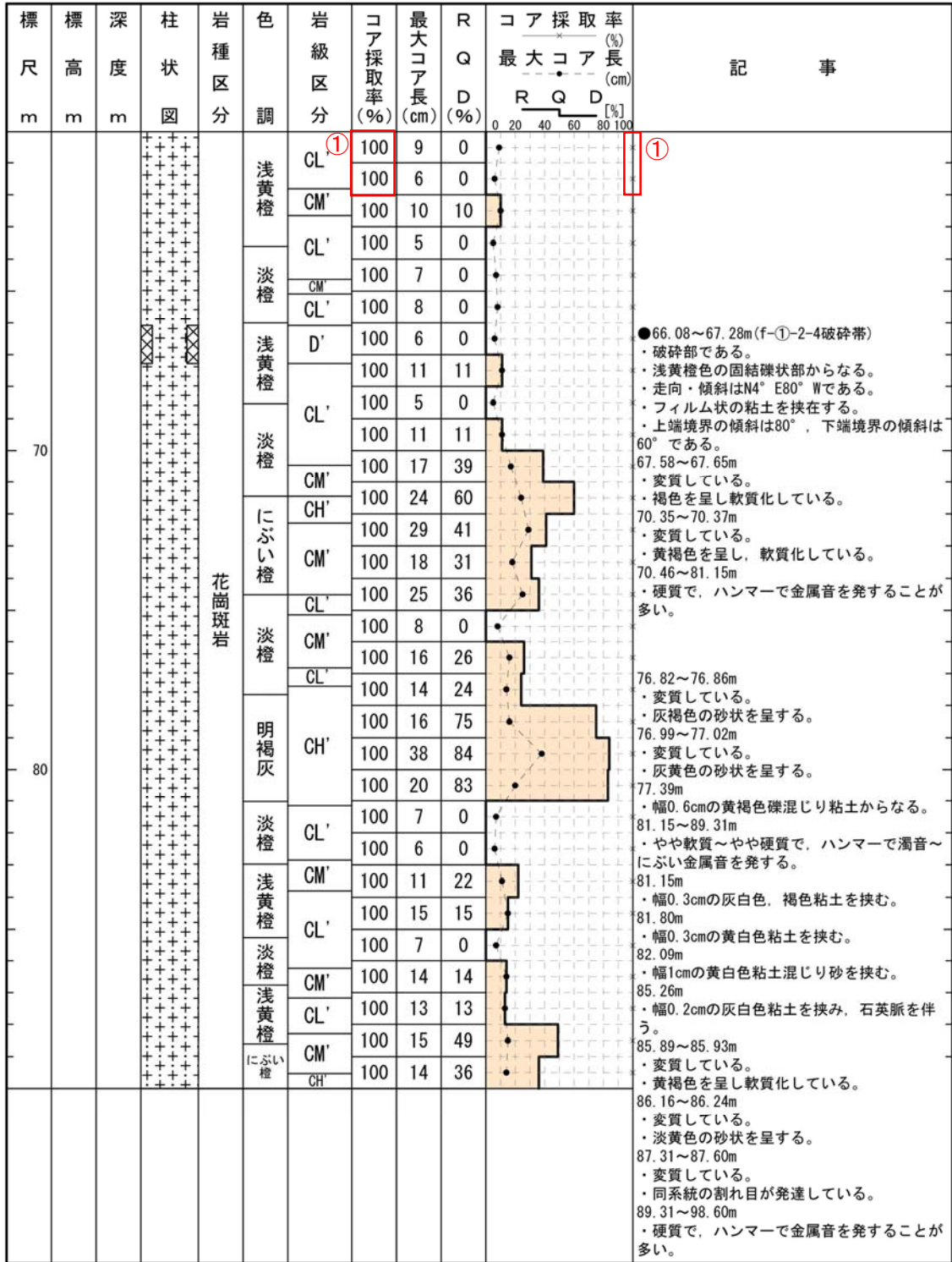


1-91(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-90(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D □ [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位 (m) / 測定月日 (N) 値	(標準貫入試験) 試験 (N 値 ~ 深度)					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
																0	10	20	30	40												50	
30	44.04	27.32	花崗斑岩 アフライト	灰白	Eg	VIg	dg	δ	3	25.64~25.73m: 変質帯。上盤57°、下盤46°。幅5cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。 26.80~26.90m: 節理に沿ってマンガンが網目状に分布する。 27.31~27.39m: 変質帯。上盤69°、下盤55°。幅3cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。 27.32~27.62m: 斑晶の含有量が5%程度のアフライトを挟む。 27.97~28.21m: 変質帯。上盤不明、下盤48°。幅16cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	D'	29.02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	470	5/9 28.00	ダブルコアチューブ / ビット 95 / ケーシング	40.0	60	0.1	泥水 10	0
	43.79	27.62																															
	41.70	30.21	花崗斑岩 アフライト	淡橙	IVg	cg	3	34.91~58.50m: 花崗斑岩。径1~10mm程度の石英。長石。径6mm以下の黒雲母の斑晶を10~20%程度含む。全体に斑晶が小さい。 34.91~45.65m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。 35.00~35.20m: 節理に沿ってマンガンが網目状に分布する。 35.64m以深は節理に沿って褐色化を呈することが多い。	D'	33.90 34.90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	41.34	30.66																												花崗斑岩 アフライト	淡橙	IVg	cg
	40.16	32.11	花崗斑岩 アフライト	淡橙	IVg	cg	3	44.95m: シーム。傾斜53°。幅0.6cm程度の黒色粘土からなる。周辺は節理が発達している。 45.61~45.65m: 変質帯。上盤60°、下盤45°。幅2cm程度。黄褐色砂状を呈する。上盤と下盤の傾斜方向が異なる。 45.65~50.36m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	D'	33.90 34.90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	37.90	34.91																												花崗斑岩 アフライト	淡橙	IVg	cg
	40	5/10 35.00	105	5/12 37.10	50.0	0.1	泥水 5	5																									
									5/14 43.10	124	0.1	泥水 5	5																				
		5/15 52.85	113	0.1	泥水 5	0																											
							5/16 60.75	95	0.1	泥水 5	0																						

H20-①-2

柱状図(60.00m~90.00m)

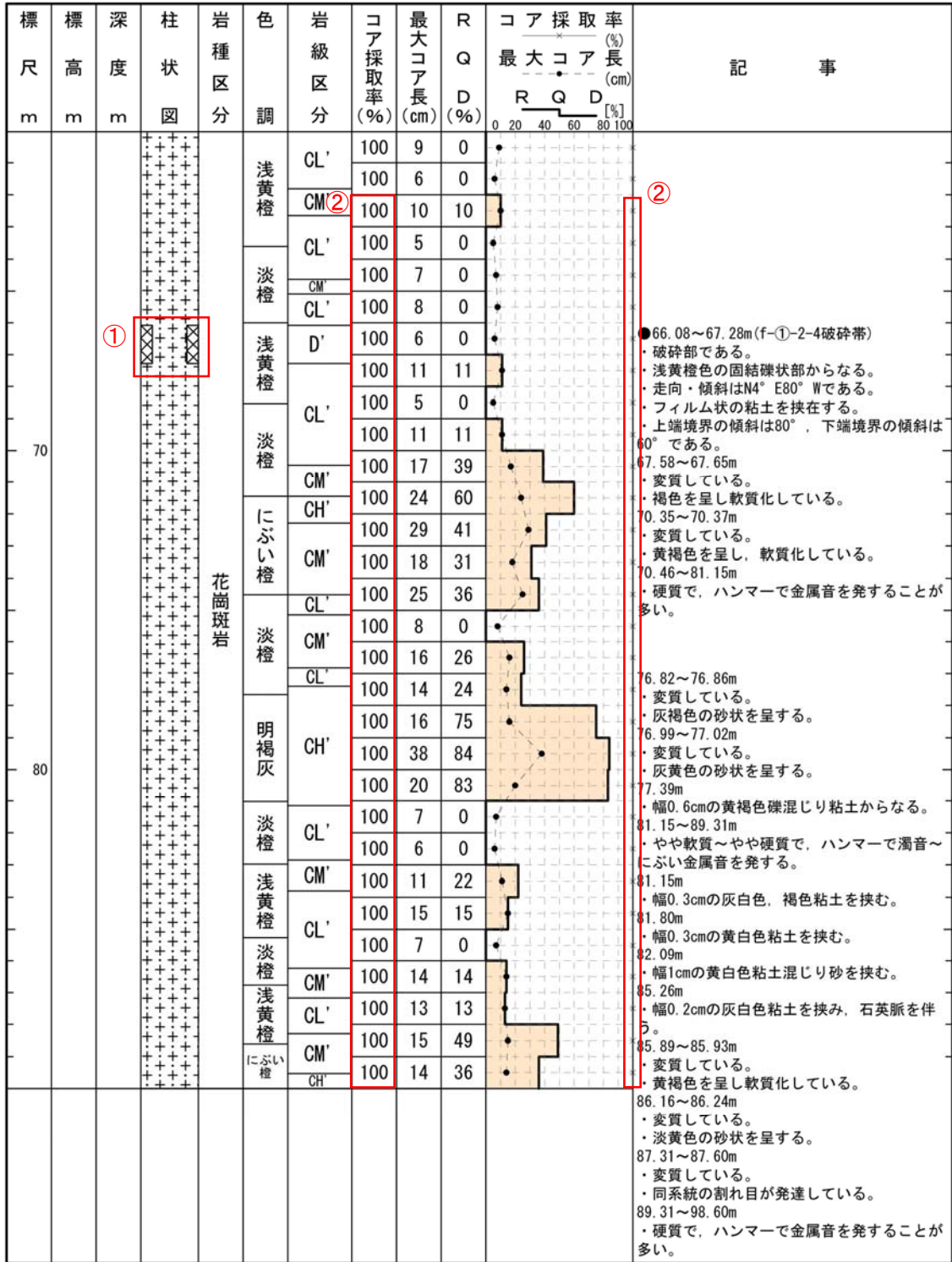


1-90(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩盤区分	標準貫入試験 試験		原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l / 分)	排水量 (l / 分)			
														(N 値 ~ 深度)	(N 値)														
70				花崗斑岩	淡黄橙	Bg	IVg			2		0.10	CM'																
					淡橙	Dg	Vg			3		0.15	CL'																
					淡黄橙	Cg	IVg			3	66.08~67.28m: 破砕帯(Hc, Hj)。上盤80°, 下盤60°。幅21cm程度。原岩組織が認められ、灰白色粘土が網目状に分布する。上盤、下盤には灰白色粘土を伴う。上盤、下盤境界は明瞭である。	0.20	CM'																
					淡橙	Dg	Vg			3	66.10~68.65m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が大きく、含有量も20%程度と多くなる。境界は漸移的である。	0.25	CL'																
					淡黄橙	Cg	IVg			3	67.58~67.65m: 変質帯。上盤60°, 下盤60°。幅3.5cm程度。軟質化している。褐色化を呈する。	0.30	CM'																
					淡橙	Dg	Vg			3	68.65~70.73m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が小さく、含有量も10~15%程度と少なくなる。境界は漸移的である。	0.35	CL'																
					淡黄橙	Cg	IVg			3	70.35~70.37m: 変質帯。上盤44°, 下盤50°。幅1.3cm程度。軟質化している。黄褐色を呈する。	0.40	CH'																
					淡黄橙	Bg	IVg			2	70.46~81.15m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	0.45	CM'																
					淡橙	Dg	Vg			2	70.73~74.50m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が大きく、含有量も20%程度と多くなる。境界は漸移的である。	0.50	CM'																
					淡黄橙	Cg	IVg			2	74.50~86.24m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が小さく、含有量も10~15%程度と少なくなる。境界は漸移的である。	0.55	CL'																
					淡橙	Dg	Vg			3	76.82~76.86m: 変質帯。上盤50°, 下盤30°。幅2.5cm程度。灰褐色砂状を呈する。	0.60	CL'																
					明褐灰	Bg	IIIg			2	76.99~77.02m: 変質帯。上盤不明。下盤53°。幅1.8cm程度。灰黄色砂状を呈する。	0.65	CH'	[CH]															
					明褐灰	Bg	IIg			2	77.39m: シーム。傾斜40°。幅0.6cm程度。黄褐色凝滞り粘土からなる上盤側は同系統の節理が発達する。	0.70	CH'	[CH]															
					淡橙	Dg	Vg			3	81.15~89.31m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。	0.75	CL'																
					淡黄橙	Cg	IVg			2	81.15m: シーム。傾斜70°。幅0.3cm程度の灰白色。褐色粘土からなる。下盤側は節理が発達している。	0.80	CM'																
					淡黄橙	Dg	Vg			2	81.80m: シーム。傾斜49°。幅0.3cm程度の黄白色粘土からなる。周辺の節理を切っている。	0.85	CL'																
					淡黄橙	Bg	IVg			2	82.09m: シーム。傾斜70°。幅1cm程度。黄白色粘土混じり砂からなる。周辺の節理を切っている。	0.90	CL'																
					淡橙	Dg	Vg			3	85.26m: シーム。傾斜70°。幅0.2cm程度。灰白色粘土からなる。石英脈を伴う。	0.95	CL'																
					淡黄橙	Cg	IVg			2	85.89~85.93m: 変質帯。上盤20°, 下盤56°。幅4cm程度。軟質化している。黄褐色を呈する。	1.00	CM'																
					淡黄橙	Dg	Vg			3	86.16~86.24m: 変質帯。上盤70°, 下盤50°。幅5cm程度。淡黄色砂状を呈する。	1.05	CL'																
					淡黄橙	Bg	IVg			3	86.24~100.27m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が大きく、含有量も15~20%程度と多くなる。境界は漸移的である。	1.10	CM'																
					淡黄橙	Cg	IVg			3	87.31~87.60m: 変質帯。上盤80°, 下盤81°。幅5cm程度。同系統の節理が発達している。	1.15	CM'																
					淡黄橙	Dg	Vg			3	89.31~98.60m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	1.20	CH'																
					淡黄橙	Bg	IVg			2	92.69m: シーム。傾斜45°。幅0.2cm程度の灰黒色粘土からなる。せん断性節理がみられる。	1.25	CH'	[CH]															
					淡黄橙	Cg	IVg			2		1.30	CM'																
					淡黄橙	Dg	Vg			2		1.35	CL'																
					明褐灰	Bg	IIIg			2		1.40	CH'																
					明褐灰	Bg	IIg			2		1.45	CH'																
					明褐灰	Bg	Ig			2		1.50	CH'																

H20-①-2

柱状図(60.00m~90.00m)

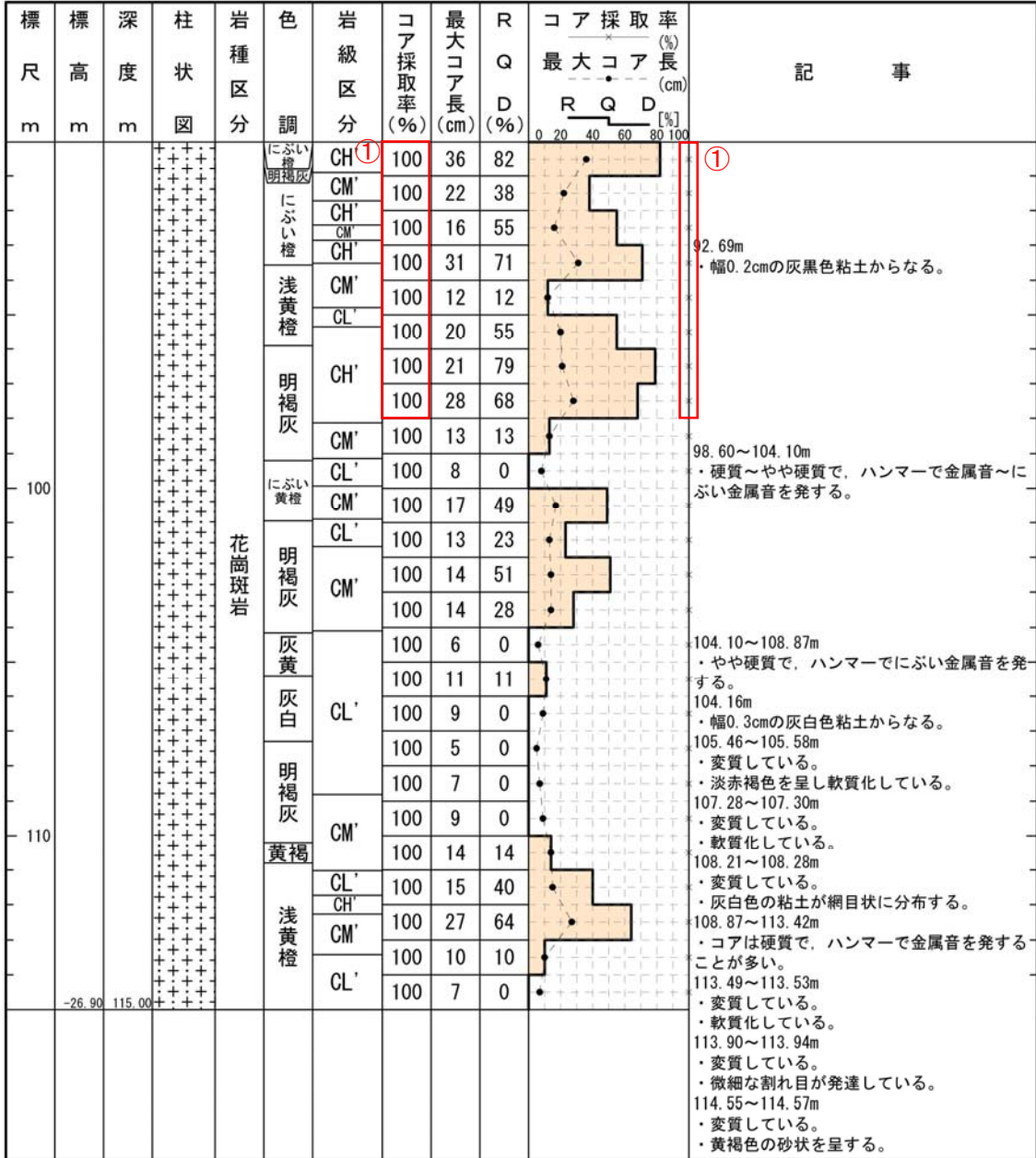


- 1-92(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-90(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 — cm R Q D □ [%]	岩盤分類	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日 (N) 値	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l / 分)	排水量 (l / 分)	
																(N 値 ~ 深度)																
																0	10	20	30	40												50
70				花崗斑岩	淡黄橙	Bg IVg	IVg			2		66.08~67.28m: 破砕帯(Hc, Hj)。上盤80°, 下盤60°。幅21cm程度。原岩組織が認められ、灰白色粘土が網目状に分布する。上盤、下盤には灰白色粘土を伴う。上盤、下盤境界は明瞭である。	CM' 69.66																			
					淡橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			3		66.10~68.65m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が大きく、含有量も20%程度と多くなる。境界は漸移的である。	CL' 69.65																			
					淡黄橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			3		67.58~67.65m: 変質帯。上盤60°, 下盤60°。幅3.5cm程度。軟質化している。褐色化を呈する。	CL' 69.66																			
					淡橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			3		68.65~70.73m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が小さく、含有量も10~15%程度と少なくなる。境界は漸移的である。	CL' 69.68																			
					淡橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			3		70.35~70.37m: 変質帯。上盤44°, 下盤50°。幅1.3cm程度。軟質化している。黄褐色を呈する。	CM' 69.69																			
					にふい橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		70.46~81.15m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	CH' 69.72																			
					淡橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		70.73~74.50m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が大きく、含有量も20%程度と多くなる。境界は漸移的である。	CM' 69.73																			
					淡橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		74.50~86.24m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が小さく、含有量も10~15%程度と少なくなる。境界は漸移的である。	CM' 69.74																			
					明褐灰	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			3		76.82~76.86m: 変質帯。上盤50°, 下盤30°。幅2.5cm程度。灰褐色砂状を呈する。	CL' 69.76																			
					明褐灰	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		76.99~77.02m: 変質帯。上盤不明。下盤53°。幅1.8cm程度。灰黄色砂状を呈する。	CH' [CH] 69.77																			
					明褐灰	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		77.39m: シーム。傾斜40°。幅0.6cm程度。黄褐色凝り粘土からなる上盤側は同系統の節理が発達する。	CH' [CH] 69.78																			
					淡橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			3		81.15~89.31m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にふい金属音を発する。	CL' 69.81																			
					淡橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		81.15m: シーム。傾斜70°。幅0.3cm程度。灰白色、褐色粘土からなる。下盤側は節理が発達している。	CL' 69.82																			
					淡黄橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			3		81.80m: シーム。傾斜49°。幅0.3cm程度。黄白色粘土からなる。周辺の節理を切っている。	CM' 69.83																			
					淡黄橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		82.09m: シーム。傾斜70°。幅1cm程度。黄白色粘土混じり砂からなる。周辺の節理を切っている。	CL' 69.84																			
					淡橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			3		85.26m: シーム。傾斜70°。幅0.2cm程度。灰白色粘土からなる。石英脈を伴う。	CL' 69.85																			
					淡黄橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		85.89~85.93m: 変質帯。上盤20°, 下盤56°。幅4cm程度。軟質化している。黄褐色を呈する。	CM' 69.86																			
					淡黄橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			3		86.16~86.24m: 変質帯。上盤70°, 下盤50°。幅5cm程度。淡黄色砂状を呈する。	CL' 69.87																			
					にふい橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		86.24~100.27m: 花崗斑岩。上位に比べて斑晶が大きく、含有量も15~20%程度と多くなる。境界は漸移的である。	CM' 69.88																			
					明褐灰	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		87.31~87.60m: 変質帯。上盤80°, 下盤81°。幅5cm程度。同系統の節理が発達している。	CM' 69.89																			
					にふい橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		89.31~98.60m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	CH' [CH] 69.90																			
					淡黄橙	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2		92.69m: シーム。傾斜45°。幅0.2cm程度。灰黒色粘土からなる。せん断性節理がみられる。	CH' [CH] 69.91																			
					明褐灰	Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2			CM' 69.92																			
						Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2			CM' 69.93																			
						Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2			CM' 69.94																			
						Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2			CM' 69.95																			
						Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2			CM' 69.96																			
						Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2			CM' 69.97																			
						Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2			CM' 69.98																			
						Bg IVg Bg IVg Bg IVg Bg IVg	IVg			2			CM' 69.99																			

H20-①-2

柱状図(90.00m~115.00m)

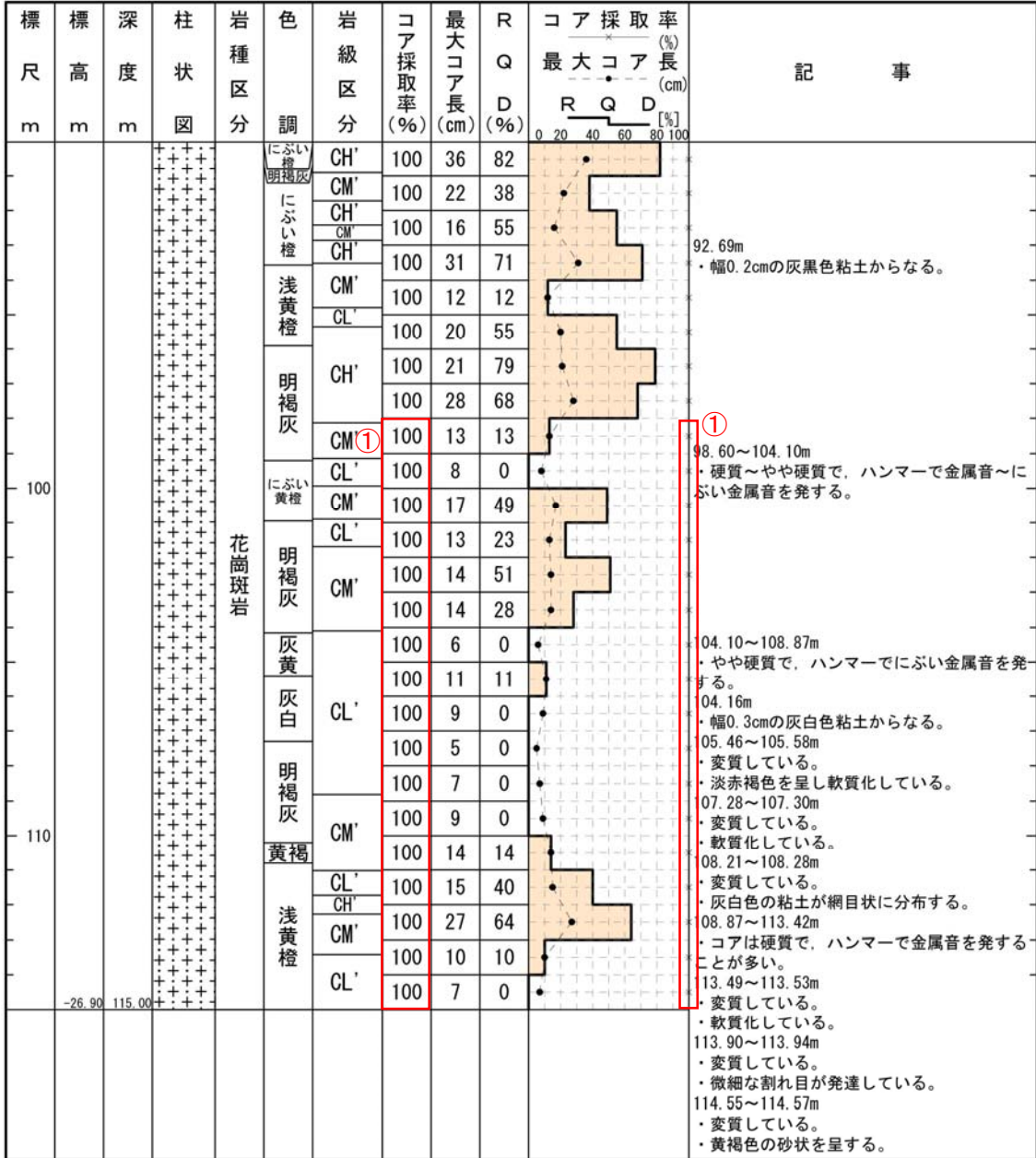


1-90(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率	岩 質 区 分	岩 盤 分 類	孔内水位(測定日)	標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平圧荷)	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)																																						
												(%)				(N値~深度)	(%)	(%)	(%)																																																
100		-26.90 / 115.00	+	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	cg			98.60~104.10m: コアは硬質~やや硬質で、ハンマーで金属音~にふい金属音を発生する。		CM'							5/23 / 96.55	121									ダブルコアチューブ/ダイヤビット	40.0	150	0.1	泥水5	0																																
																																				明褐灰	Bg	IVg	cg	2	100.27~107.28m: 花崗斑岩。上位に比べて珪晶が小さく、含有量も10~15%程度と少なくなる。境界は漸移的である。	CL'																									
																																				明褐灰	Bg	IVg	cg	2	107.28~107.30m: 変質帯。上盤47°下盤50°。幅1.4cm程度。軟質化している。境界不明瞭。107.28~112.14m: 花崗斑岩。上位に比べて珪晶の含有量が10%程度と更に少なくなる。境界は漸移的である。108.21~108.28m: 変質帯。上盤73°下盤70°。幅2cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。108.87~113.42m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発生することが多い。	CL'	[CL]																								
																																				明褐灰	Bg	IVg	cg	3	115.00~115.00m: (Text partially obscured)	CL'	[CL]																								
																																				明褐灰	Bg	IVg	cg	3	(Text partially obscured)	CL'	[CL]																								
																																				明褐灰	Bg	IVg	cg	2	(Text partially obscured)	CL'	[CL]																								
																																				明褐灰	Bg	IVg	cg	2	(Text partially obscured)	CL'	[CL]																								
																																				明褐灰	Bg	IVg	cg	2	(Text partially obscured)	CL'	[CL]																								
																																				明褐灰	Bg	IVg	cg	2	(Text partially obscured)	CL'	[CL]																								
明褐灰	Bg	IVg	cg	2	(Text partially obscured)	CL'	[CL]																																																												
																																明褐灰	Bg	IVg	cg	2	(Text partially obscured)	CL'	[CL]																												
明褐灰	Bg	IVg	cg	2	(Text partially obscured)	CL'	[CL]																																																												

H20-①-2

柱状図(90.00m~115.00m)



1-90(分類b)①
 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	①-1		調査位置				北緯	
発注機関				調査期間				東経
調査業者名				主任技師	現代場人	コ鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	+ 66.64 m	角	180° 上 90°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0°	使用機種
総掘削長	90.00 m	度	0°	向		鉛直 90°	20°	ハンマー 落下用具
								ポンプ

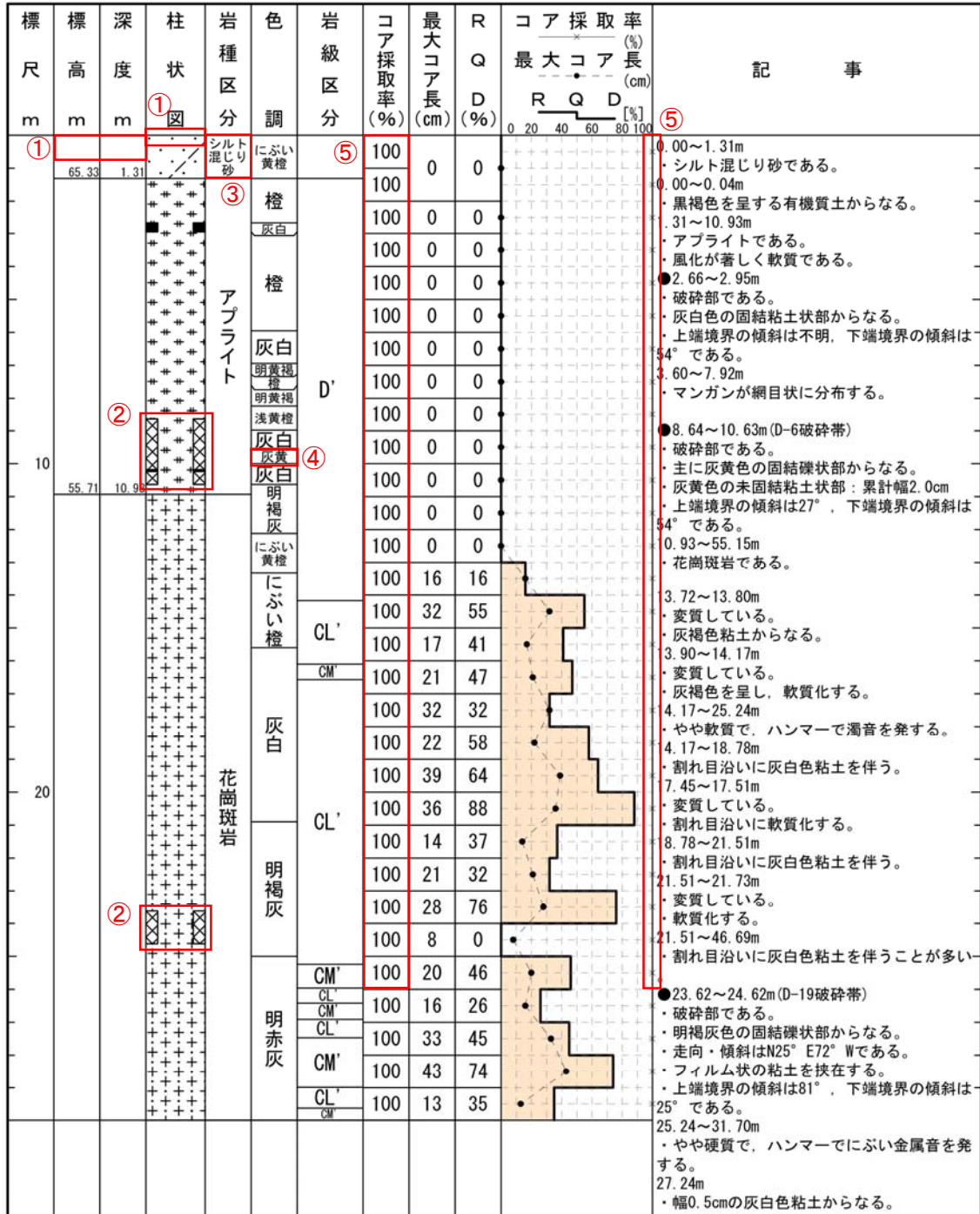
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩盤区分	岩級	孔内水位 測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	コアチューブ ノビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
																(N 値 ~ 深度)																					
	66.60	0.04	腐植土		にぶい黄橙						0.00~0.04m: 表土。黒褐色を呈する腐植土からなる。																										
	65.33	1.31			橙						0.04~1.31m: マサ土。にぶい黄橙色を呈するシルト混じり砂からなる。																										
					橙						1.31~10.93m: アブライト。径1~5mm程度の石英、長石の斑晶を5%程度含む。全体に風化が著しく、軟質である。また、8m付近まで赤色化している。																										
					灰白						2.66~2.95m: 破砕帯(Hc)。上盤不明、下盤70°。幅10cm程度。灰白色粘土からなる。D級岩盤中で面は不明瞭である。																										
					灰白						3.60~7.92m: マンガンが網目状に分布している。																										
					明黄橙						8.64~10.63m: 破砕帯(Hc)。上盤27°下盤54°。全体幅117cm程度。灰白色~灰黄色粘土からなる。間には非破砕部を含む。																										
					明黄橙						10.93~55.15m: 花崗斑岩。径2~10mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を10~25%程度含む。上位のアブライトとの境界は漸移的である。																										
					明黄橙						13.72~13.80m: 変質帯。上盤69°、下盤54°。幅3cm程度。褐色粘土からなる。																										
					明黄橙						13.90~14.17m: 変質帯。上盤49°、下盤71°。幅12cm程度。軟質化している。灰褐色を呈する。																										
					明黄橙						14.17~25.24m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。																										
					明黄橙						14.17~18.78m: 傾斜25°及び60°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴う。																										
					明黄橙						17.45~17.51m: 変質帯。上盤67°、下盤80°。幅1cm程度。節理に沿って不規則に軟質化している。																										
					明黄橙						18.78~21.51m: 傾斜20°及び90°程度の節理がみられる。節理には灰白色粘土を伴う。																										
					明黄橙						21.51~21.73m: 変質帯。上盤81°、下盤25°。幅3cm程度。軟質化している。上盤と下盤の傾斜角が大きく異なる。																										
					明黄橙						21.51~46.69m: 傾斜30°、50°及び70°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。																										
					明黄橙						23.62~23.80m: 変質帯。上盤83°、下盤85°。幅2cm程度。軟質化している。灰黄色を呈する。																										
					明黄橙						25.24~31.70m: コアはやや硬質で、ハンマーでにぶい金属音を発する。																										

H20-①-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-①-1

孔 口 標 高	T.P.	66.64m	掘 削 長	90.00m
---------	------	--------	-------	--------



- 1-93~1-95(分類c)①
岩種区分の”腐植土”を消去したため。(性状に近いものを丸めたため)
- 1-96, 1-97(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-98(分類c)③
性状に近いものを丸めたため。
- 1-99(分類b)④
誤記の修正。
- 1-100(分類b)⑤
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-①-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-①-1

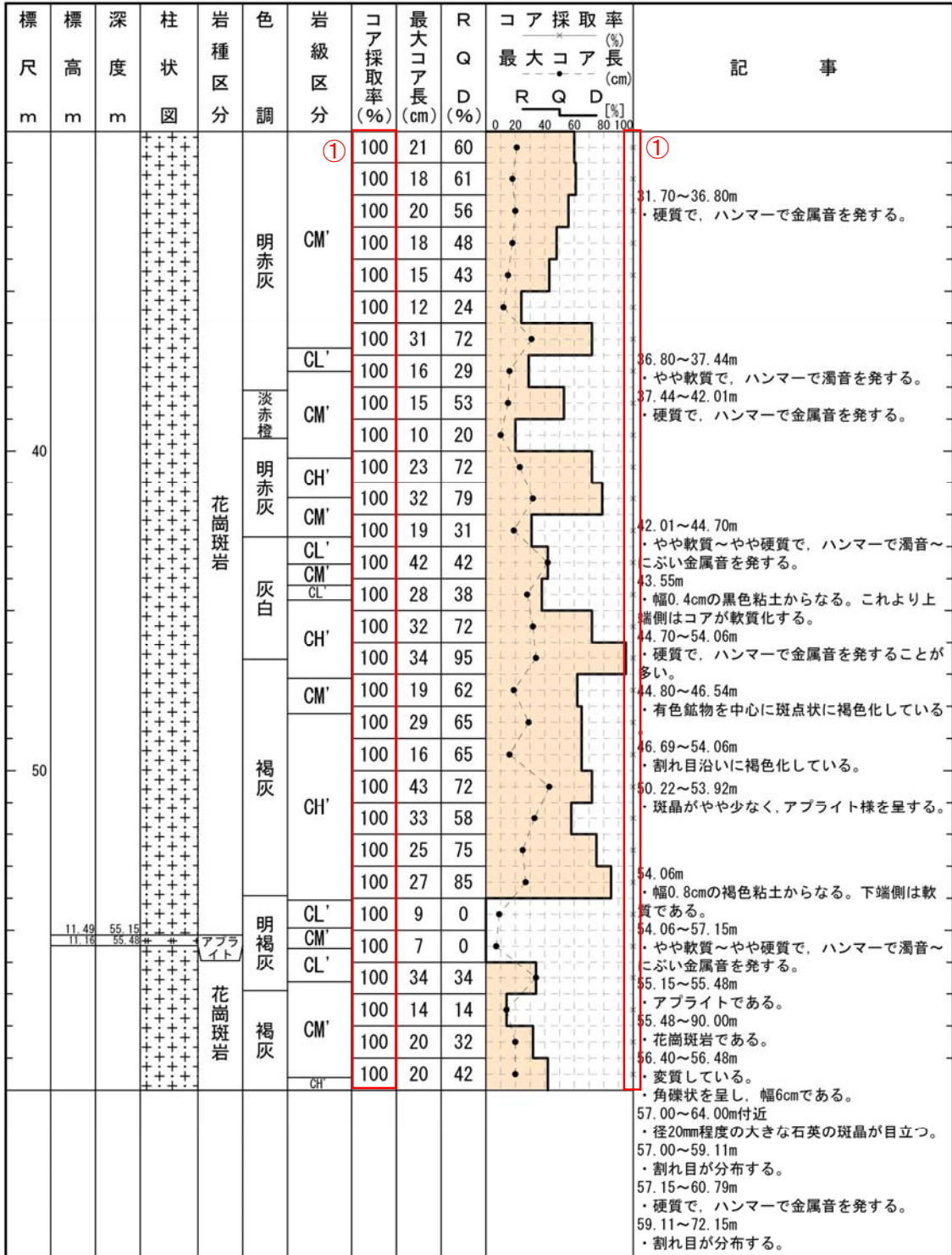
孔 口 標 高	T.P.	66.64m	掘 削 長	90.00m
---------	------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	65.33	1.31	シルト混じり砂	にぶい黄橙			100	0	0				0.00~1.31m ・シルト混じり砂である。
				橙			100	0	0				0.00~0.04m ・黒褐色を呈する有機質土からなる。
				灰白			100	0	0				1.31~10.93m ・アプライトである。 ・風化が著しく軟質である。
				橙			100	0	0				●2.66~2.95m ・破砕部である。
				灰白			100	0	0				・灰白色の固結粘土状部からなる。 ・上端境界の傾斜は不明、下端境界の傾斜は54°である。
				明黄褐 橙		D'	100	0	0				3.60~7.92m ・マンガンが網目状に分布する。
				明黄褐 橙			100	0	0				
				浅黄橙			100	0	0				
				灰白 灰黄			100	0	0				●8.64~10.63m(D-6破砕帯) ・破砕部である。
				灰白			100	0	0				・主に灰黄色の固結礫状部からなる。
	55.71	10.93		明褐灰			100	0	0				・灰黄色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm ・上端境界の傾斜は27°、下端境界の傾斜は54°である。
				にぶい黄橙			100	0	0				10.93~55.15m ・花崗斑岩である。
				にぶい橙		CL'	100	16	16				
				にぶい橙			100	32	55				13.72~13.80m ・変質している。
				にぶい橙		CL'	100	17	41				・灰褐色粘土からなる。
				灰白		CM	100	21	47				13.90~14.17m ・変質している。
				灰白			100	32	32				・灰褐色を呈し、軟質化する。
				灰白			100	22	58				14.17~25.24m ・やや軟質で、ハンマーで濁音を発する。
				灰白		CL'	100	39	64				14.17~18.78m ・割れ目沿いに灰白色粘土を伴う。
				明褐灰			100	36	88				17.45~17.51m ・変質している。
				明褐灰		CL'	100	14	37				・割れ目沿いに軟質化する。
				明褐灰			100	14	37				18.78~21.51m ・割れ目沿いに灰白色粘土を伴う。
				明褐灰			100	21	32				21.51~21.73m ・変質している。
				明褐灰			100	28	76				・軟質化する。
				明赤灰			100	8	0				21.51~46.69m ・割れ目沿いに灰白色粘土を伴うことが多い。
				明赤灰		CM'	100	20	46				
				明赤灰		CL'	100	16	26				●23.62~24.62m(D-19破砕帯) ・破砕部である。
				明赤灰		CL'	100	33	45				・明褐灰色の固結礫状部からなる。
				明赤灰		CL'	100	43	74				・走向・傾斜はN25° E72° Wである。
				明赤灰		CM	100	43	74				・フィルム状の粘土を挟在する。
				明赤灰		CL'	100	13	35				・上端境界の傾斜は81°、下端境界の傾斜は25°である。
				明赤灰		CM	100	13	35				25.24~31.70m ・やや硬質で、ハンマーでにぶい金属音を発する。
				明赤灰			100	13	35				27.24m ・幅0.5cmの灰白色粘土からなる。

1-100(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-①-1

柱状図(30.00m~60.00m)



1-100(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-①-1

柱状図(60.00m~90.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分①	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事		
													0 20 40 60 80 100	
		70	+	花崗斑岩		褐灰	100	13	33			① 60.79~63.79m ・やや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。 62.98~63.00m ・変質している。 ・灰白色粘土が幅1cmの網目状に分布する。 63.79~68.12m ・硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。 64.15~65.17m ・コアの表面が褐色化している。 68.12~79.87m ・硬軟を細かく繰り返す。 ●68.72~69.02m(f-①-1-3破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に淡赤橙色の固結礫状部からなる。 ・淡赤橙色の未固結粘土状部：累計幅4.7cm ・走向・傾斜はN36° E66° Wである。 ・上端境界の傾斜は68°、下端境界の傾斜は81°である。 ・マンガンの縞状構造を伴う。 70.85~70.88m ・幅0.5cmの黒色粘土からなる。 72.15~73.06m ・割れ目が目立つ。 73.06~74.30m ・割れ目が分布する。 74.35~74.78m ・変質している。 ・上部は灰黄色の礫混じりシルト状、下部は灰白色粘土が網目状に分布する。 75.10~75.68m ・2系統の割れ目が発達し、格子状を呈する。 75.68~77.70m ・割れ目が目立つ。 77.60~78.00m ・変質している。 ・マンガンを伴う割れ目密集部である。 78.00~90.00m ・割れ目が分布する。 79.79m ・幅0.2cmの黒色粘土からなる。 79.87~90.00m ・硬質で、ハンマーで金属音を発する。 86.09~86.12m ・幅2~5mmの石英脈が3条程度並走する。 ・マンガンを伴う。 86.38~86.48m ・幅約1mmの不明瞭な石英脈が密集する。 87.72~89.12m ・マンガンが斑点状に分布する。 87.83m ・幅約3mmのマンガン脈が分布する。 88.45m ・幅1~3mmのマンガン脈が分布する。		
		80				明赤灰	CM'	100	15	25				
							明赤灰	CL'	100	5	0			
							明赤灰	CM'	100	37	51			
							橙	CM'	100	14	50			
							明赤灰	CM'	100	15	29			
							灰白	CH'	100	18	30			
							灰白	CM'	100	14	26			
							明褐灰	CL'	100	9	0			
							明褐灰	CL'	100	10	10			
							明褐灰	CM'	100	9	0			
							明褐灰	CM'	100	37	50			
							明褐灰	CL'	100	8	0			
							褐灰	CM'	100	10	10			
							明褐灰	D'	100	11	11			
							明褐灰	CL'	100	9	0			
							明褐灰	CM'	100	20	66			
							明褐灰	CH'	100	20	66			
							にぶい橙	CM'	100	16	26			
							にぶい橙	CL'	100	12	22			
				浅黄橙	CL'	100	7	0						
				灰赤	CH'	100	44	81						
				明褐	CH'	100	31	88						
				明褐	CM'	100	26	64						
				にぶい橙	CH'	100	16	53						
				にぶい橙	CH'	100	27	81						
				にぶい橙	CH'	100	25	61						
				褐灰	CH'	100	24	64						
				褐灰	CH'	100	34	95						
				明褐灰	CH'	100	33	89						
				明褐灰	CH'	100	20	46						

1-100(分類b)①
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位 (m) / 測定日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	室内試験	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
																(N 値 ~ 深度)															
																0	10	20	30	40	50			3/31	83			0.1	1	2	
70			+++++	花崗斑岩	明赤灰	Cg	bg	IVg		γ	3	62.98~63.00m:変質帯。上盤70°、下盤70°。幅1cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。 63.79~68.12m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。 64.15~65.17m:コアの表面が褐色化している。	0 50 100 62.98 63.00 63.79 68.12 64.15 65.17 [91] [80]	CM' CL'	62.92 63.42		4/1	68.30		87					200			0.1	1	2	泥水4
					明褐灰	Cg	bg	IVg		3	74.35~74.78m:変質帯。上盤26°、下盤42°。幅22cm程度。上部は練混しり灰黄色シルト状、下部は原組織が認められ、灰白色粘土が網目状に分布する。 75.10~75.68m:傾斜70°程度の2系統の節理が発達し、格子状を呈する。 75.68~77.70m:傾斜75°程度の節理が目立つ。	74.35 74.78 75.10 75.68 75.68 77.70 [111] [84]	CM' CL'	72.12 72.82 73.35 74.78	4/3	76.50		73				100			0.1	3	泥水4				
																												明褐灰	Cg	bg	IVg
					明褐灰	Cg	bg	IVg		3	86.09~86.12m:幅2~5mm程度の石英脈が3条程度並走する。傾斜は70°程度でマンガンを伴う。 86.38~86.48m:幅1mm程度の不明瞭な石英脈が密集する。傾斜は45°程度 87.72~89.12m:マンガンが斑点状に分布する。 87.83m:幅3mm程度のマンガン脈が分布する。傾斜は71°。 88.45m:幅1~3mm程度のマンガン脈が分布する。傾斜は80°。	86.09 86.12 86.38 86.48 87.72 89.12 87.83 88.45 [141] [84] [91] [85] [144]	CM' CH'	82.05 83.58 84.51 85.81	4/5	88.80		80				150			0.1	0	0				
																												明褐灰	Cg	bg	IVg
					明褐灰	Cg	bg	IVg		3	86.09~86.12m:幅2~5mm程度の石英脈が3条程度並走する。傾斜は70°程度でマンガンを伴う。 86.38~86.48m:幅1mm程度の不明瞭な石英脈が密集する。傾斜は45°程度 87.72~89.12m:マンガンが斑点状に分布する。 87.83m:幅3mm程度のマンガン脈が分布する。傾斜は71°。 88.45m:幅1~3mm程度のマンガン脈が分布する。傾斜は80°。	86.09 86.12 86.38 86.48 87.72 89.12 87.83 88.45 [141] [84] [91] [85] [144]	CM' CH'	82.05 83.58 84.51 85.81	4/7	90.60		80				150			0.1	0	0				
																												明褐灰	Cg	bg	IVg
					明褐灰	Cg	bg	IVg		3	86.09~86.12m:幅2~5mm程度の石英脈が3条程度並走する。傾斜は70°程度でマンガンを伴う。 86.38~86.48m:幅1mm程度の不明瞭な石英脈が密集する。傾斜は45°程度 87.72~89.12m:マンガンが斑点状に分布する。 87.83m:幅3mm程度のマンガン脈が分布する。傾斜は71°。 88.45m:幅1~3mm程度のマンガン脈が分布する。傾斜は80°。	86.09 86.12 86.38 86.48 87.72 89.12 87.83 88.45 [141] [84] [91] [85] [144]	CM' CH'	82.05 83.58 84.51 85.81	4/7	90.60		80				150			0.1	0	0				

H20-①-1

柱状図(60.00m~90.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事	
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D
				花崗斑岩	褐灰	CH'	100	13	33				60.79~63.79m ・やや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~ にぶい金属音を発する。 ② 62.98~63.00m ・変質している。 ・灰白色粘土が幅1cmの網目状に分布する。 63.79~68.12m ・硬質で、ハンマーで金属音を発することが 多い。 64.15~65.17m ・コアの表面が褐色化している。 68.12~79.87m ・硬軟を細かく繰り返す。 ●68.72~69.02m(f-①-1-3破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に淡赤橙色の固結礫状部からなる。 ・淡赤橙色の未固結粘土状部：累計幅4.7cm ・走向・傾斜はN36° E66° Wである。 ・上端境界の傾斜は68°、下端境界の傾斜は 81°である。 ・マンガンの縞状構造を伴う。 70.85~70.88m ・幅0.5cmの黒色粘土からなる。 72.15~73.06m ・割れ目が目立つ。 73.06~74.30m ・割れ目が分布する。 74.35~74.78m ・変質している。 ・上部は灰黄色の礫混じりシルト状、下部は 灰白色粘土が網目状に分布する。 75.10~75.68m ・2系統の割れ目が発達し、格子状を呈する。 75.68~77.70m ・割れ目が目立つ。 77.60~78.00m ・変質している。 ・マンガンを伴う割れ目密集部である。 78.00~90.00m ・割れ目が分布する。 79.79m ・幅0.2cmの黒色粘土からなる。 79.87~90.00m ・硬質で、ハンマーで金属音を発する。 86.09~86.12m ・幅2~5mmの石英脈が3条程度並走する。 ・マンガンを伴う。 86.38~86.48m ・幅約1mmの不明瞭な石英脈が密集する。 87.72~89.12m ・マンガンが斑点状に分布する。 87.83m ・幅約3mmのマンガン脈が分布する。 88.45m ・幅1~3mmのマンガン脈が分布する。	
					明赤灰	CM'	100	15	25					
						明赤灰	CM'②	100	5	0				
						明赤灰	CL'	100	5	0				
						明赤灰	CM'	100	37	51				
						明赤灰	CM'	100	14	50				
						明赤灰	CM'	100	15	29				
						明赤灰	CH'	100	18	30				
						明赤灰	CM'	100	14	26				
						明赤灰	CL'	100	9	0				
						明赤灰	CL'	100	10	10				
						明赤灰	CM'	100	9	0				
						明赤灰	CM'	100	37	50				
						明赤灰	CL'	100	8	0				
						明赤灰	CM'	100	10	10				
						明赤灰	D'	100	11	11				
						明赤灰	CL'	100	9	0				
						明赤灰	CH'	100	20	66				
						明赤灰	CH'	100	16	26				
						明赤灰	CL'	100	12	22				
					明赤灰	CL'	100	7	0					
					明赤灰	CH'	100	44	81					
					明赤灰	CH'	100	31	88					
					明赤灰	CM'	100	26	64					
					明赤灰	CH'	100	16	53					
					明赤灰	CH'	100	27	81					
					明赤灰	CH'	100	25	61					
					明赤灰	CH'	100	24	64					
					明赤灰	CH'	100	34	95					
					明赤灰	CH'	100	33	89					
					明赤灰	CH'	100	20	46					

- 1-101(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-100(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	①-3		調査位置		北緯	
発注機関					東経	
調査業者名	主任技師		現理場人		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 75.32 m	角	180° 上	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配
総掘削長	80.00 m	度	90°	向	水平 0°	使用機種
					試験機	ハンマー 落下用具
					エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	岩盤区分	岩級	孔内水位 (m)	測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
																					N	値	深度	試験	試験																	
		73.27	2.05	砂混じりシルト	黄褐						0.00~0.05m: 植物根が混じる腐植土 0.05~2.05m: マサ土。黄褐色を呈する砂混じりシルトからなる。																															
		72.44	2.88	花崗斑岩	浅黄橙						2.05~6.05m: 花崗斑岩とアブライトが互層状に分布する。いずれも風化。変質し原岩組織が不明瞭である。																															
		71.57	3.75	花崗斑岩	赤橙						2.05~6.58m: 傾斜30°及び70°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。																															
		70.90	4.42	アブライト	赤橙						4.96~5.00m: 破砕帯(Hc)。上盤50°下盤不明。幅2.5cm程度。灰白色粘土からなる。																															
		70.70	4.62	花崗斑岩	赤橙						5.53~5.81m: 破砕帯(Hb)。上盤49°下盤25°。幅18cm程度。砂混じり灰白色粘土からなる。																															
		69.94	5.38	アブライト	灰白	Eg	VIg	dg		δ	4	6.05~8.00m: 花崗斑岩主体。径1~15mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を10~20%程度含む。6.05~10.68m間は風化。変質により原岩組織が不明瞭である。																														
		69.47	5.85	花崗斑岩	灰白	Eg	VIg	dg		δ	4	6.42~8.73m: 破砕帯(Hb, Hc)。上盤39°下盤79°。幅60cm程度。主に砂混じり灰白色粘土からなる。間に非破砕帯を含む。																														
		69.27	6.05	アブライト	灰白	Eg	VIg	dg		δ	4	9.10~10.10m: 傾斜80°程度の節理が2系統みられる。																														
		67.51	7.81	花崗斑岩	灰白	Eg	VIg	dg		γ	3	10.10~20.02m: 傾斜20°、45°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。																														
		67.19	8.13	アブライト	灰白	Eg	VIg	dg		γ	3	10.25~10.98m: 変質帯。上盤74°下盤60°。幅22cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。																														
		63.86	11.46	アブライト	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	11.06~11.17m: 破砕帯(Hc)。上盤不明下盤70°。幅4cm程度。灰白色粘土からなる。																														
		63.37	11.95	アブライト	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	11.46~11.95m: 斑晶の含有量が3%程度のアブライトを挟む。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	11.65~11.99m: 変質帯。上盤80°下盤83°。幅4cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。																														
				花崗斑岩	灰白	Eg	IVg	cg		δ	4	12.22~38.81m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	13.19~13.22m: 変質帯。上盤63°下盤22°。幅1.5cm程度。軟質化している。上盤と下盤の傾斜角が大きく異なる。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	13.88~13.95m: 変質帯。上盤51°下盤45°。幅4cm程度。灰白色粘土化している。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	14.37~14.41m: 変質帯。上盤44°下盤39°。幅3cm程度。軟質化している。黄褐色を呈する。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	16.58m: シーム。傾斜87°。幅0.3cm程度の灰白色粘土からなる。他の節理を切っている。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	20.02~29.80m: 傾斜45°及び70°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	20.49m: シーム。傾斜70°。幅0.8cm程度の灰白色粘土からなる。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	22.08~22.25m: 変質帯。上盤70°下盤60°。幅5.8cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	23.28~23.62m: 破砕帯(Hb, Hc, Hj)。上盤42°下盤60°。幅17cm程度。主に砂混じり黄褐色粘土からなる。間に非破砕帯を含む。下部は原岩組織が認められる。																														
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg		γ	3	24.43~25.00m: 破砕帯(Hj, Hc)。上盤50°下盤不明。幅37cm程度。上部は原岩組織が認められる。下部は黄褐色、暗灰色粘土からなる。																														

H20-①-3

柱状図(0.00m~30.00m)

1-102~1-104(分類d)①
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
 1-105(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H20-①-3

孔口標高	T.P.	75.32m	掘削長	80.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記事	
										最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)		
				砂混じりシルト	黄褐	②	100	0	0	0	0	0.00~2.05m ・砂混じりシルトである。	
	73.27	2.05		アブライト	浅黄橙		100	0	0	0	0	0.00~0.05m ・植物根が混じる有機質土。	
	72.44	2.88		花崗斑岩	赤橙		100	0	0	0	0	0.05~2.05m ・黄褐色を呈するマサ土である。	
	71.57	3.75		アブライト	赤橙		100	0	0	0	0	2.05~6.05m ・花崗斑岩とアブライトが互層状に分布する	
	70.90	4.42		花崗斑岩	赤橙		100	0	0	0	0	・風化、変質し原岩組織が不明瞭である。	
	70.39	4.93		アブライト	灰白	D'	100	0	0	0	0	●4.96~5.00m ・破碎部である。	
	69.94	5.38		花崗斑岩	灰白	D'	100	0	0	0	0	・主に赤橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。	
	69.47	5.85		アブライト	浅黄橙		100	0	0	0	0	・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm	
	69.72	6.10		花崗斑岩	浅黄橙		100	0	0	0	0	・走向・傾斜はN83° E40° Nである。	
	67.51	7.81		アブライト	浅黄橙		100	0	0	0	0	・上端境界の傾斜は50°である。	
	67.18	8.14		花崗斑岩	灰白	CL'	100	7	0	0	0	●5.53~5.81m ・破碎部である。	
	63.86	11.46		アブライト	灰白	D'	100	5	0	0	0	・灰白色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。	
	63.37	11.95		花崗斑岩	灰白	CL'	100	12	32	0	0	0	・走向・傾斜はN11° E55° Wである。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	18	39	0	0	0	・上端境界の傾斜は49°、下端境界の傾斜は25°である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	7	0	0	0	0	6.05~80.00m ・花崗斑岩主体である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	12	24	0	0	0	●6.42~8.73m(D-6破碎帯) ・破碎部である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	8	0	0	0	0	・右ずれ正断層センスである。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	11	22	0	0	0	・主に浅黄橙色の固結礫状部からなる。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	13	23	0	0	0	・灰白色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	12	12	0	0	0	・走向・傾斜はN12° E74° Wである。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	12	12	0	0	0	・上端境界の傾斜は39°、下端境界の傾斜は5°である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	12	12	0	0	0	7.81~8.13m ・アブライトである。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	8	0	0	0	0	8.025~10.68m ・変質している。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	5	0	0	0	0	・灰白色粘土が網目状に分布する。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	7	0	0	0	0	●11.06~11.17m(f-①-3-4破碎帯) ・破碎部である。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	4	0	0	0	0	・灰白色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は4.0cmである。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	6	0	0	0	0	・走向・傾斜はN11° W85° Wである。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	9	0	0	0	0	・下端境界の傾斜は70°である。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	7	0	0	0	0	11.46~11.95m ・アブライトである。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	7	0	0	0	0	11.65~11.99m ・変質している。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	9	0	0	0	0	・灰白色粘土が網目状に分布する。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	9	0	0	0	0	12.22~38.81m ・やや軟質で、ハンマーで濁音を発する。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	13.18~13.22m ・変質している。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	13.88~13.95m ・変質している。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・変質している。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・灰白色粘土状を呈する。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	14.37~14.41m ・変質している。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・黄褐色を呈し、軟質化している。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	22.08~22.25m ・変質している。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・灰白色粘土が網目状に分布する。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	●23.28~23.62m(f-①-3-5破碎帯) ・破碎部である。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・淡黄色の固結礫状部からなる。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・走向・傾斜はN12° E48° Wである。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・フィルム状の粘土を挟在する。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・上端境界の傾斜は42°、下端境界の傾斜は60°である。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	●24.43~25.00m(f-①-3-6破碎帯) ・破碎部である。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・黄褐色の固結礫状部からなる。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・走向・傾斜はN26° W64° Wである。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・フィルム状の粘土を挟在する。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	・上端境界の傾斜は50°である。
				花崗斑岩	淡黄	D'	100	10	10	0	0	0	29.80~51.00m ・割れ目沿いに褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 R Q D □ [%]	標準貫入試験 (N 値 ~ 深度)		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	送水速度 (MPa)	回 轉 数 (rpm)	給 圧 (kn・Pa)	コアチューブ / ビット						
													(N) 値	(N) 値																	
30				花崗斑岩	浅黄	Dg	IVg	bg	γ	3	27.83~28.09m:変質帯。上盤55°、下盤59°。幅13cm程度。軟質化している。		93			4/22 32.30		0.1	1	1	泥水 ₂										
40				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg	γ	3	29.80~51.00m:傾斜25°、45°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。 30.00~33.50m:有色鉱物を中心に斑点状に褐色化している。 31.77~31.87m:変質帯。上盤56°、下盤67°。幅4cm程度。軟質化している。		100			4/23 36.30		0.1	2	2	泥水 ₃										
50				花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	γ	3	38.81~44.98m:コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。		100			4/24 46.80		0.1	1	1	泥水 ₂										
50				花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	γ	2	44.98~50.75m:コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。風化がやや進んでいる。		106			4/25 49.80		0.1	1	1	泥水 ₂										
50				花崗斑岩	浅黄橙	Dg	IVg	cg	δ	3	48.20~48.24m:破碎帯(Hc)。上盤73°下盤73°。幅1cm程度。雑混じり緑灰色粘土からなる。周辺は節理が発達している。		120			4/26 57.00		0.1	1	1	泥水 ₃										
50				花崗斑岩	明褐	Dg	IVg	cg	δ	4	50.06~50.15m:破碎帯(Hj)。上盤40°下盤46°。幅7cm程度。原岩組織が認められる。同系統の節理が発達している。 50.75~59.47m:コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。 51.00~65.00m:傾斜20°程度の節理が目立つ。		120			5/1 59.45		0.2	0	0	泥水 ₃										
60				花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	γ	3	57.31~57.58m:変質帯。上盤41°、下盤77°。幅6cm程度。角礫状を呈するが、原岩組織は認められる。上盤と下盤の傾斜角が大きく異なる。		98			5/1 59.45		0.1	1	1	泥水 ₃										
60				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg	γ	3	59.47~69.85m:コアは硬質~やや硬質で、ハンマーで金属音~にぶい金属音を発することが多い。		92					0.2	0	0	泥水 ₃										
				花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg	γ	3	61.60m:シーム、傾斜83°。幅0.1cm程度の灰白色粘土からなる。他の節理を切っている。																				

H20-①-3

柱状図(0.00m~30.00m)

1-105(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-①-3

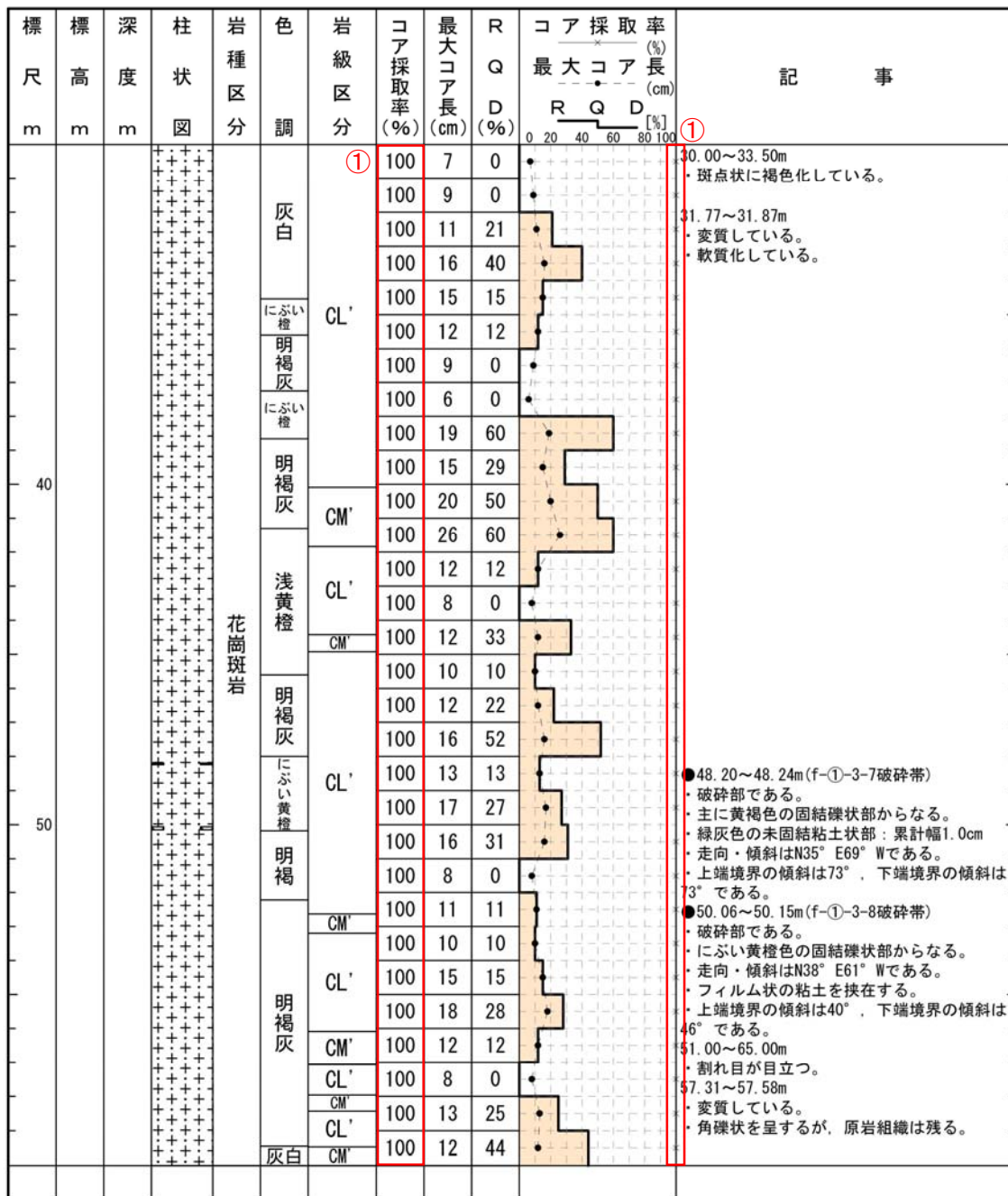
孔口標高	T.P.	75.32m	掘削長	80.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記事
										最大コア 長 (cm)	最大コア 長 (cm)	
				砂混じりシルト	黄褐		100					0.00~2.05m ・砂混じりシルトである。
	73.27	2.05		アブライト	浅黄橙		100	0	0			0.00~0.05m ・植物根が混じる有機質土。
	72.44	2.88		花崗斑岩	赤橙		100	0	0			0.05~2.05m ・黄褐色を呈するマサ土である。
	71.57	3.75		アブライト	赤橙		100	0	0			2.05~6.05m ・花崗斑岩とアブライトが互層状に分布する。
	70.90	4.42		花崗斑岩	赤橙		100	0	0			・風化、変質し原岩組織が不明瞭である。
	69.94	5.38		アブライト	灰白	D'	100	0	0			●4.96~5.00m ・破砕部である。
	69.47	5.85		アブライト	灰白	D'	100	0	0			・主に赤橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。
	67.51	7.81		花崗斑岩	浅黄橙		100	0	0			・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm
	67.18	8.14		アブライト	浅黄橙		100	0	0			・走向・傾斜はN83° E40° Nである。
	63.86	11.46		花崗斑岩	灰白	CL'	100	7	0			・上端境界の傾斜は50°である。
	63.37	11.95		アブライト	灰白	D'	100	5	0			●5.53~5.81m ・破砕部である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	12	32			・灰白色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。
				アブライト	灰白	D'	100	18	39			・走向・傾斜はN11° E55° Wである。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	7	0			・上端境界の傾斜は49°、下端境界の傾斜は25°である。
				アブライト	灰白	CL'	100	12	24			6.05~8.00m ・花崗斑岩主体である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	12	24			●6.42~8.73m(D-6破砕帯) ・破砕部である。
				アブライト	灰白	CL'	100	8	0			・破砕部である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	11	22			・右ずれ正断層センスである。
				アブライト	灰白	CL'	100	13	23			・主に浅黄橙色の固結礫状部からなる。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	12	12			・灰白色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm
				アブライト	灰白	CL'	100	12	12			・走向・傾斜はN12° E74° Wである。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	12	12			・上端境界の傾斜は39°、下端境界の傾斜は75°である。
				アブライト	灰白	CL'	100	8	0			7.81~8.13m ・アブライトである。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	5	0			10.25~10.68m ・変質している。
				アブライト	灰白	CL'	100	7	0			・灰白色粘土が網目状に分布する。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	7	0			●11.06~11.17m(f-①-3-4破砕帯) ・破砕部である。
				アブライト	灰白	CL'	100	4	0			・灰白色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は4.0cmである。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	6	0			・走向・傾斜はN11° W85° Wである。
				アブライト	灰白	CL'	100	9	0			・下端境界の傾斜は70°である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	7	0			① 1.46~11.95m ・アブライトである。
				アブライト	灰白	CL'	100	7	0			① 1.65~11.99m ・変質している。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	9	0			・灰白色粘土が網目状に分布する。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			2.22~38.81m ・やや軟質で、ハンマーで濁音を発する。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			13.18~13.22m ・変質している。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			13.88~13.95m ・変質している。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			・変質している。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			・灰白色粘土状を呈する。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			14.37~14.41m ・変質している。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			・黄褐色を呈し、軟質化している。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			22.08~22.25m ・変質している。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			・灰白色粘土が網目状に分布する。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			●23.28~23.62m(f-①-3-5破砕帯) ・破砕部である。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			・淡黄色の固結礫状部からなる。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			・走向・傾斜はN12° E48° Wである。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			・フィルム状の粘土を挟在する。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			・上端境界の傾斜は42°、下端境界の傾斜は60°である。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			●24.43~25.00m(f-①-3-6破砕帯) ・破砕部である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			・黄褐色の固結礫状部からなる。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			・走向・傾斜はN26° W64° Wである。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			・フィルム状の粘土を挟在する。
				アブライト	灰白	CL'	100	10	10			・上端境界の傾斜は50°である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	10	10			29.80~51.00m ・割れ目沿いに褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 R Q D [%]	標準貫入試験 (試験)		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進進捗 (時)	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアチップ/ビット	給戻 (rpm)	回送 (MPa)	送水 (l/分)	排水 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																						
													(N 値 ~ 深度)	(N 値)																																																																																																																																																																																																																																																																
30			+	花崗斑岩	浅黄	Dg	IVg	bg	γ	3		27.83~28.09m:変質帯。上盤55°、下盤59°。幅13cm程度。軟質化している。		93	4/22 32,30																																																																																																																																																																																																																																																															
																														40			+	花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg	γ		29.80~51.00m:傾斜25°、45°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。30.00~33.50m:有色鉱物を中心に斑点状に褐色化している。		100	4/23 36,30																																																																																																																																																																																																																																		
																																																												50			+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	3		31.77~31.87m:変質帯。上盤56°、下盤67°。幅4cm程度。軟質化している。		100	4/24 46,80																																																																																																																																																																																																				
																																																																																										60			+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	3		38.81~44.98m:コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。		106	4/25 49,80																																																																																																																																																																						
																																																																																																																								60			+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	2		44.98~50.75m:コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。風化がやや進んでいる。		120	4/26 57,00																																																																																																																																								
																																																																																																																																																						60			+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	3		48.20~48.24m:破砕帯(Hc)。上盤73°下盤73°。幅1cm程度。雑混じり緑灰色粘土からなる。周辺は節理が発達している。		98	5/1 59,45																																																																																																										
																																																																																																																																																																																					60			+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	3		50.06~50.15m:破砕帯(Hj)。上盤40°下盤46°。幅7cm程度。原岩組織が認められる。同系統の節理が発達している。		92																																																																												
																																																																																																																																																																																																																			60			+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	3		50.75~59.47m:コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。		92																																														
																																																																																																																																																																																																																																																	60			+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	3		51.00~65.00m:傾斜20°程度の節理が目立つ。		92																
60			+	花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg	3		59.47~69.85m:コアは硬質~やや硬質で、ハンマーで金属音~にぶい金属音を発することが多い。		92																																																																																																																																																																																																																																																																	
																														60			+	花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	cg	3		61.60m:シーム。傾斜83°。幅0.1cm程度の灰白色粘土からなる。他の節理を切っている。		92																																																																																																																																																																																																																																			

H20—①—3

柱状図(30.00m～60.00m)

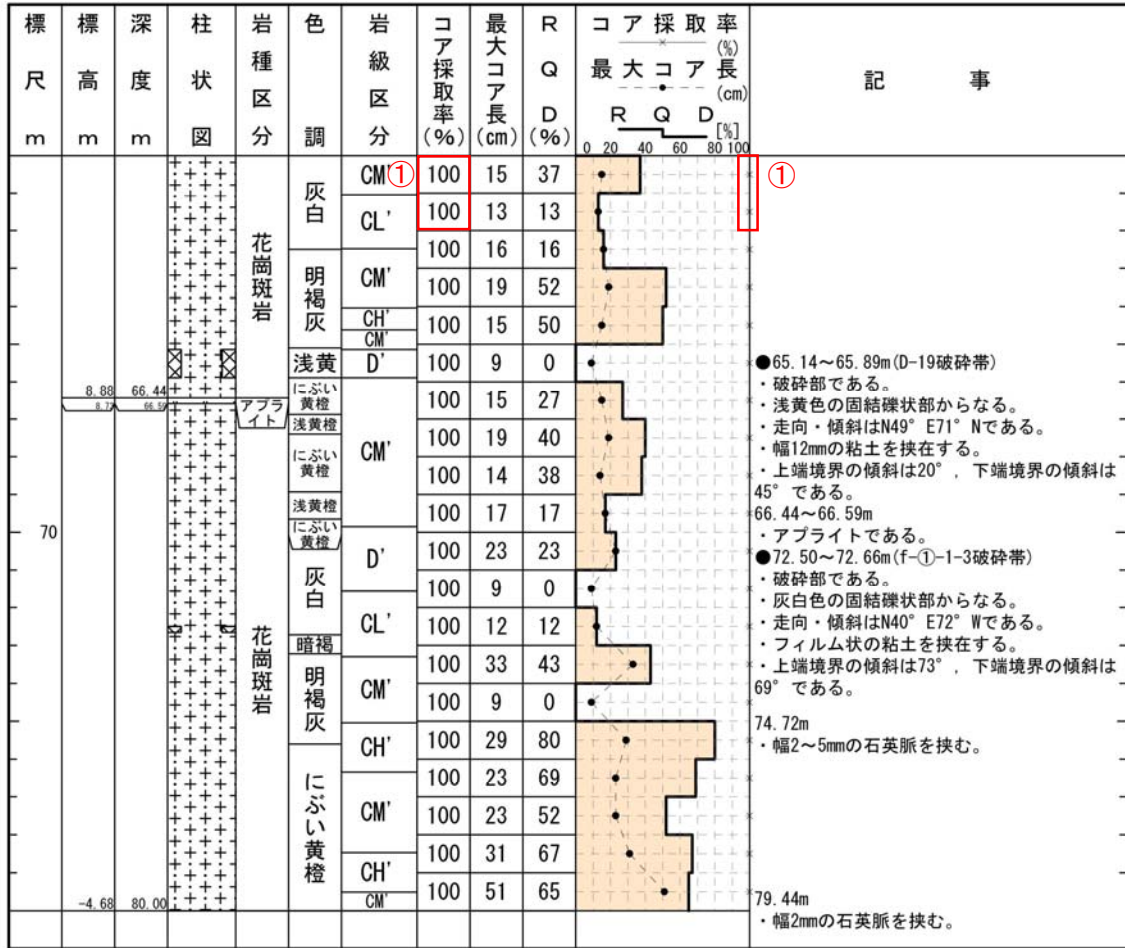


1-105(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアラ形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	岩級区分	岩盤分類		孔内水位(測定日) (N) 値	(標準貫入試験) 試験						原位置試験 (孔内水平载荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアカチューブ / ピット	給圧 (kn・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
													最大コア長 (cm)	コア採取率 (%)		N	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
30	30.0	30.0	+	花崗斑岩	浅黄	Dg	IVg	γ	3		27.83~28.09m:変質帯。上盤55°、下盤59°。幅13cm程度。軟質化している。	CL	[90]	26.92	0	0	0	0	0	0	0	0				93																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
																																		40	40.0	40.0	+	花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	γ	3	29.80~51.00m:傾斜25°、45°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。 30.00~33.50m:有色鉱物を中心に斑点状に褐色化している。 31.77~31.87m:変質帯。上盤56°、下盤67°。幅4cm程度。軟質化している。	CL	[110]	40.99	10	10	10	10	10	10	10	10	10				4/22	32,30		100																																																																																																																																																																																																																																																																	
																																																																					50	50.0	50.0	+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	γ	3	38.81~44.98m:コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。	CM	[130]	40.99	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20				4/23	36,30		100																																																																																																																																																																																																																													
																																																																																																								60	60.0	60.0	+	花崗斑岩	浅黄橙	Dg	IVg	γ	2	44.98~50.75m:コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。風化がやや進んでいる。	CM	[140]	40.99	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30				4/24	46,80		106																																																																																																																																																																																										
																																																																																																																																											60	60.0	60.0	+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	γ	3	48.20~48.24m:破碎帯(Hc)。上盤73°下盤73°。幅1cm程度。雑混じり緑灰色粘土からなる。周辺は節理が発達している。	CL	[150]	40.99	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40				4/25	49,80		120																																																																																																																																																						
																																																																																																																																																																															60	60.0	60.0	+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	γ	3	50.06~50.15m:破碎帯(Hj)。上盤40°下盤46°。幅7cm程度。原岩組織が認められる。同系統の節理が発達している。 50.75~59.47m:コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。 51.00~65.00m:傾斜20°程度の節理が目立つ。	CM	[160]	40.99	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50				4/26	57,00		120																																																																																																																
																																																																																																																																																																																																																					60	60.0	60.0	+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	γ	3	57.31~57.58m:変質帯。上盤41°下盤77°。幅6cm程度。角礫状を呈するが、原岩組織は認められる。上盤と下盤の傾斜角が大きく異なる。	CL	[170]	40.99	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60				5/1	59,45		98																																																																											
																																																																																																																																																																																																																																																										60	60.0	60.0	+	花崗斑岩	灰白	Dg	IVg	γ	3	59.47~69.85m:コアは硬質~やや硬質で、ハンマーで金属音~にぶい金属音を発することが多い。	CM	[180]	40.99	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70				92																																										
																																																																																																																																																																																																																																																																																													60	60.0	60.0	+	花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	γ	3	61.60m:シーム、傾斜33°。幅0.1cm程度の灰白色粘土からなる。他の節理を切っている。	CL	[190]	40.99	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80										

H20-①-3

柱状図(60.00m~80.00m)

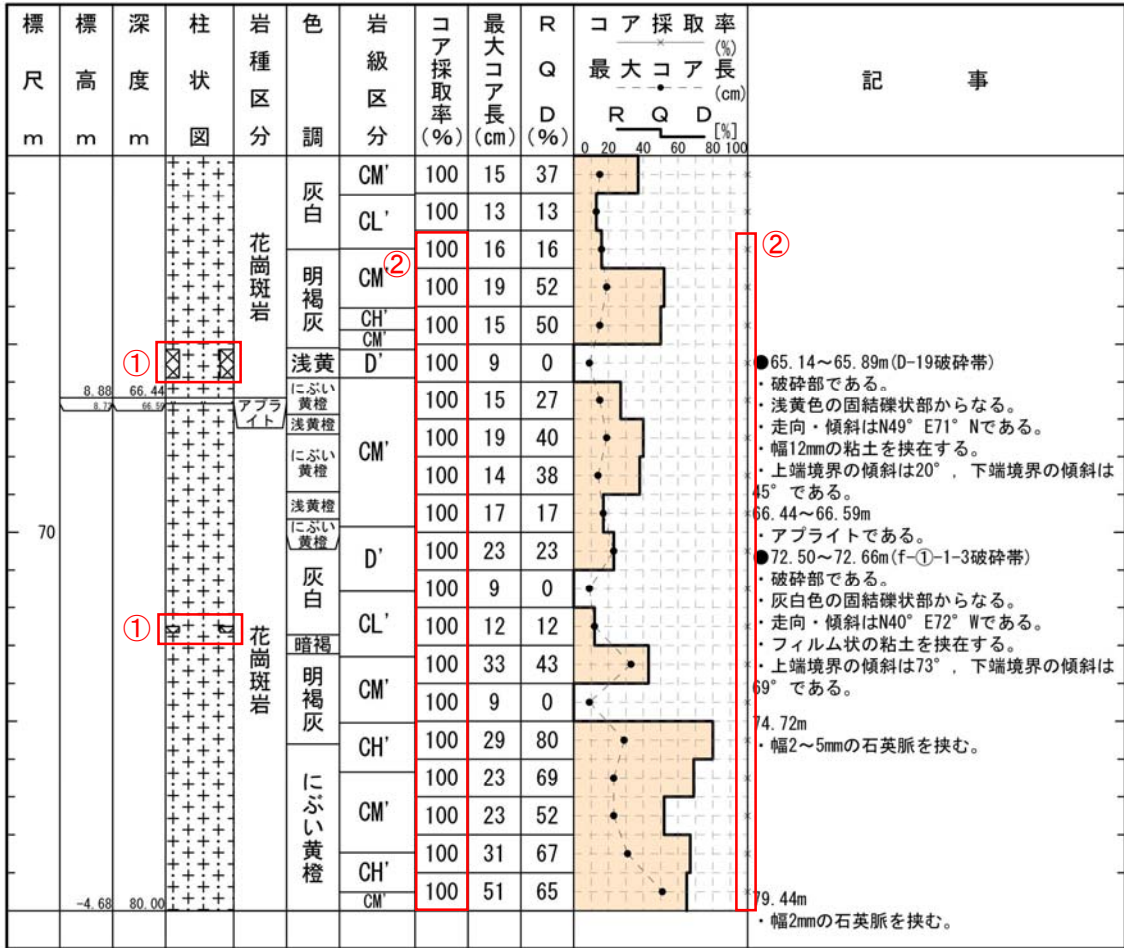


1-105(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D □ [%]	岩盤区分		孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
													岩級	盤分		N 値 ~ 深度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
70	8.88 8.73	66.44 66.59	[柱状図]	花崗斑岩	灰白	Cg	IVg	cg			3		0 50 100	CL' 37.48	[試験結果]	62.02	0 10 20 30 40 50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
																																		5 / 7 63.60	92	10.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
																																																																	5 / 8 69.50	91	150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
																																																																																																	5 / 8 69.50	91	15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																		
																																																																																																																																	5 / 9 76.40	99	0.2	泥水3	0																																																																																																																																																																																																																																																
																																																																																																																																																																		5 / 9 76.40	99	15.0																																																																																																																																																																																																																	
																																																																																																																																																																																																			5 / 9 76.40	99	0.2	泥水3	0																																																																																																																																																																														
																																																																																																																																																																																																																																				5 / 9 76.40	99	120																																																																																																																																															
																																																																																																																																																																																																																																																																					5 / 9 76.40	99	15.0																																																																																																														
																																																																																																																																																																																																																																																																																																							5 / 10 80.00	90	30.0	0.2	泥水3	1																																																																									
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									5 / 10 80.00	90	30.0	0.2	泥水3	1																																							
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											5 / 10 80.00	90	30.0	0.2	泥水3	1					
5 / 10 80.00	90	30.0	0.2	泥水3	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
																																		5 / 10 80.00	90	30.0	0.2	泥水3	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
																																																																	5 / 10 80.00	90	30.0	0.2	泥水3	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

H20-①-3

柱状図(60.00m~80.00m)



- 1-106, 1-107(分類d) ①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-105(分類b) ②
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	①-4	調査位置		北緯						
発注機関		調査期間		東経						
調査業者名		主任技師		現代場人	ボーリング責任者					
調査者		コ鑑定者								
孔口標高	+ 86.02 m	角	180° 上	方	北 0° 東 90° 南 0° 西 270°	地盤勾配	鉛直 水平 10° 90°	使用機種	試験機	ハンマー 落下用具
総掘削長	90.00 m	度	90°	向				ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D	岩盤区分	岩級	孔内水位 / 測定月日	(標準貫入試験) 試験	原位置試験 孔内水平載荷 (N)	室進	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
85.02	1.00			明黄褐色							0.00~0.04m: 黒色を呈する腐植土。 0.04~1.00m: マサ土。明黄褐色を呈するシルト質中粒砂からなる。																							
78.32	7.70			灰白							1.00~7.70m: アブライト。全体に風化。変質し、原岩組織は不明瞭である。所々、マンガンが濃集する。																							
77.60	8.42			浅黄褐色							1.00~14.65m: 傾斜30° 及び60°程度 の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。																							
77.05	8.97			淡褐色	ε	dg	4				1.00~15.25m: コアは風化、変質し、軟質で、ハンマーで著しい濁音を発する。																							
76.52	9.50			明赤褐色							3.73~3.90m: 赤色化著しい。 3.93~3.94m: 変質帯。上盤85°, 下盤85°。幅0.5cm程度。灰白色粘土からなる。樹枝状に分岐している。																							
76.19	9.83			明赤褐色	ε						4.69~4.73m: 変質帯。上盤7°, 下盤26°。幅3.6cm程度。灰白色粘土からなる。樹枝状に分岐している。																							
73.32	12.70			浅黄褐色	δ						4.73~4.96m: 赤色化著しい。 6.82m: シーム。傾斜60°。幅0.3cm程度の褐色粘土からなる。																							
72.42	13.60			明赤褐色	ε						7.15~7.70m: 破砕帯 (Hc)。上盤63°, 下盤68°。幅21cm程度。灰白色、一部赤褐色粘土からなる。																							
				浅黄褐色	δ						7.55~9.42m: 赤色~褐色化が著しい。 7.70~9.83m: 花崗斑岩とアブライトが互層状に分布する。全体に風化、変質し、原岩組織は不明瞭である。両者の境界は漸移的である。																							
				明赤褐色	ε						9.83~90.00m: 花崗斑岩主体。径1~15mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を10~30%程度含む。下部ほど石英、長石の斑晶が大きい傾向が認められる。																							
				浅黄褐色	δ						10.73~13.00m: 赤色化著しい。 10.73~14.06m: 節理に沿ってマンガンが分布する。 10.73~14.06m: 傾斜66°。幅0.3cm程度の褐色、灰白色粘土からなる。他の節理を切っている。																							
				明赤褐色	ε						11.28m: シーム。傾斜64°。幅0.5cm程度の灰白色粘土からなる。周辺は節理が発達している。																							
				明赤褐色	ε						12.70~13.60m: 斑晶の含有量が5%程度のアブライトを挟む。 12.70~15.25m: 破砕帯 (Hc, Hj)。上盤72°, 下盤70°。幅0.7cm程度。上部は原岩組織が認められる部分が多いが、下部は灰白色粘土からなる。変形構造が顕著にみられる。																							
				明赤褐色	ε						14.65~25.88m: 傾斜20° 及び75°程度 の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。																							
				明赤褐色	ε						15.25~25.15m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。																							
				明赤褐色	ε						20.40m: シーム。傾斜75°。幅0.3cm程度の灰白色粘土からなる。																							
				明赤褐色	ε						21.10~21.15m: 破砕帯 (Hj, Hc)。上盤60°, 下盤72°。幅1.5cm程度。原岩組織が認められるが、下盤に暗褐色粘土を伴う。																							
				明赤褐色	ε						22.63~22.90m: 斑晶がやや少なく、アブライト様を呈する。																							
				明赤褐色	ε						23.19m: シーム。傾斜68°。幅0.5cm程度の疎混じり褐色粘土からなる。																							
				明赤褐色	ε						25.15~29.72m: コアはやや硬質~硬質で、ハンマーでにくい金属音~金属音を発する。																							

H20-①-4

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-①-4

孔口標高	T.P.	86.02m	掘削長	90.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										R	Q	D	
	85.02	1.00		シルト質砂	明黄褐	③	100						0.00~1.00m ・シルト質砂である。
				アブライト	灰白		100	0	0				0.00~0.04m ・有機質土である。
				アブライト	浅黄橙		100	0	0				0.04~1.00m ・中粒砂主体である。
				アブライト	浅黄橙		100	0	0				1.00~7.70m ・アブライトである。 ・原岩組織は不明瞭である。 ・所々にマンガンが濃集する。
	78.32	7.70		花崗斑岩	橙	D'	100	0	0				7.70~14.65m ・割れ目沿いに褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。
	77.60	8.42		アブライト	淡橙		100	0	0				8.73~3.90m ・赤色化が著しい。
	77.05	8.97		アブライト	淡橙		100	0	0				3.93~7.70m(D-5破碎帯) ・破碎部である。 ・主に浅黄橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。
	76.52	9.50		アブライト	明赤褐		100	0	0				7.70~14.65m ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・上端境界の傾斜は85°、下端境界の傾斜は68°である。
	76.19	9.83		アブライト	浅黄橙		100	0	0				4.73~4.96m ・赤色化が著しい。
	73.32	12.70		アブライト	浅黄橙		100	0	0				7.55~8.42m ・赤~褐色化が著しい。
	72.42	13.00		アブライト	浅黄橙		100	9	0				7.70~9.83m ・花崗斑岩とアブライトが互層状に分布する。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	17	42				9.83~90.00m ・花崗斑岩が主体である。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	7	0				10.73~13.00m ・赤色化が著しい。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	22	32				10.73~14.66m ・割れ目沿いにマンガンが分布する。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	21	21				12.25~12.26m(f-①-2-2破碎帯) ・破碎部である。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	7	0				12.25~12.26m(f-①-2-2破碎帯) ・灰白色の固結礫状部からなる。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	8	0				12.25~12.26m(f-①-2-2破碎帯) ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・境界の傾斜は40°である。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	10	10				2.70~13.60m ・アブライトである。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	10	20				12.70~15.25m(D-6破碎帯) ・破碎部である。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	17	17				12.70~15.25m(D-6破碎帯) ・正断層センスである。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	33	45				主に明赤褐色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	27	70				・灰白色の未固結粘土状部：累計幅6.8cm
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	31	68				・走向・傾斜はN32° E80° Wである。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	13	23				・上端境界の傾斜は72°、下端境界の傾斜は70°である。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	8	0				21.10~21.15m(f-①-4-3破碎帯) ・破碎部である。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	8	0				・明褐灰色の固結礫状部からなる。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	8	0				・走向・傾斜はN19° E74° Wである。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	8	0				・フィルム状の粘土を挟在する。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	8	0				・上端境界の傾斜は60°、下端境界の傾斜は72°である。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	8	0				25.88~26.86m ・低角度の割れ目が目立つ。
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	8	0				29.72~31.87m ・割れ目が多く、短柱状を呈する。

- 1-108(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-109, 1-110(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-111(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-①-4

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-①-4

孔口標高	T.P.	86.02m	掘削長	90.00m
------	------	--------	-----	--------

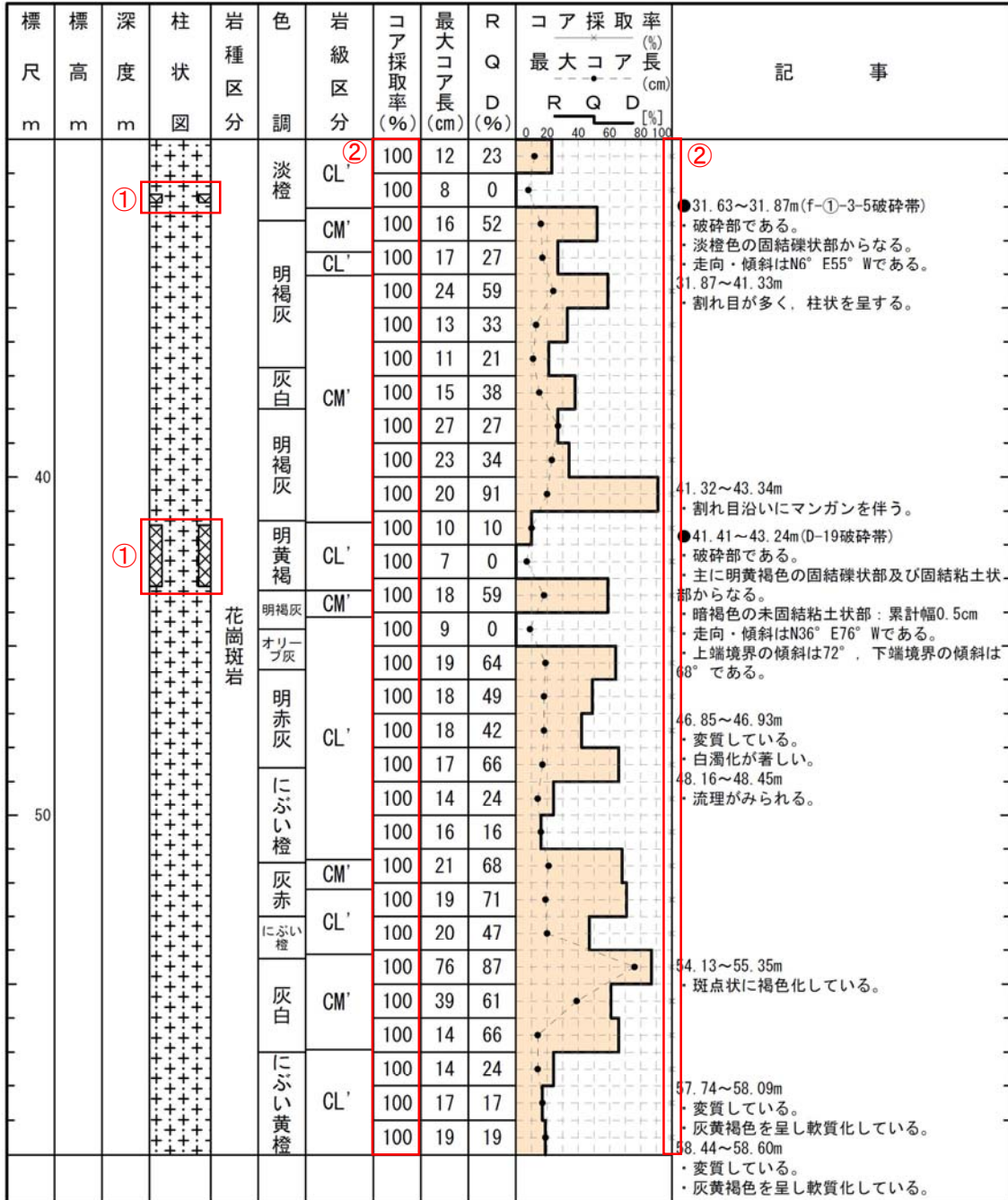
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事							
										R	Q	D								
	85.02	1.00		シルト質砂	明黄褐		100						0.00~1.00m ・シルト質砂である。							
				アブライト	灰白	D'	100	0	0				0.00~0.04m ・有機質土である。							
			浅黄橙		100		0	0						0.04~1.00m ・中粒砂主体である。						
			にぶい橙		100		0	0						1.00~7.70m ・アブライトである。 ・原岩組織は不明瞭である。 ・所々でマンガンが濃集する。						
			浅黄橙		100		0	0						1.00~14.65m ・割れ目沿いに褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。						
	78.32	7.70			花崗斑岩		橙	100	0	0				3.73~3.90m ・赤色化が著しい。						
	77.60	8.42			アブライト		淡橙	100	0	0				●3.93~7.70m(D-5破碎帯)						
	77.05	8.97			花崗斑岩			100	0	0				・破碎部である。						
	76.52	9.50			アブライト			100	0	0				・主に浅黄橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。						
	76.19	9.83			花崗斑岩		明赤褐	100	0	0				・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・上端境界の傾斜は85°、下端境界の傾斜は68°である。						
	73.32	12.70			アブライト		浅黄橙	100	0	0				4.73~4.96m ・赤色化が著しい。						
	72.42	13.60		アブライト	100	0		0				7.55~8.42m ・赤~褐色化が著しい。								
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	9	0				7.70~9.83m ・花崗斑岩とアブライトが互層状に分布する。							
							100	17	42						9.83~90.00m ・花崗斑岩が主体である。					
							100	7	0						10.73~13.00m ・赤色化が著しい。					
							100	22	32						10.73~14.66m ・割れ目沿いにマンガンが分布する。					
							100	21	21						●12.25~12.26m(f-①-2-2破碎帯)					
							100	7	0						・破碎部である。					
							100	8	0						・灰白色の固結礫状部からなる。					
							100	10	10						・フィルム状の粘土を挟在する。					
							100	10	20						・境界の傾斜は40°である。					
							100	10	20						12.70~13.60m ・アブライトである。					
				100	17	17						●12.70~15.25m(D-6破碎帯)								
				100	33	45						・破碎部である。								
				明褐灰白	CM'①	100	27	70	①				・正断層センスである。							
			橙	CH'									100	31	68					・主に明赤褐色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。
			にぶい橙	CH'									100	13	23					・灰白色の未固結粘土状部：累計幅6.8cm ・走向・傾斜はN32° E80° Wである。
				淡橙	CM'	100	13	23					・上端境界の傾斜は72°、下端境界の傾斜は70°である。							
				淡橙	CL'	100	8	0					●21.10~21.15m(f-①-4-3破碎帯)							
													・破碎部である。							
													・明褐灰色の固結礫状部からなる。							
													・走向・傾斜はN19° E74° Wである。							
													・フィルム状の粘土を挟在する。							
													・上端境界の傾斜は60°、下端境界の傾斜は72°である。							
													25.88~26.86m ・低角度の割れ目が目立つ。							
													29.72~31.87m ・割れ目が多く、短柱状を呈する。							

1-111(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 ← (%) 最大コア長 — cm R Q D □ [%]	岩盤区分		孔内水位 / 測定月日		(標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平载荷	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																															
													岩盤区分	分類	(N) 値	(N 値 ~ 深度)	0	10	20	30	40												50																																																														
30			+	花崗斑岩	橙	IIIg	cg					25.88~26.86m:傾斜20°程度の節理が目立つ。	27 100 26.78	CM'	26.44	26.02	4/1	26.80	134																																																																												
																																			淡橙	Bg	bg	26.86~41.22m:傾斜20°、50°、及び70°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。	31 169 28.38	CH'	28.24	28.24	113																																																				
																																																																		明褐灰	Cg	Vg	29.08m:シーム。傾斜80°。幅0.2cm程度の黒褐色粘土からなる。他の節理を切っている。	28.94	CM'	28.24	113																						
																																			明褐灰	Bg	IIIg	31.87~35.41m:コアはやや硬質で、ハンマーでにぶい金属音を発する。	31.66	CM'	33.65	33.65																																																					
																																																																		明褐灰	Dg	IVg	35.41~41.33m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。	34.08	CL'	34.08																							
																																			灰白	Bg	IIIg	39.17m:傾斜70°の節理に沿って、淡緑灰色粘土が分布する。幅0.5mm程度	39.99	CM'	39.99																																																						
																																																																		明褐灰	Dg	IVg	41.22~60.00m:傾斜75°程度の節理が発達する。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	41.33	CL'	41.33																							
																																			明褐灰	Cg	IVg	41.32~43.34m:節理に沿ってマンガンを伴う。	43.38	CM'	43.38																																																						
																																																																		明赤灰	Dg	IVg	41.41~43.24m:破砕帯(Hc,Hj)。上盤72°、下盤68°。幅57cm程度。主に節理密集部からなるが、上盤、下盤に暗褐色粘土を伴い、正断層的センスが認められる。	44.14	CM'	44.14																							
明赤灰	Cg	IVg	43.24~61.05m:コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。	61.05	CM'	61.05																																																																																									
																																明赤灰	Dg	IVg	46.85~46.93m:変質帯。上盤70°、下盤62°。幅3cm程度。白濁化が著しいが、原岩組織は認められる。他の節理で切られる。	46.93	CL'	46.93																																																									
にぶい橙	Bg	IIIg	48.16~48.45m:傾斜15°程度の流理がみられる。	48.16	CL'	48.16																																																																																									
																																灰赤	Dg	IVg	54.13~55.35m:有色鉱物を中心に斑点状に褐色化している。	55.35	CM'	55.35																																																									
にぶい黄橙	Cg	IVg	57.74~58.09m:変質帯。上盤87°、下盤70°。幅2cm程度。不規則な分布形状で軟質化している。灰黄褐色を呈する。	58.09	CL'	58.09																																																																																									
																																明褐灰	Dg	IVg	58.44~58.60m:変質帯。上盤64°、下盤84°。幅2cm程度。軟質化している。灰黄褐色を呈する。	58.60	CL'	58.60																																																									
明褐灰	Cg	IVg	60.03~61.05m:変質帯。上盤53°、下盤67°。幅40cm程度。軟質化している。	61.05	D'	61.05																																																																																									
																																明褐灰	Dg	IVg	61.05~66.08m:傾斜25°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	66.08	CL'	66.08																																																									
明褐灰	Cg	IVg	61.05~75.92m:コアはやや硬質~硬質で、ハンマーでにぶい金属音~金属音を発する。	75.92	CM'	75.92																																																																																									

H20—①—4

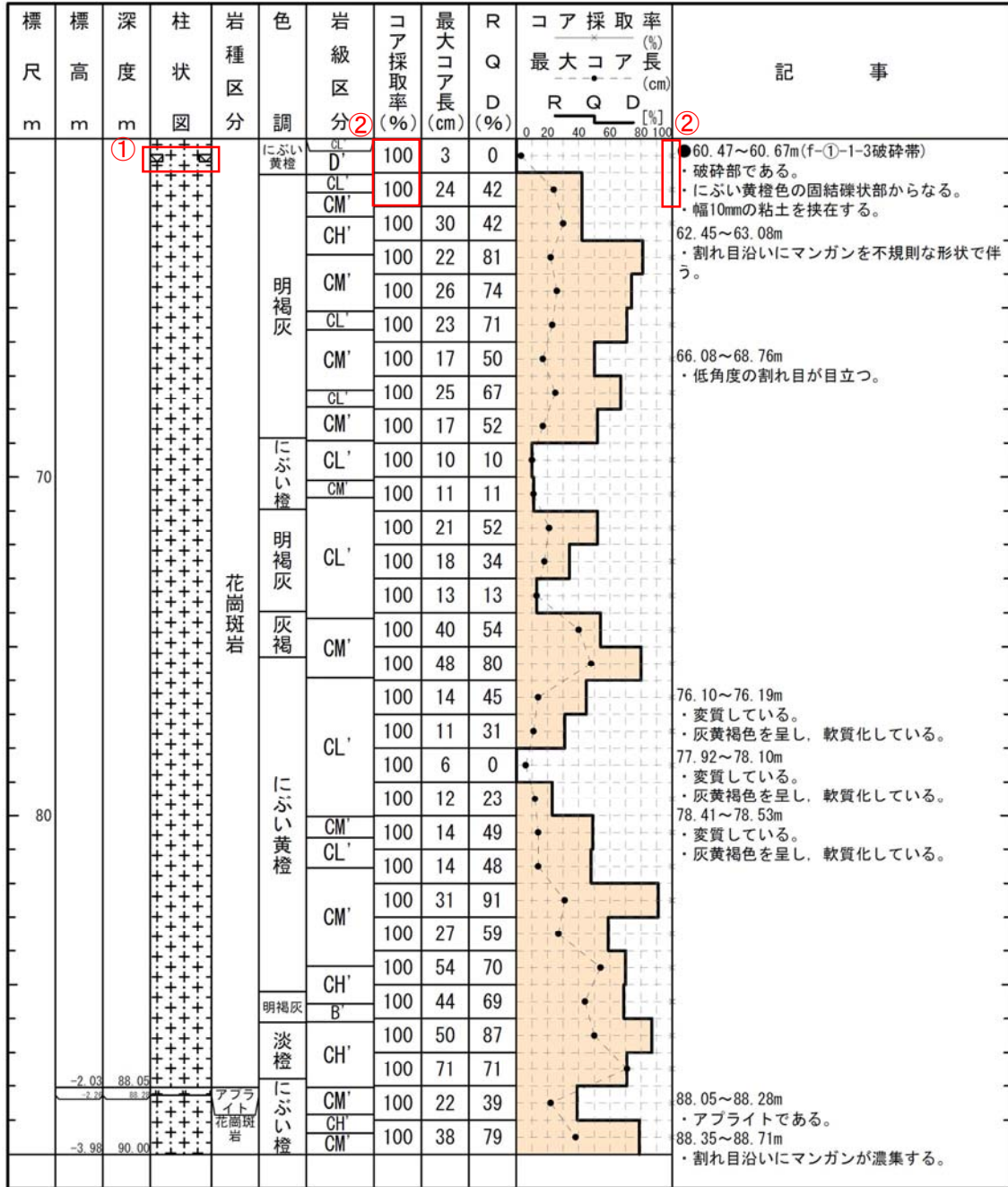
柱状図(30.00m～60.00m)



1-112, 1-113(分類d)①
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
 1-111(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H20-①-4

柱状図(60.00m~90.00m)

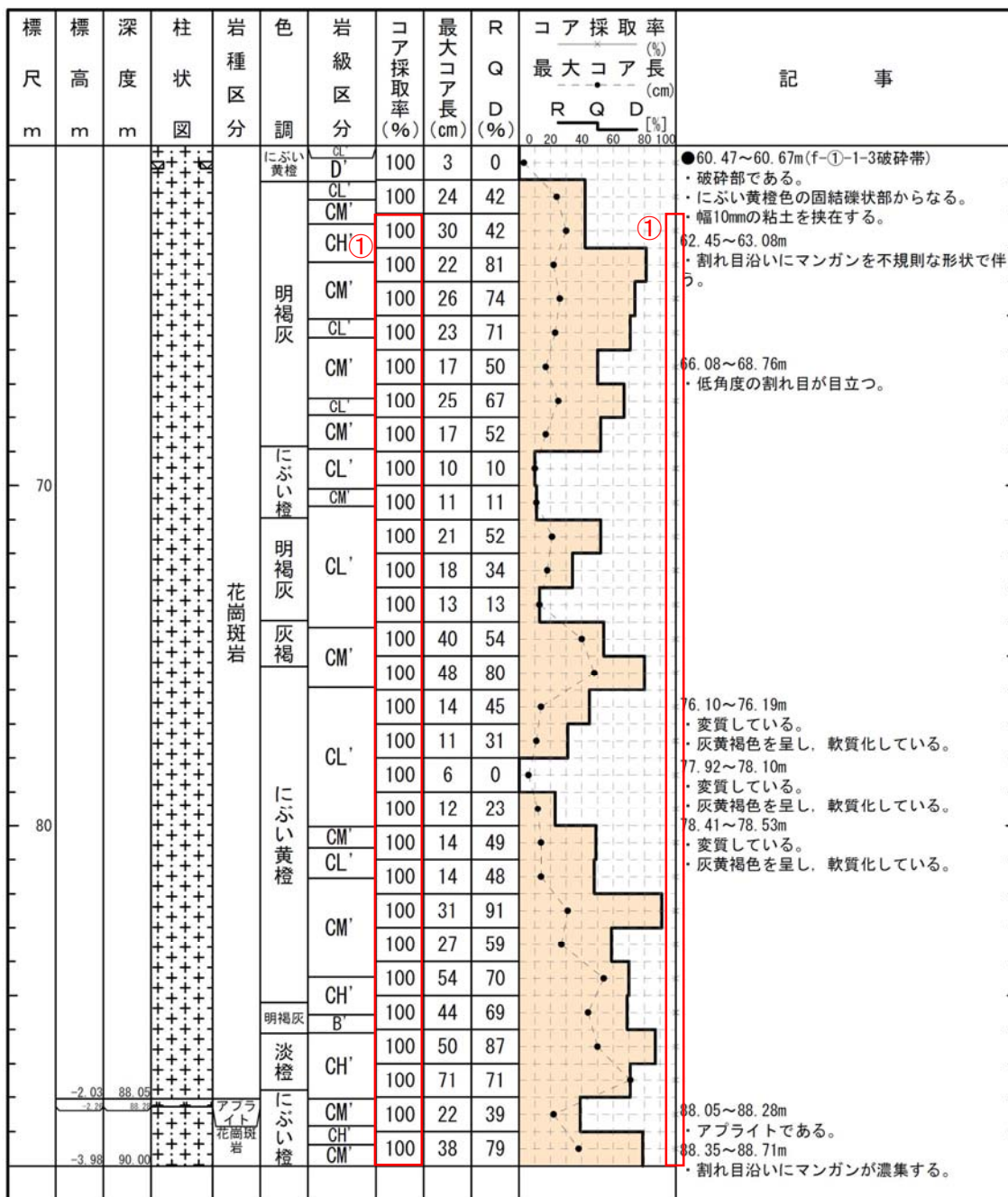


1-114(分類d)①
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
 1-111(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位 (m) / 測定月日 (N) 値	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平載荷 ()	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN · rpm)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l / 分)	排水量 (l / 分)																																																																																																																																		
																(N 値 ~ 深度)																																																																																																																																																	
70			+	明褐灰			bg	γ			62.45~63.08m: 節理に沿って、マンガンを不規則な形状で伴う。	CM'	CH'			0 10 20 30 40 50	116	4/10	64.30																																																																																																																																														
	80																																			明褐灰			cg	γ		66.08~68.76m: 傾斜20°程度の節理が目立つ。	CM	CM'						135	4/11	72.40					ダブルコアチューブ / ダイヤビット	30.0	90	0.2	泥水 ₃	3																																																																																																			
																																																																		明褐灰			cg	δ		68.76~79.25m: 傾斜40°及び70°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンを灰白色粘土を伴うことが多い。	CM'	CL'																																																																																							
																																																																																																		明褐灰			cg	δ		75.92~79.52m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。76.10~76.19m: 変質帯。上盤80°, 下盤72°, 幅2cm程度。不規則な分布形状で軟質化している。灰黄褐色を呈する。	CL'	CL'																																																							
																																																																																																																																		明褐灰			cg	γ		77.92~78.10m: 変質帯。上盤45°, 下盤60°, 幅13cm程度。不規則な分布形状で軟質化している。灰黄褐色を呈する。	CM'	CL'																							
							明褐灰			cg	γ		81.54~90.00m: コアはやや硬質で、ハンマーで金属音を発する。	CM'	CM'																																																																																																																																																		
																																				明褐灰			cg	β		79.52~81.54m: コアはやや硬質で、ハンマーで金属音を発する。	CM'	CH'																																																																																																																					
																																																																		明褐灰			cg	β		78.41~79.52m: 変質帯。上盤83°, 下盤83°, 幅1.5cm程度。軟質化している。灰黄褐色を呈する。	CM'	CH'																																																																																							
																																																																																																		明褐灰			cg	γ		88.05~88.28m: 斑晶がほとんど認められないアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。斑点状にマンガンを濃集する。	CM'	CH'																																																							
																																																																																																																																		明褐灰			cg	γ		88.35~88.71m: 節理に沿ってマンガンを濃集する。	CM'	CH'																							
					花崗斑岩			cg	γ			CM'	CH'																																																																																																																																																				
																																			花崗斑岩			cg	γ			CM'	CH'																																																																																																																						
																																																																		花崗斑岩			cg	γ			CM'	CH'																																																																																							

H20-①-4

柱状図(60.00m~90.00m)



1-111(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No.11		調査位置		北緯	
発注機関					東経	
調査業者名	主任技師		調査期間		現代理人	
孔口標高	+ 32.11 m	角	コ鑑定者		ボーリング責任者	
総掘削長	120.00 m	度	使用機種		ハンマー 落下用具	
			エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩色調	硬軟	割れ目の形状	風変質	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
													N 値 ~ 深度	試験													
				盛土				雑砂、シルトからなる。						0													
		26.03	黄褐	明黄褐	Eg	dg	ε	深度6.08~41.35m: アブライト、厚さ1.2~1.7m程度の花崗岩を挟む。										133		114 / ケーシング	20.0	100	0.0	0	0		
		6.08	灰白	明黄褐	Dg			アブライトは、石基が径0.1mm以下で、一部径0.1~0.2mm程度である。径5~10mmの石英、長石の斑晶が僅かに点在する(0.5%以下)。一部石基中に黒雲母を多く含む。流理は20~30度程度である。			[D]							1/29		4.55							
			アブライト	明黄褐	Eg			深度10.00~18.00m: 節理は発達するが、酸化マンガンを挟み密着している。												203							
			にぶい黄橙		Dg		δ	深度11.35m: シーム。傾斜65度、幅1~2mm、黒褐色、一部灰白色シルト状。												1/20							
			にぶい黄橙		Dg			深度14.40~14.43m: ベグマタイト。													25.0						
			花崗斑岩	明黄褐	Ig			全体に風化強く、長石は白色化している。花崗斑岩、上位との境界漸移的。下位との境界漸移的。			[CL]									192		170	0.0	泥水13	10		
			アブライト	明黄褐	Ig			深度19.10~25.00m: 節理に沿って褐色化しているが、岩芯は新鮮な部分が多い。													76						
			アブライト	明黄褐	Ig			深度22.45~22.48m、22.55~22.62m: 斑晶の多い部分を挟む。													163		17.0	250	0.0	泥水7	7
			黄橙	明黄褐	Ig			深度25.00~26.40m: 全体に褐色化著しい。													76						
			黄橙	明黄褐	Ig			深度26.40~26.65m: 斑晶多い。													153		35.0	170	0.0	泥水12	12
				黄橙	Ig															1/31							
				黄橙	Ig															2/1							
				黄橙	Ig															26.10							

H19-No. 11

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 11

孔口標高	T.P. 32.11m	掘削長	120.00m
------	-------------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記事
				盛土			100				0.00~6.08m ・盛土である。
	26.03	6.08		黄褐			100				
				明黄褐	D'		100	0	0		6.08~41.35m ・アプライトである。 ・幅1.2~1.7m程度の花崗斑岩を挟む。
				灰白	CL'		100	0	0		
				明黄褐	D'		100	0	0		
				灰白			100	0	0		
				アプライト			100	39	75		0.00~18.00m ・酸化マンガンを挟む割れ目が発達する。
				にぶい黄橙			100	78	78		1.35m ・幅1~8mmの黒褐~灰白色シルト状を呈する
							100	25	100		
							100	36	70		
							100	54	92		4.40~14.43m ・ペグマタイトである。
							100	30	82		
							100	29	72		
	14.66	17.45		花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	36	87		7.45~19.10m ・花崗斑岩である。 ・全体に強風化し、長石は白色化している。
	13.01	19.10					100	25	48		9.10~25.00m ・割れ目に沿って褐色化しているが、岩芯は新鮮な部分が多い。
				アプライト	灰白		100	20	20		22.45~22.48m, 22.55~22.62m ・斑晶の多い部分を挟む。
							100	5	0		
							100	17	38		
							100	10	10		
							100	16	28		
							100	17	17		25.00~26.40m ・全体に褐色化が著しい。
	5.17	26.94		花崗斑岩	淡黄		100	14	26		26.94~28.20m ・花崗斑岩である。
	3.91	28.20		淡赤橙			100	0	0		
				アプライト	灰白	CM'	100	17	17		28.80~40.00m ・全体に新鮮である。 ・割れ目に沿って褐色化する。
							100	30	64		

- 1-115(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。
- 1-116, 1-117(分類c)②
基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%)	最大コア長 (cm)	岩 質 区 分 類	孔 内 水 位 (m) / 測 定 日 月	(標準貫入試験) 試験				原 位 置 試 験 (孔 内 水 平 載 荷)	室 内 試 験 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	コ ア チューブ / ピット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)					
															N 値 ~ 深度	0	10	20											30	40	50		
																																(N 値)	(値)
	3.91	28.20		花崗斑岩	淡黄	Dg	Dg	cg	γ	2																							
				アプライト	淡黄 灰白	Dg IIg	Dg																										
					にぶい橙	Ig			β																								
					灰白	IIg				1																							
					明褐	IIg																											
					灰白	IIg																											
					橙	Cg																											
					にぶい黄橙	Ig																											
					にぶい黄橙	IIg																											
					灰白	IIg																											
				花崗斑岩	淡黄	Dg																											
					灰白	IIg																											
					明褐	Dg																											
					灰白	IIg																											
					浅黄	Cg																											
					明褐灰	IIg				2																							
					にぶい黄橙	Ig																											
					明褐灰	Cg																											
					浅黄	IIg																											
					明赤灰	Ig																											
					浅黄	IIg																											
					明赤灰	Ig																											
					淡黄	IIg																											
					明赤灰	IIIg																											
					明赤灰	IIIg																											

H19-No. 11

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 11

孔 口 標 高	T. P.	32.11m	掘 削 長	120.00m
---------	-------	--------	-------	---------

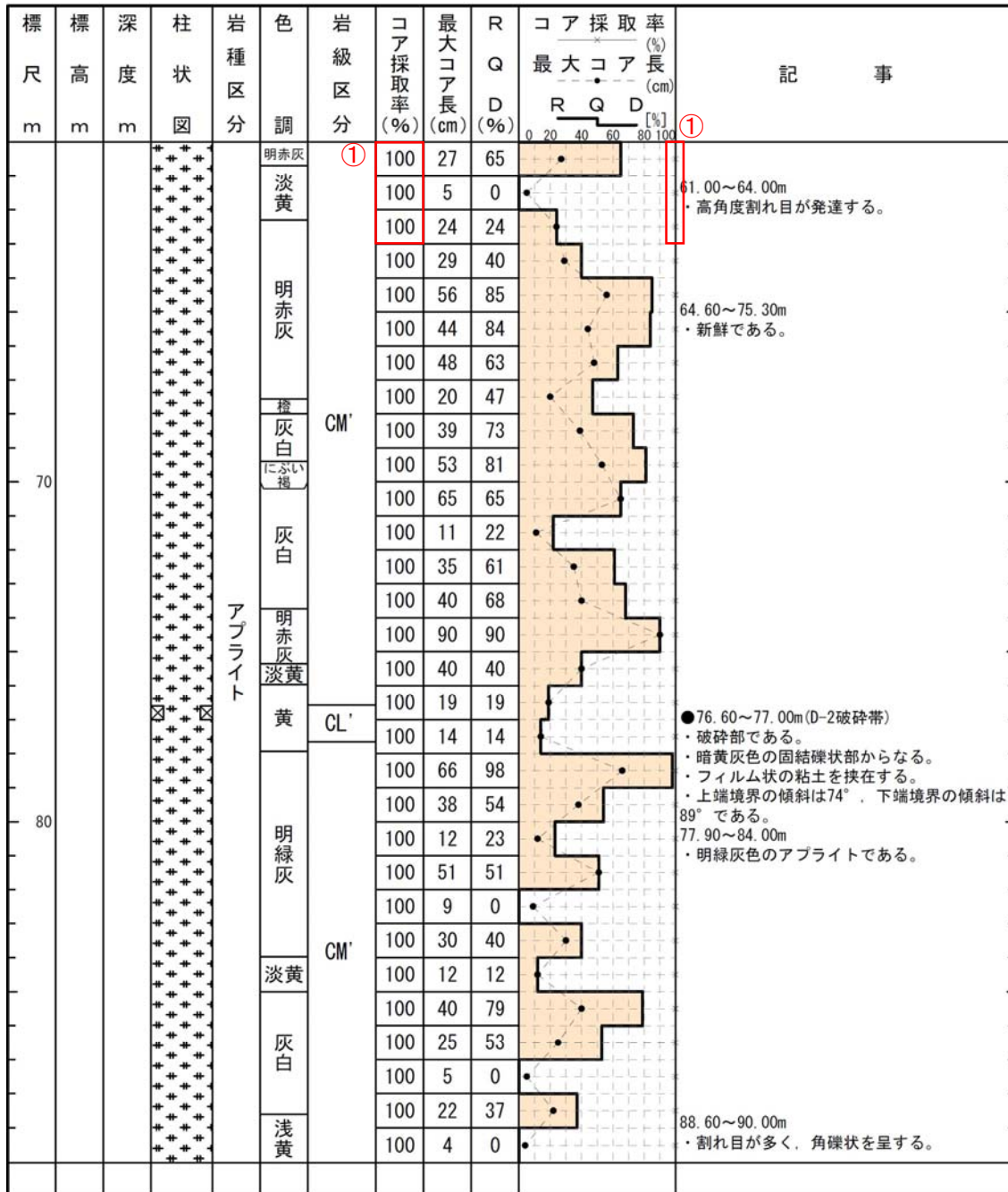
標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	
				盛土			100						0.00~6.08m ・盛土である。
	26.03	6.08		黄褐			100						
				明黄褐	D'		100	0	0				6.08~41.35m ・アプライトである。 ・幅1.2~1.7m程度の花崗斑岩を挟む。
				灰白	CL'		100	0	0				
				明黄褐	D'		100	0	0				
				灰白			100	0	0				
10				アプライト			100	39	75				10.00~18.00m ・酸化マンガンを挟む割れ目が発達する。
				にぶい黄橙			100	78	78				
							100	25	100				11.35m ・幅1~8mmの黒褐~灰白色シルト状を呈する。
							100	36	70				
							100	54	92				14.40~14.43m ・ペグマタイトである。
							100	30	82				
							100	29	72				
	14.66	17.45		花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	36	87				
	13.01	19.10		花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	25	48				17.45~19.10m ・花崗斑岩である。 ・全体に強風化し、長石は白色化している。
20				アプライト	灰白		100	13	24				19.10~25.00m ・割れ目に沿って褐色化しているが、岩芯は新鮮な部分が多い。
				アプライト	灰白		100	20	20				
				アプライト	灰白		100	5	0				
				アプライト	灰白		100	17	38				22.45~22.48m, 22.55~22.62m ・斑晶の多い部分を挟む。
				黄橙			100	10	10				
				黄橙			100	16	28				
	5.17	26.94		花崗斑岩	淡黄	①	100	17	17				25.00~26.40m ・全体に褐色化が著しい。
	3.91	28.20		花崗斑岩	淡赤橙	①	100	14	26				26.94~28.20m ・花崗斑岩である。
				アプライト	灰白	CM'	100	17	17				
				アプライト	灰白	CM'	100	30	64				28.80~40.00m ・全体に新鮮である。 ・割れ目に沿って褐色化する。

1-115(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位(測定月日) (N) 値	(標準貫入試験) 試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
															(N 値 ~ 深度)																
	3.91	28.20		花崗斑岩	淡黄	Dg	IVg	cg	γ	2	長石は白色化し、やや軟質。花崗斑岩、上位との境界漸移的、下位との境界漸移的。	0 50 100	CL	[CL]	0 10 20 30 40 50																
30				アブライト	灰白	IIg	Ig	Ig	Ig	Ig	β																				
				アブライト	明褐	IIg	Ig	Ig	Ig	Ig	α																				
				アブライト	橙	Cg	Ig	Ig	Ig	Ig	β																				
40				アブライト	にぶい黄橙	Ig	IIg	IIg	IIg	α	深度37.70~37.86m: 節理密集部。部分的に疎状化する。																				
				アブライト	にぶい黄橙	IIg	IIg	IIg	IIg	α	深度40.00~42.00m: 全体に褐色化する。																				
				花崗斑岩	灰白	IVg	IIg	IVg	IIIg	bg	花崗斑岩、上位との境界不明瞭。深度41.35~46.90m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石斑晶を1~5%程度含み、径1~2mmの黒雲母の斑晶が点在する。石英は径0.5mm程度である。																				
				花崗斑岩	淡黄	Dg	IVg	cg	Dg	Vg	深度43.95~45.84m: 変質により軟質化している。高角度な節理に幅2mm程度の粘土を挟む。																				
				アブライト	灰白	IVg	IIIg	IIg	IIg	bg	アブライト、上位との境界傾斜60~70度。深度46.90~102.70m: アブライト。石英は径0.1mm以下で、一部径0.1~0.2mm程度である。径5~10mmの石英、長石斑晶が僅かに点在する(0.5%以下)。																				
				アブライト	浅黄	IIg	IIIg	Ig	IIIg	bg	深度47.40~55.00m: 褐色化が顕著であり、高角度な節理がある。深度49.21m: 傾斜66度、幅0.1mmの石英脈を挟む。																				
50				アブライト	浅黄	Cg	IIg	IIg	IIg	γ	深度50.99m: 傾斜75度、幅5~10mmの石英脈を挟む。深度51.10~54.57m: 硬質柱状コア。																				
				アブライト	明褐灰	Bg	IIg	Cg	Ig	Ig	深度54.40~55.00m: 斑晶を多く含む。深度55.00~57.60m: 高角度な節理が発達。																				
				アブライト	浅黄	IIg	IIg	Ig	Ig	Ig	深度57.55~57.80m、58.05~58.15m、58.22~58.80m: 斑晶を多く含む。																				
				アブライト	明赤灰	IIg	IIg	Ig	Ig	Ig	深度60.88~61.16m: 斑晶を多く含む。深度61.00~64.00m: 高角度な節理が発達する。																				
60				アブライト	明赤灰	IIg	IIg	Ig	Ig	Ig																					
				アブライト	淡黄	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg																					
				アブライト	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	IIIg	IIIg				</																	

H19-No. 11

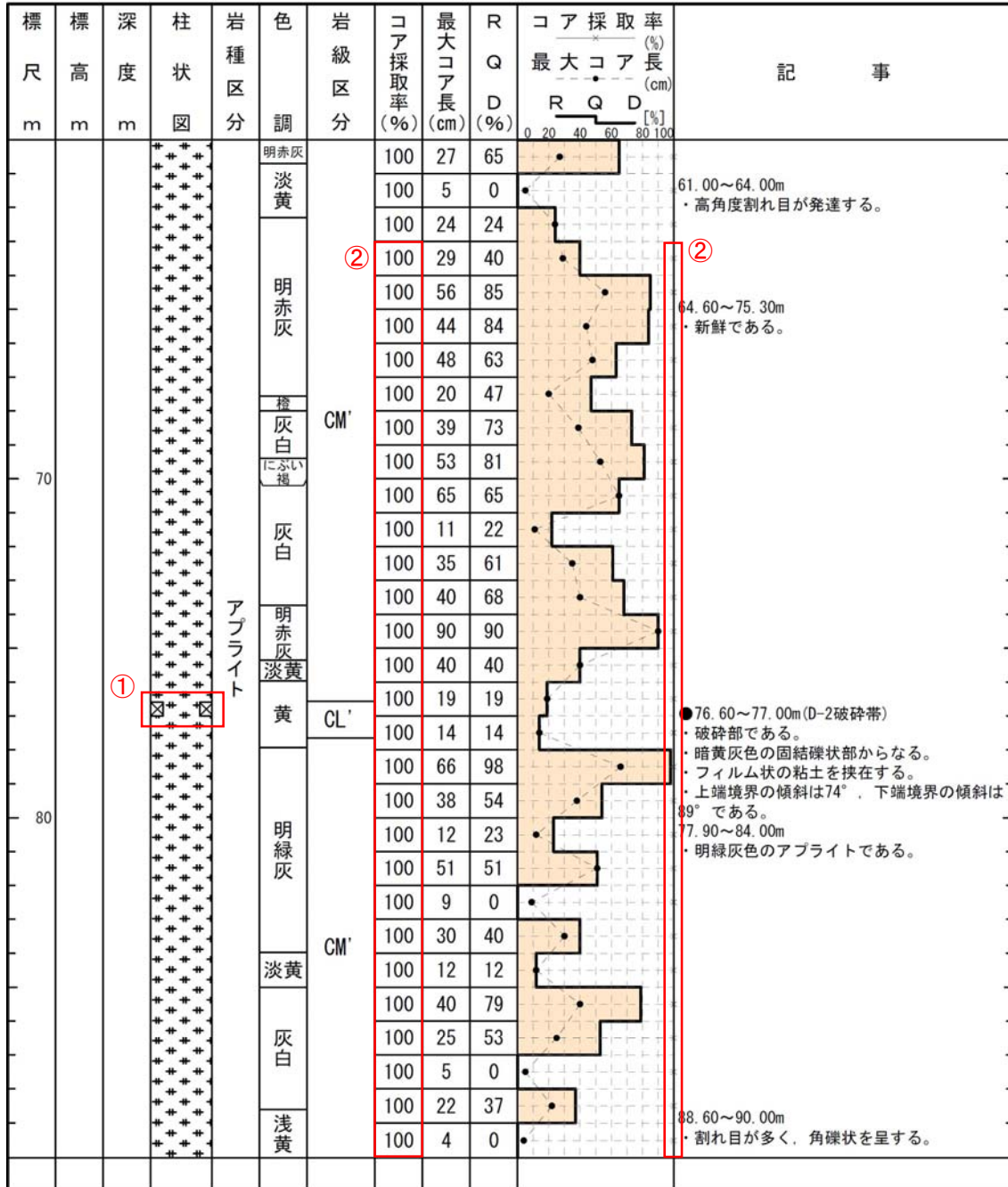
柱状図(60.00m~90.00m)



1-115(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H19—No. 11

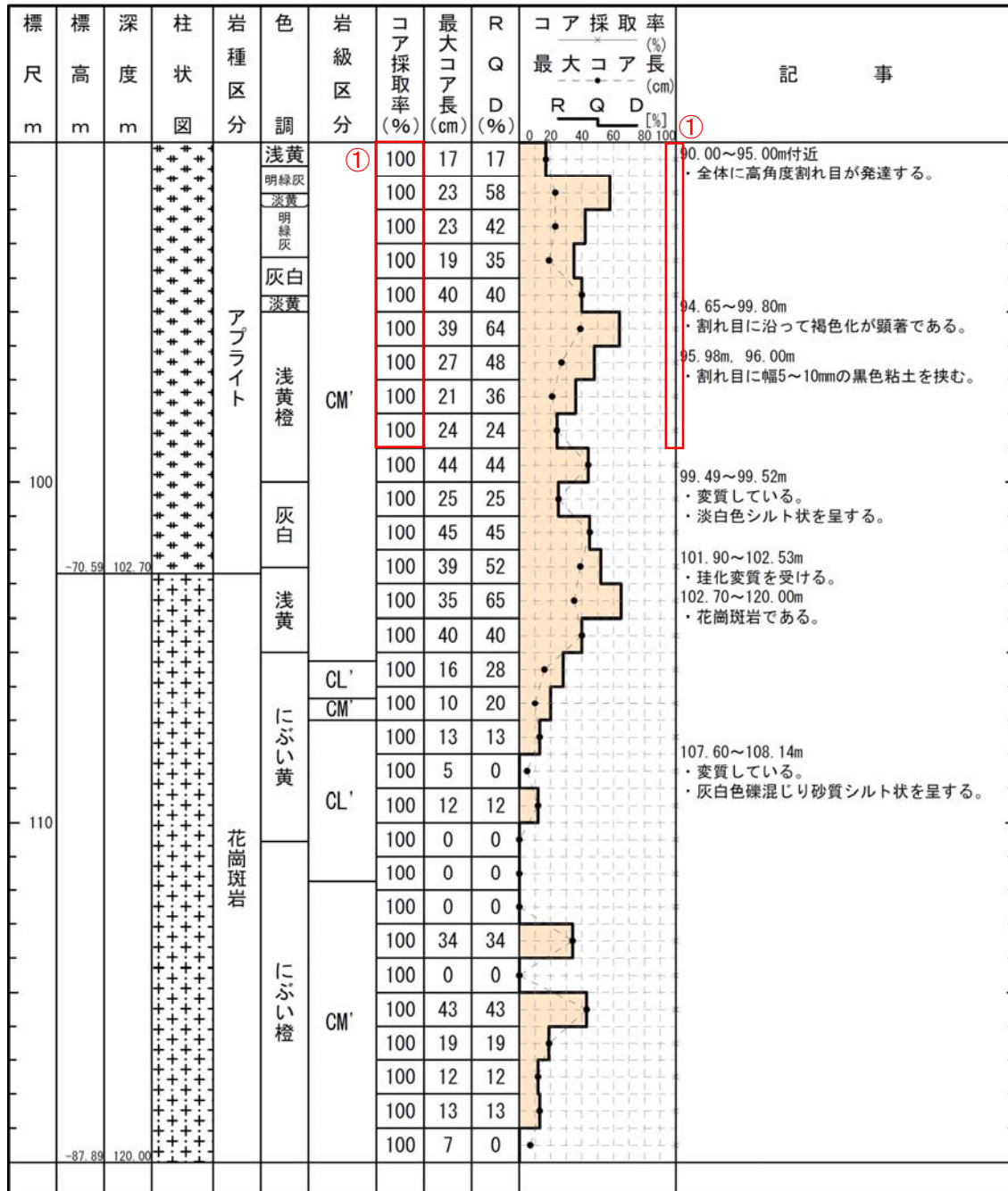
柱状図(60.00m～90.00m)



- 1-118(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-115(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H19—No. 11

柱状図(90.00m～120.00m)

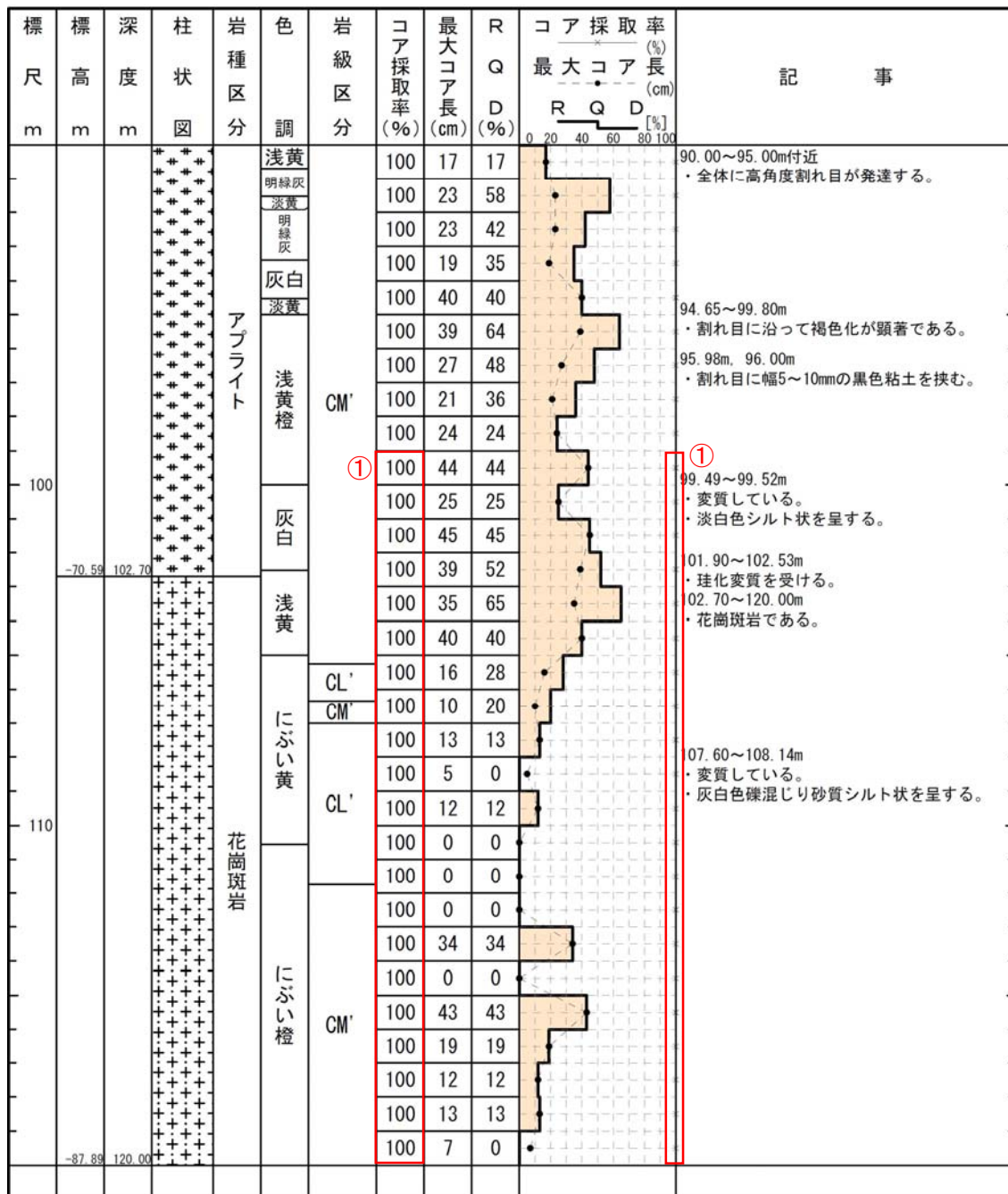


1-115(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験) 試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)					
																N 値 ~ 深度																				
		100		アプライト	浅黄橙	Cg	Ig	cg			深度99.49~99.52m: 変質を受け淡白色シルトを挟む。	0 50 100				0 10 20 30 40 50																				
		70.59		アプライト	灰白	Dg	IVg					44																								
		102.70		アプライト	浅黄	IIg	IVg	bg			深度101.90~102.53m: 珪化変質を受ける。花崗斑岩。上位との境界傾斜ほぼ水平~10度。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	Ig				深度102.70~114.10m: 花崗斑岩。径20mmのカリ長石の斑晶と径5~10mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を70%程度含み、石基は径0.5mm以上である。黒雲母花崗岩に近い岩相である。																									
				花崗斑岩	浅黄	IIg	cg				深度107.0~110.65m: 変質を受け長石の多くが白色化する。																									
				花崗斑岩	浅黄	IVg	bg				深度107.60m: シーム、傾斜84度。幅3~5mm、灰白・暗灰色シルト状。																									
				花崗斑岩	浅黄	Bg	IIg				深度107.60~108.14m: 変質帯。上盤84度、下盤76度。灰白色礫混じり砂質シルト状。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IVg				深度107.60~108.14m: 変質帯。上盤84度、下盤76度。灰白色礫混じり砂質シルト状。																									
				花崗斑岩	浅黄	Dg	Vg				深度110.65m以深、長石の白色化認められない。高角度な節理多く、全体に褐色化している。																									
				花崗斑岩	浅黄	IVg	bg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	Ig				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	IVg	bg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	IIg	cg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Dg	IVg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Dg	IVg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。																									
				花崗斑岩	浅黄	Cg	IIIg				深度114.10~120.00m: 花崗斑岩。径10mm程度の石英、カリ長石及び斜長																									

H19—No. 11

柱状図(90.00m～120.00m)



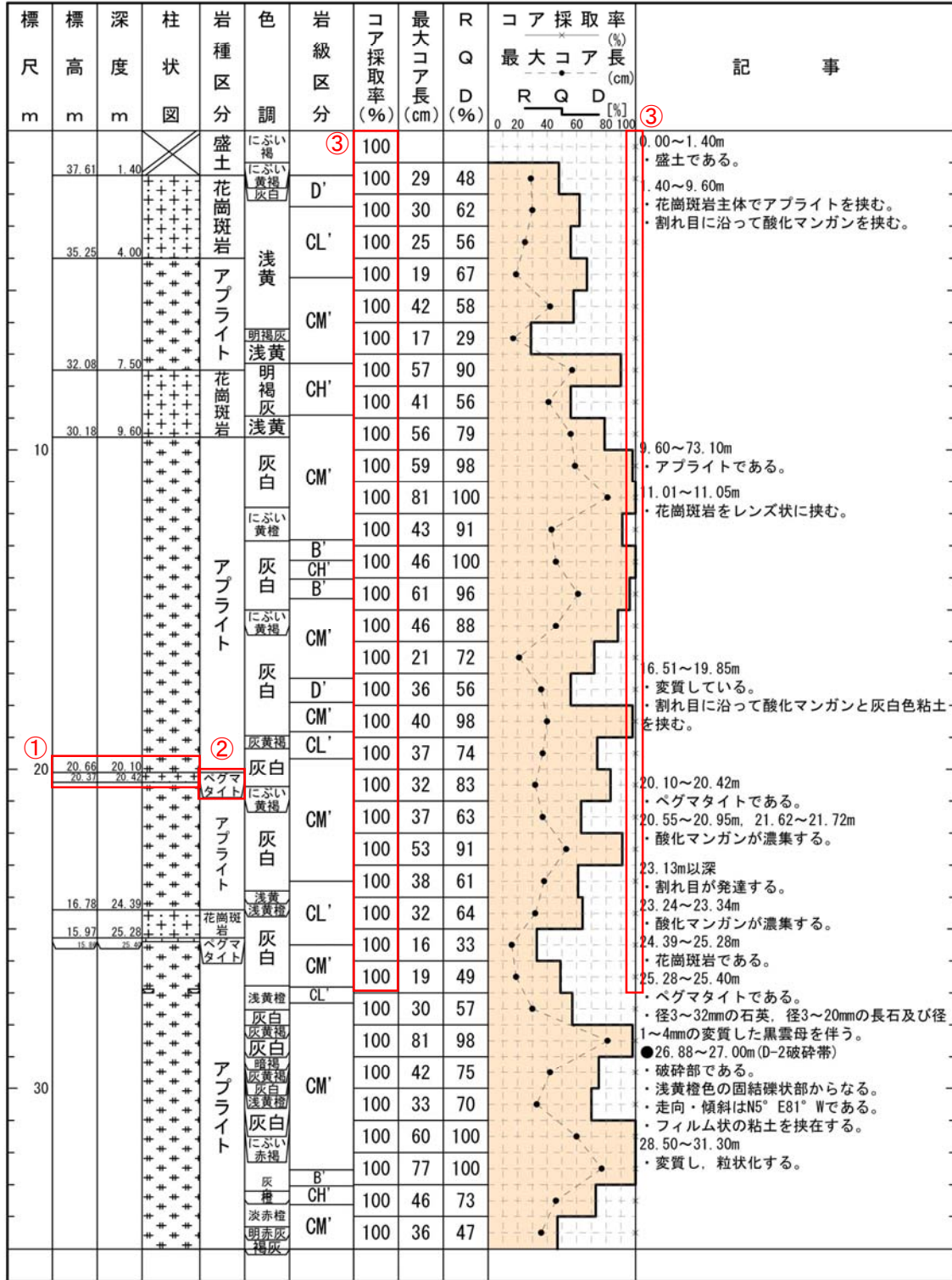
1-115(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H19—No. 13

柱状図(0.00m~35.00m)

H19-No. 13

孔 口 標 高	T. P.	38.88m	掘 削 長	100.00m
---------	-------	--------	-------	---------



- 1-119~1-123(分類c)①
岩種区分に”ペグマタイト”が追加されたため。
- 1-124(分類c)②
報告書の記事にあった”ペグマタイト”を反映させたため。
- 1-125(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)							
															(N 値 ~ 深度)																					
		30			淡黄緑	Dg	IVg	CG		2			CL		0	10	20	30	40	50		9/28	113													
					灰白	Cg	IIg				深度28.50~31.30m: 変質帯。上盤55度。下盤41度。粒状化する。																									
					灰白	Cg	IIg				深度28.90m: シーム。傾斜43度。幅2~3mm。黒褐色シルト状。上盤は堅岩。節理に沿って樹枝状に酸化マンガン汚染。																									
					淡黄緑	Cg	IIg																													
					灰白	Cg	IIg	bg																												
					灰白	IIIg	bg																													
					灰白	IIg					径1~8mmの変質を受けた長石斑晶を伴う。黒雲母は分解して酸化鉄斑を形成する。																									
					灰白	Ig																														
					淡赤橙	Dg	IVg	CG																												
					褐灰	Cg	IIg																													
					にぶい橙	Bg	IIg	bg			深度36.11~36.17m: 晶洞を伴うベグマタイト。																									
					にぶい橙	Bg	IIg				深度36.53~36.54m: シーム。傾斜55~58度。幅3~5mm。粘土状・粘土混じり砂礫状。																									
					にぶい橙	Bg	IIg				深度37.84m: シーム。傾斜53度。幅3~5mm。砂・細片状。																									
					明赤灰	Bg	IIg	bg			上下盤に幅0.1~0.2mmの褐色粘土を挟む。																									
					灰赤	Cg	IIg				深度38.38~38.60m: 節理及びその周辺に黄鉄鉱が点在する。																									
					にぶい橙	Bg	IIg	CG			深度39.24m: 節理に黄鉄鉱を挟む。																									
					にぶい橙	Bg	IIg																													
					にぶい橙	Bg	IIg	bg			深度41.32~41.45m: ベグマタイト。径2~40mmの石英。径2~18mmのかり長石からなる。																									
					にぶい赤橙	Bg	IIg				深度42.17~42.30m: 石英脈発達。																									
					にぶい赤橙	Cg	IIIg				深度42.29~42.30m: 晶洞を伴う石英脈あり。																									
					にぶい赤橙	Cg	IVg	bg			深度43.30~43.40m: ベグマタイト。径2~14mmの石英。かり長石からなる。																									
					にぶい赤橙	Bg	IIIg	bg			。密着節理が密集している。																									
					にぶい赤橙	Cg	IIIg																													
					明赤灰	Bg	IIg	CG																												
					明赤灰	Cg	IIIg																													
					明赤灰	Dg	IVg	CG																												
					灰白	Eg	Vg	bg		2	深度46.54~46.60m: 変質帯。上盤48度。細角礫状。幅0.5mmの褐色粘土を挟む。																									
					明赤灰	Cg	IIIg				深度47.03m: シーム。傾斜60度。幅1mmの褐色粘土を挟む。																									
					にぶい橙	Bg	IIg																													
					にぶい橙	Bg	IIg																													
					にぶい橙	Bg	IIg																													
					淡赤橙	Bg	IIIg				深度50.32~50.38m: 幅34mm。土砂状。																									
					淡赤橙	Cg	IIIg				深度51.38m: 節理に沿って黄鉄鉱付着。																									
					淡赤橙	Bg	IIIg																													
					淡赤橙	Cg	IVg	bg			深度53.05~53.24m: 岩片状をなす。																									
					明赤灰	Cg	IVg				深度53.80~58.20m: 黒雲母を多く含む。																									
					褐灰	Bg	IIg				深度53.85m以浅は、酸化マンガン汚染を受けているが、以深では緑色変質の影響が強く、黒雲母の緑泥石化。節理に沿っての黄鉄鉱晶出が認められる。																									
					赤灰	Bg	IIg																													
					赤灰	Cg	IIIg																													
					赤灰	Bg	IIIg																													
					赤灰	Bg	IIIg																													
					赤灰	Cg	IVg	CG																												
					明赤灰	Dg	Vg	CG																												
					明赤灰	Cg	IIIg																													
					明赤灰	Dg	Vg	bg			深度58.44~58.87m: 節理に沿って樹枝状~線状に酸化マンガン付着。																									
					灰白	Eg	VIg	CG			深度58.66~58.67m: 約1mm間隔で節理が密集する。																									
					灰白	Dg	Vg	bg			深度60.45~61.80m: 黒雲母を多く含む。																									
					灰白	Dg	Vg	bg			深度61.84~62.10m: 変質帯。上盤42度。灰白色に脱色し粘土化。角礫状。岩片状で、間を灰白色粘土が充填する。																									
					灰白	Dg	Vg	bg		3	深度62.10~62.33m: 破碎帯(Hj)。網目状に粘土を挟む。																									
					灰白	Dg	Vg	bg		2	深度62.33~62.37m: 破碎帯(Hc)。下盤57度。粘土状。																									

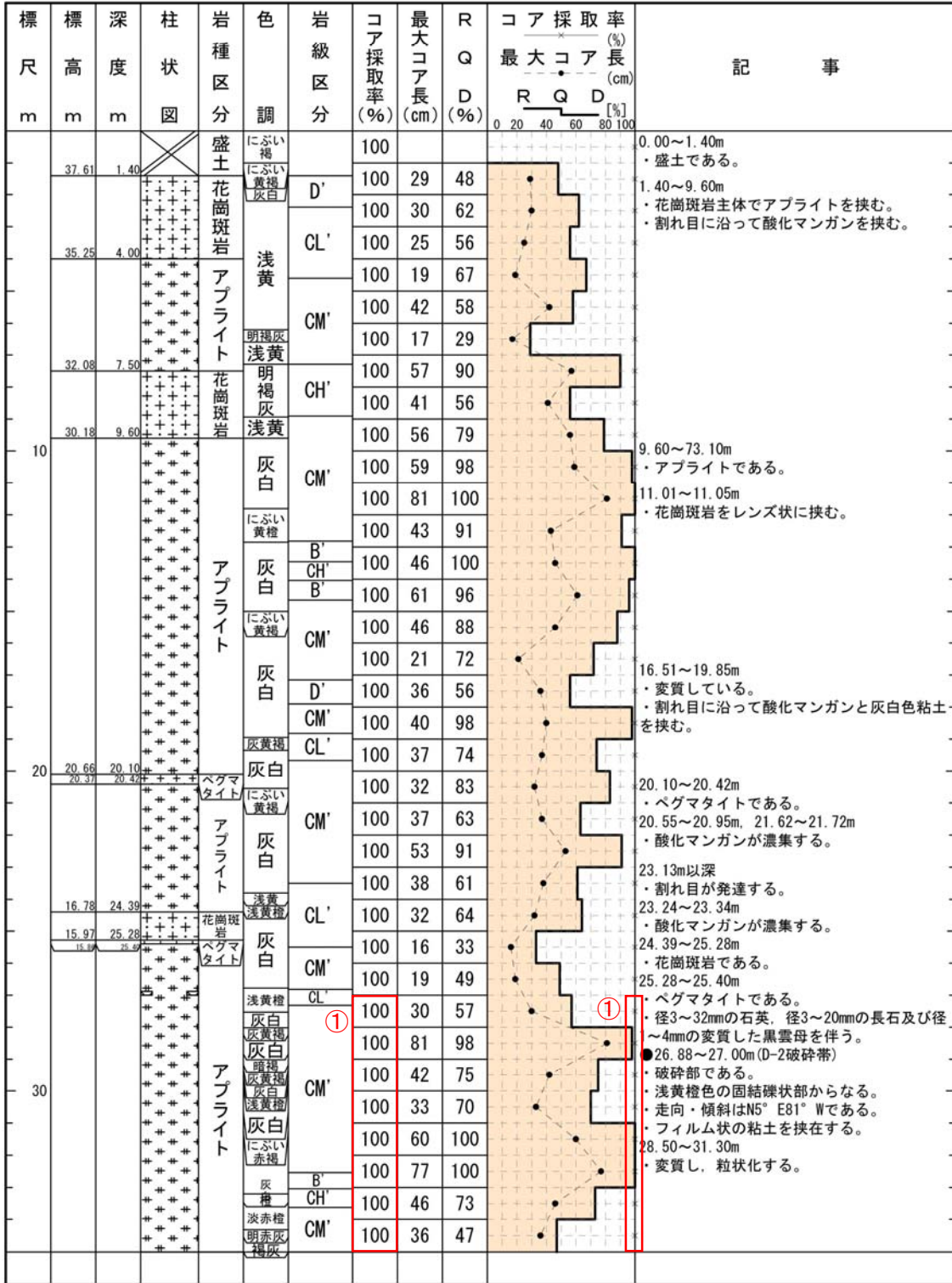
ダブルコアチューブ/ダイヤモンド

H19—No. 13

柱状図(0.00m~35.00m)

H19-No. 13

孔 口 標 高	T. P.	38.88m	掘 削 長	100.00m
---------	-------	--------	-------	---------

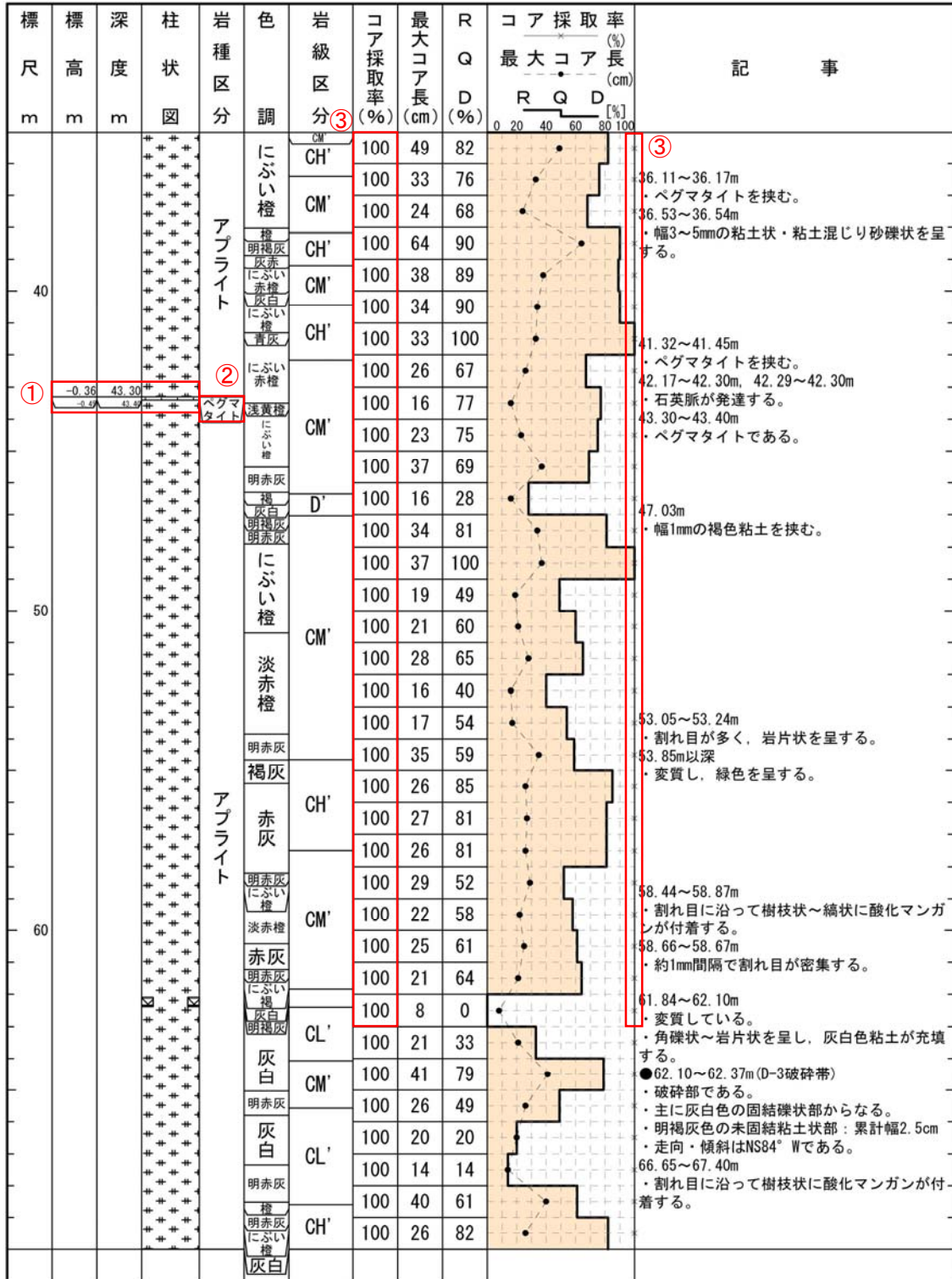


1-125(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
															(N 値 ~ 深度)																	
		30			淡黄緑	Dg	IVg	CG		2			CL			0	10	20	30	40	50		9/28	113								
					灰白	Cg	IIg				深度28.50~31.30m: 変質帯。上盤55度。下盤41度。粒状化する。																					
					灰白	Cg	IIg				深度28.90m: シーム。傾斜43度。幅2~3mm。黒褐色シルト状。上盤は堅岩。節理に沿って樹枝状に酸化マンガン汚染。																					
					淡黄緑	Dg	IVg	CG		2																						
					灰白	Cg	IIg																									
					灰白	Cg	IIg	bg		3	径1~8mmの変質を受けた長石斑晶を伴う。黒雲母は分解して酸化鉄斑を形成する。																					
					灰白	Cg	IIg																									
					淡赤橙	Dg	IVg	CG																								
					褐灰	Bg	IIg																									
					にぶい橙	Bg	IIg	bg			深度36.11~36.17m: 晶洞を伴うベグマタイト。																					
					にぶい橙	Bg	IIg				深度36.53~36.54m: シーム。傾斜55~58度。幅3~5mm。粘土状・粘土混じり砂礫状。																					
					明褐灰	Bg	IIg				深度37.84m: シーム。傾斜53度。幅3~5mm。砂・細片状。																					
					灰赤	Bg	IIg	bg			上下盤に幅0.1~0.2mmの褐色粘土を挟む。																					
					にぶい橙	Bg	IIg	CG			深度38.38~38.60m: 節理及びその周辺に黄鉄鉱が点在する。																					
					にぶい橙	Bg	IIg				深度39.24m: 節理に黄鉄鉱を挟む。																					
					明褐灰	Bg	IIg																									
					にぶい橙	Bg	IIg	CG			深度41.32~41.45m: ベグマタイト。径2~40mmの石英。径2~18mmのかり長石からなる。																					
					にぶい橙	Bg	IIg				深度42.17~42.30m: 石英脈発達。																					
					にぶい赤橙	Cg	IVg	CG			深度42.29~42.30m: 晶洞を伴う石英脈あり。																					
					にぶい赤橙	Bg	IIg	bg			深度43.30~43.40m: ベグマタイト。径2~14mmの石英。かり長石からなる。																					
					にぶい橙	Bg	IIg	CG			密着節理が密集している。																					
					明赤灰	Bg	IIg	CG																								
					明赤灰	Cg	IVg	CG																								
					灰白	Eg	Vg	bg		2	深度46.54~46.60m: 変質帯。上盤48度。細角礫状。幅0.5mmの褐色粘土を挟む。																					
					明褐灰	Cg	IIg				深度47.03m: シーム。傾斜60度。幅1mmの褐色粘土を挟む。																					
					にぶい橙	Bg	IIg	bg																								
					にぶい橙	Bg	IIg																									
					淡赤橙	Bg	IIg	CG			深度50.32~50.38m: 幅34mm。土砂状。																					
					淡赤橙	Bg	IIg	CG			深度51.38m: 節理に沿って黄鉄鉱付着。																					
					明赤灰	Cg	IVg	CG			深度53.05~53.24m: 岩片状をなす。																					
					明赤灰	Cg	IVg	CG			深度53.80~58.20m: 黒雲母を多く含む。																					
					褐灰	Bg	IIg	CG			深度53.85m以浅は、酸化マンガン汚染を受けているが、以深では緑色変質の影響が強く、黒雲母の緑泥石化。節理に沿っての黄鉄鉱晶出が認められる。																					
					赤灰	Bg	IIg	CG																								
					赤灰	Bg	IIg	CG																								
					明赤灰	Cg	IVg	CG																								
					淡赤橙	Bg	IIg	CG			深度58.44~58.87m: 節理に沿って樹枝状~線状に酸化マンガン付着。																					
					赤灰	Bg	IIg	CG			深度58.66~58.67m: 約1mm間隔で節理が密集する。																					
					明赤灰	Cg	IVg	CG			深度60.45~61.80m: 黒雲母を多く含む。																					
					明赤灰	Cg	IVg	CG			深度61.84~62.10m: 変質帯。上盤42度。灰白色に脱色し粘土化。角礫状。岩片状で、間を灰白色粘土が充填する。																					
					灰白	Dg	Vg	CG		3	深度62.10~62.33m: 破碎帯(Hj)。網目状に粘土を挟む。																					
					灰白	Dg	Vg	CG		2	深度62.33~62.37m: 破碎帯(Hc)。下盤57度。粘土状。																					

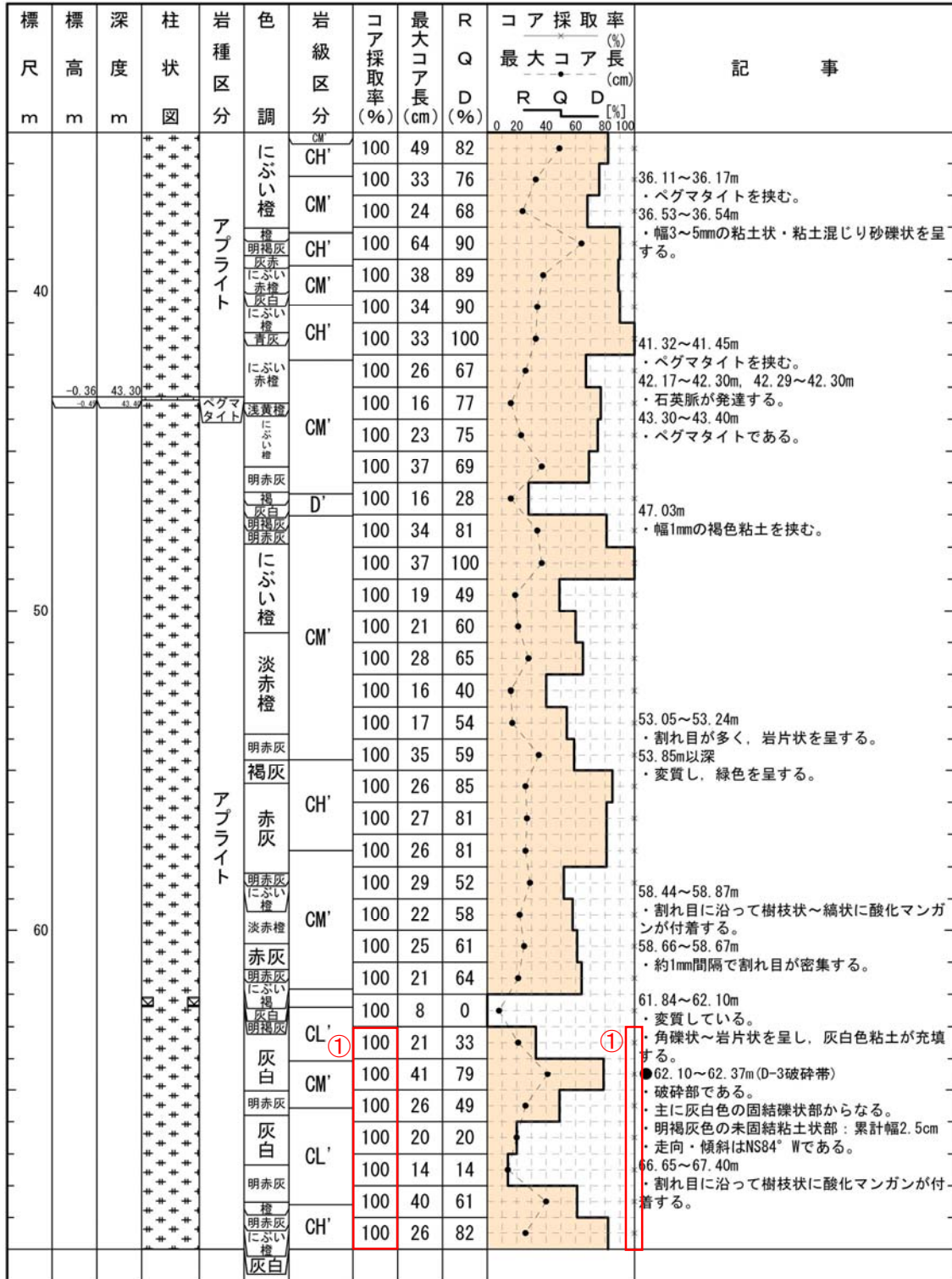
ダブルコアチューブ/ダイヤモンド

柱状図(35.00m～70.00m)



- 1-126～1-130(分類c)①
岩種区分に”ペグマタイト”が追加されたため。
- 1-131(分類c)②
報告書の記事にあった”ペグマタイト”を反映させたため。
- 1-125(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

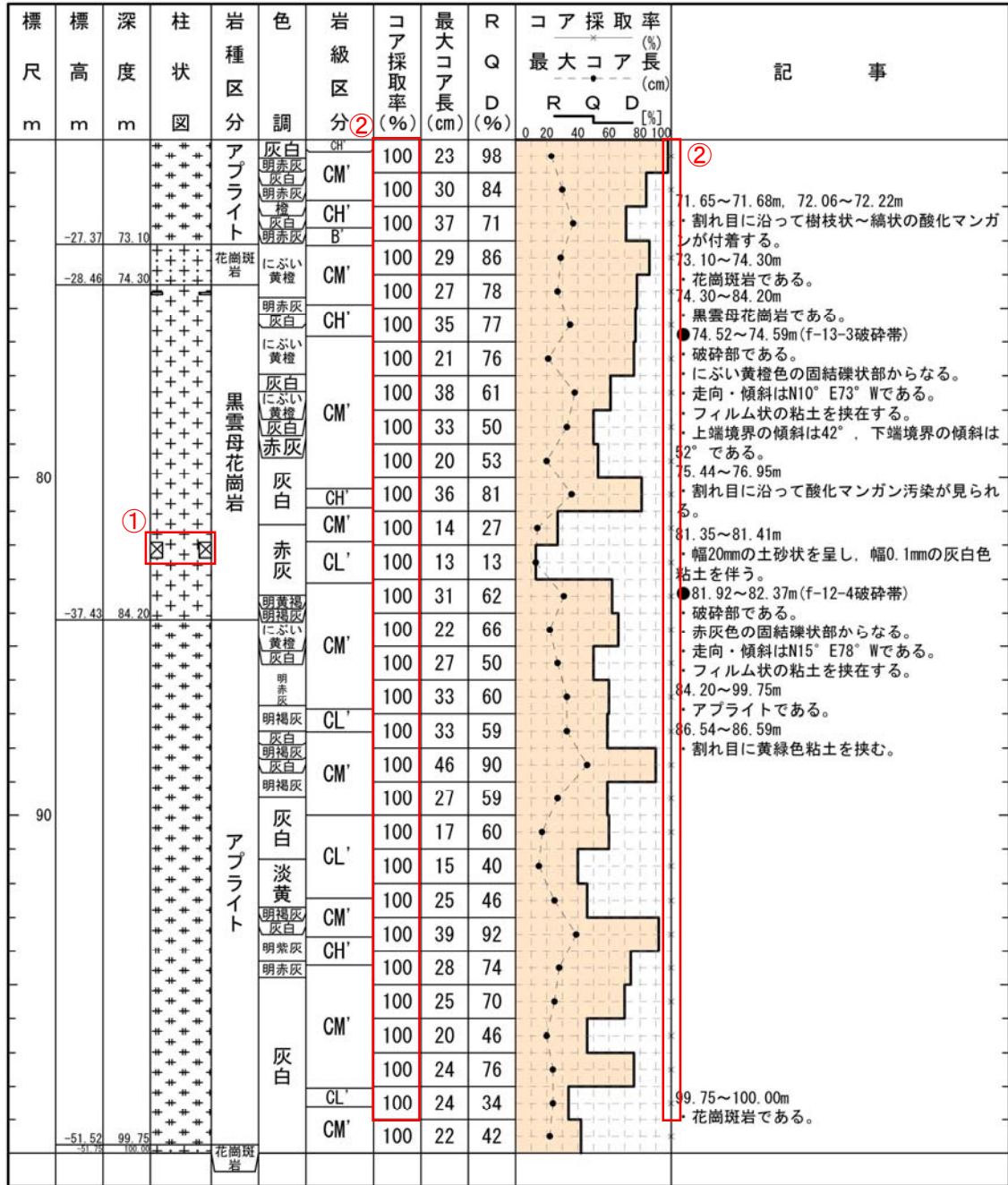
柱状図(35.00m～70.00m)



1-125(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 硬 調 軟 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩 盤 分 類	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験) 試験 (N 値 ~ 深度)					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給 圧 (KN / MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l / 分)	排 水 量 (l / 分)			
												0	10	20	30	40												50		
				花崗斑岩	灰白	IVg	bg		深度65.32~68.58m: 節理に褐色、灰白色粘土を挟む。																					
				アプライト	明赤灰	IVg	bg		深度66.65~67.40m: 節理に沿って樹枝状に酸化マンガン結晶が付着する。変質により灰白色に脱色し、軟質。																					
				花崗斑岩	明赤灰	IVg	bg		深度71.65~71.68m, 72.06~72.22m: 節理に沿って樹枝状~縞状の酸化マンガン付着。																					
				アプライト	明赤灰	IVg	bg		花崗斑岩、上位との境界漸移的。深度73.10~84.20m: 黒雲母花崗岩。径3~7mmの石英、長石、黒雲母の斑晶からなる。																					
				花崗斑岩	明赤灰	IVg	bg		深度74.52~74.59m: 破砕帯(Hb)。上盤42度、下盤52度、幅約30mm、粘土混じり砂状。上下盤に灰白色粘土を伴う。																					
				花崗斑岩	明赤灰	IVg	bg		深度75.44~76.95m: 節理及び周囲の基質も酸化マンガン汚染を受けている。深度75.84m以深、節理に灰白色粘土を伴うことが多い。																					
				花崗斑岩	明赤灰	IVg	bg		深度81.35~81.41m: 幅20mm、土砂状を呈し、幅0.1mmの灰白色粘土を伴う。深度81.16~83.63m: 節理に灰白色粘土を伴うことが多い。深度81.46~83.11m: 節理及びその周辺に黄鉄鉱の微晶を伴う。																					
				アプライト	明赤灰	IVg	bg		アプライト、上位との境界漸移的。深度84.20~99.75m: アプライト。石晶は径0.1mm以下であり、斑晶は非常に少ない。																					
				花崗斑岩	明赤灰	IVg	bg		深度86.54~86.59m: 節理に黄緑色粘土を挟む。																					
				アプライト	明赤灰	IVg	bg		深度89.54~93.35m: 節理に沿って灰白色粘土を伴うことが多い。																					
				アプライト	淡黄	IVg	bg		深度93.29~93.35m, 94.09~94.25m: 節理及びその周辺に黄鉄鉱の微晶を伴う。																					
				アプライト	明赤灰	IVg	bg		深度95.22m: 節理に沿って黄鉄鉱が晶出。																					
				花崗斑岩	灰白	IVg	bg		深度99.75~100.00m: 花崗斑岩。径5~10mmの石英、長石及び径1mmの黒雲母の斑晶を10%程度含み、石晶は径0.2mm程度である。																					

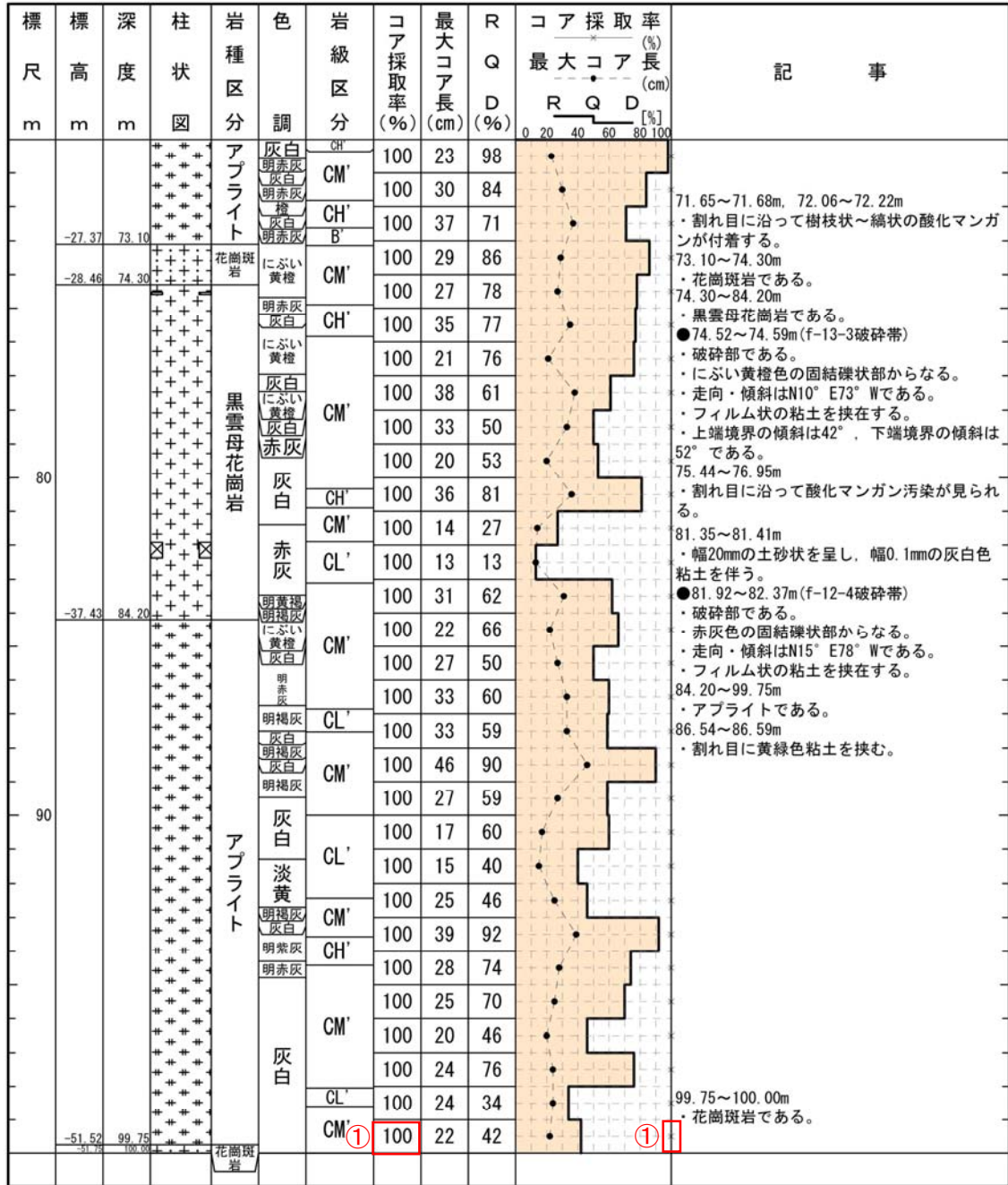
柱状図(70.00m~100.00m)



1-132(分類d)①
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
 1-125(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩級区分	岩盤分類	孔内水位 (m) / 測定日	(標準貫入試験) 試験						原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
																	N 値 ~ 深度																
																	0	10	20	30	40	50											
	-51.52	99.76	***	アフライト	灰白	IVg	bg	cg	γ	2		0	50	OM [GM]								10/17	95	76		25.0	150	0.0	泥水 10	10			
	-51.75	100.00	***	花崗岩類																		00.00											

柱状図(70.00m~100.00m)



1-125(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	③-1		調査位置		北 緯		
発注機関					調査期間		東 経
調査業者名					主任技師	現 場 人	ボーリング責任者
					コ 鑑 定 者		
孔 口 標 高	+ 38.89 m	角	180° 上	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 0°	地 盤 勾 配	水平 0°
総 掘 削 長	50.00 m	度	90° 下	向		使用 機種	エンジン
						試 錐 機	ハンマー 落下用具
						ポンプ	

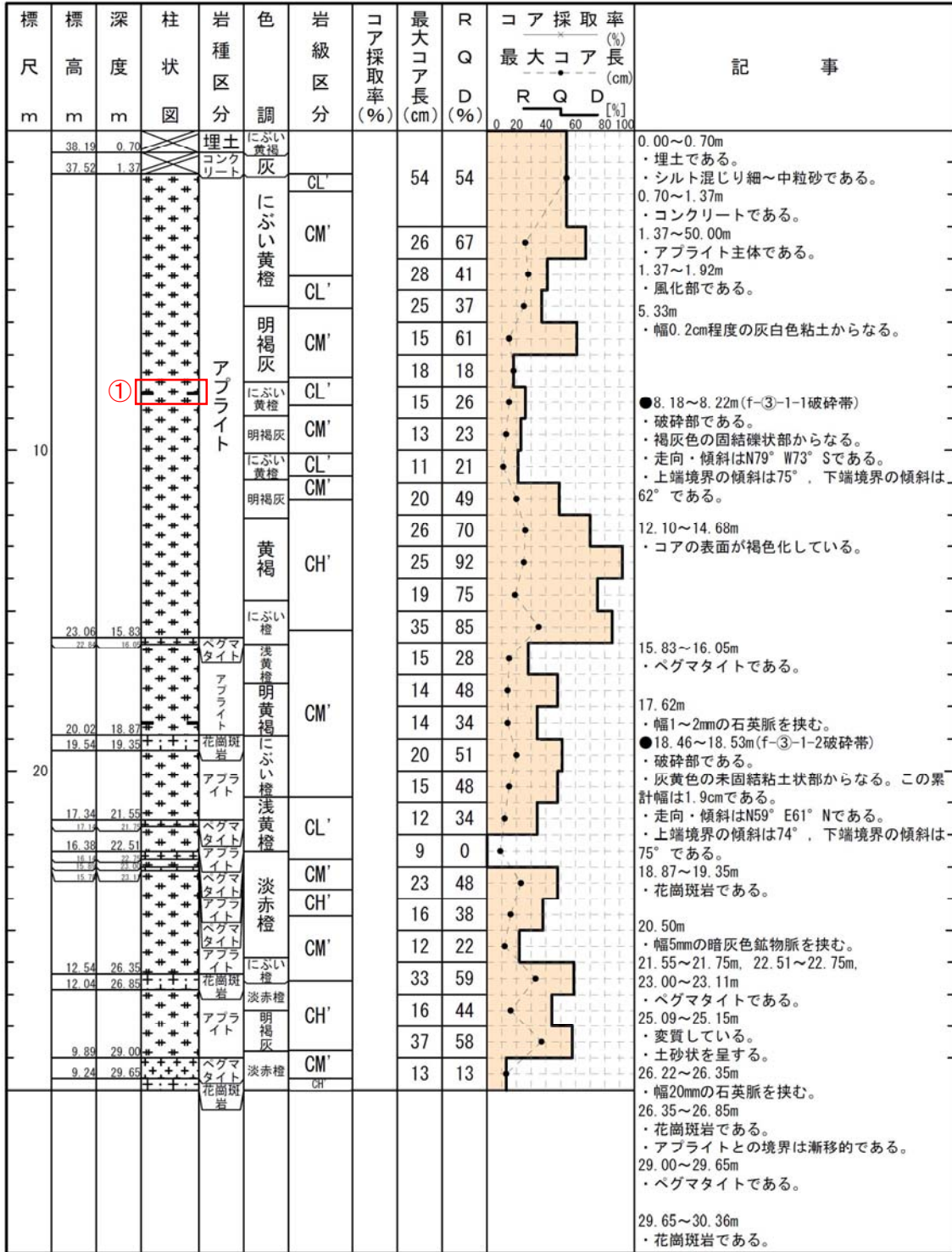
標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 裂 目 の 状 態	変 質 化	記 事	コア採取率 最大コア長 R Q D 〔 % 〕	岩 質 分 類	岩 盤 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平載荷 ()	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 徑 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 水 量 (l/分)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)		
														(N 値 ~ 深度)																
	38.19	0.70	埋土 コンクリート	灰		Dg	IIIg	δ	0.00~0.70m:埋土。シルト混じり細粒~中粒砂からなる。	0	CL'	CL'										114	試験	0.0	0.0	0.0	0	0		
	37.52	1.37							0.70~1.37m:コンクリート。	0.70~1.37m:コンクリート。	50	CL'	CL'														100	試験	3.0	120
			にぶい黄橙			IVg	IIIg	δ	1.37~50.00m:アブライト主体。径1~10mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5%程度含む。		CM'	CM'	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	3/7	2.00	10.0	200	0.0	0.0	泥水 5	5		
														1.37~1.92m:風化し、コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。														151	76	60.0
			明褐灰			IVg	IIIg	cg	5.33m:シーム。傾斜79°。幅0.2cm程度の灰白色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。		CM'	CM'	5.33	5.33	5.33	5.33	5.33	5.33	5.33	5.33	3/8	6.63	92	76	400	0.0	0.0	泥水 6	5	
														8.18~8.22m:破砕帯(地)。上盤75°、下盤62°。幅1cm程度。凝縮じり褐色粘土からなる。膨縮している。																
			アブライト			IVg	IIIg	γ	8.60~11.52m:傾斜75°程度の節理が発達している。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。		CM'	CM'	11.52	11.52	11.52	11.52	11.52	11.52	11.52	11.52										
														11.52~15.60m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。																
			明褐灰			IVg	IIIg	cg	8.18~8.22m:破砕帯(地)。上盤75°、下盤62°。幅1cm程度。凝縮じり褐色粘土からなる。膨縮している。		CM'	CM'	15.60	15.60	15.60	15.60	15.60	15.60	15.60	15.60	3/10	11.72	60.0	0.0	0.0	泥水 3	0			
														8.60~11.52m:傾斜75°程度の節理が発達している。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。																
			黄褐			IVg	IIIg	cg	11.52~15.60m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。		CH'	CH'	15.60	15.60	15.60	15.60	15.60	15.60	15.60	15.60										
														11.52~16.70m:傾斜20°及び70°程度の節理がみられる。																
			にぶい橙			IVg	IIIg	bg	12.10~14.68m:コアの表面が褐色化している。		CM'	CM'	14.68	14.68	14.68	14.68	14.68	14.68	14.68	14.68										
														15.60~23.70m:コアはやや硬質で、ハンマーでふい金属音を発することが多い。																
			アブライト			IVg	IIIg	cg	15.60~23.70m:コアはやや硬質で、ハンマーでふい金属音を発することが多い。		CM'	CM'	23.70	23.70	23.70	23.70	23.70	23.70	23.70	23.70	3/11	16.49	96	76	0.0	0.0	泥水 3	0		
														15.83~16.05m:ベグマタイト、径5~50mm程度の石英、長石からなるアブライトとの境界は30°程度。																
			アブライト			IVg	IIIg	cg	16.70~23.30m:傾斜75°程度の節理が発達している。		CM'	CM'	23.30	23.30	23.30	23.30	23.30	23.30	23.30	23.30										
														17.28~18.90m:全体にマンガンが沈着する。																
			明黄褐			IVg	IIIg	cg	17.62m:幅1~2mm程度の石英脈を挟む傾斜85°程度。		CM'	CM'	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90	3/12	25.52	250	0.0	0.0	泥水 4	0			
														18.46~18.53m:破砕帯(Hc)。上盤74°下盤75°。幅1.9cm程度。灰黄色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。																
			にぶい橙			IVg	IIIg	bg	18.87~19.35m:花崗斑岩。径1~10mm程度の石英、長石の斑晶を10%程度含む。		CH'	CH'	19.35	19.35	19.35	19.35	19.35	19.35	19.35	19.35										
														19.78~19.84m:ベグマタイトを挟む。径20~30mm程度の石英、長石からなる。マンガンが濃集する。																
			浅黄橙			IVg	IIIg	cg	20.50m:幅5mm程度の暗灰色を呈する鉱物脈を挟む。傾斜43°程度。		CM'	CM'	21.75	21.75	21.75	21.75	21.75	21.75	21.75	21.75	3/12	25.52	156	76	0.0	0.0	泥水 4	0		
														21.55~23.11m:ベグマタイトを多く挟む。径50mm以下の石英、長石からなる。一部の長石が淡緑灰色に変質している。																
			アブライト			IVg	IIIg	bg	23.30~28.56m:傾斜30°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンを伴うことが多い。		CH'	CH'	28.56	28.56	28.56	28.56	28.56	28.56	28.56	28.56										
														23.70~43.70m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。																
			明黄褐			IVg	IIIg	cg	25.09~25.15m:変質帯。上盤72°。下盤70°。幅2cm程度。土砂状を呈するが部分的である。		CM'	CM'	43.70	43.70	43.70	43.70	43.70	43.70	43.70	43.70	3/12	25.52	135	76	60.0	300	0.0	0.0	泥水 3	3
														25.09~25.15m:変質帯。上盤72°。下盤70°。幅2cm程度。土砂状を呈するが部分的である。																

H20-③-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-③-1

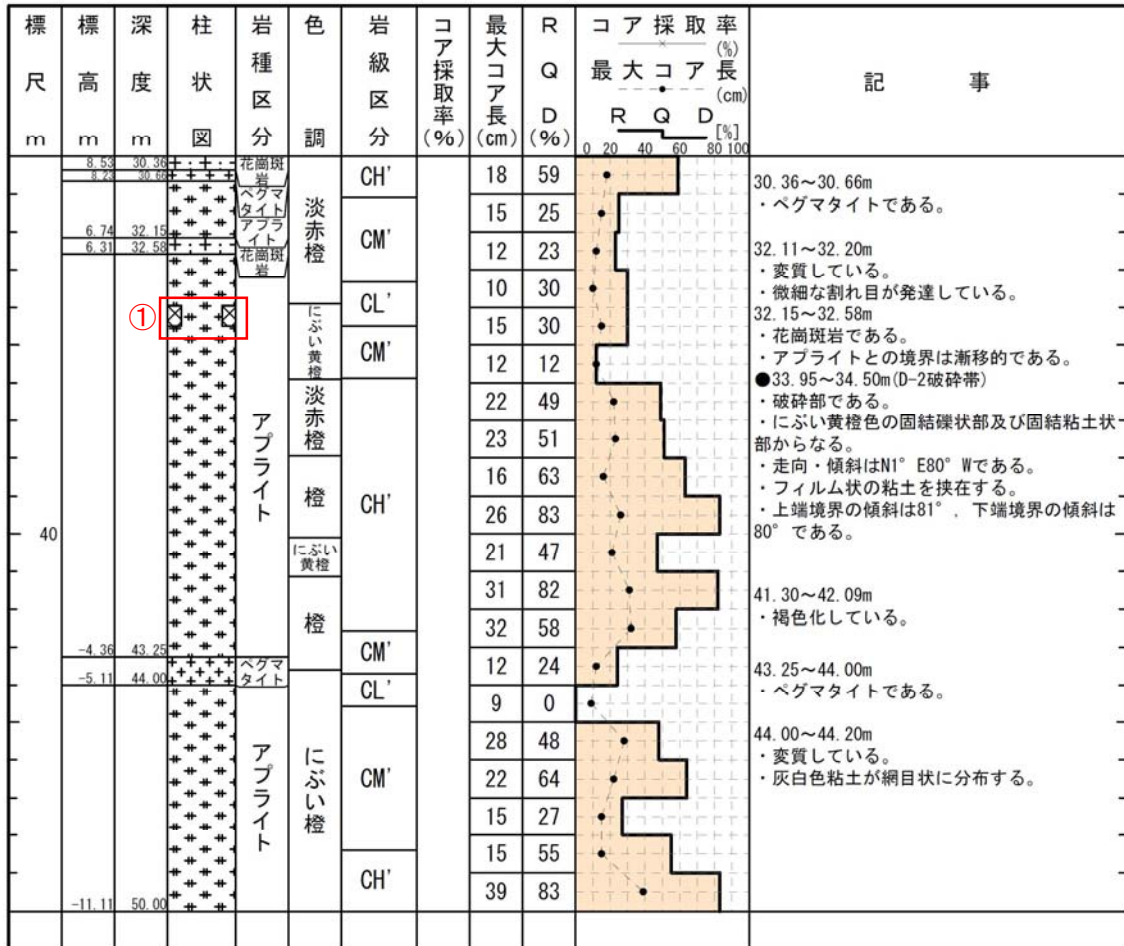
孔口標高	T.P.	38.89m	掘削長	50.00m
------	------	--------	-----	--------



1-133(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H20-③-1

柱状図(30.00m~50.00m)



1-134 (分類d) ①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H19—No. 3

柱状図(0.00m~30.00m)

H19—No. 3

①	孔口標高	T.P. 37.36m	掘削長	200.00m
---	------	-------------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	D [%]	
	37.36	0.00	③	表土	にぶい黄褐	⑤	100	5	0			0.00~0.12m ・表土である。	
	36.16	1.20		礫混じりシルト質砂	明褐		100					0.12~1.20m ・礫混じりシルト質砂である。	
	35.92	1.44	③	礫混じりシルト質砂	にぶい黄褐		100	36	72			20~1.48m ・礫である。	
	31.46	5.90	④	アブライト	明黄褐		100	21	57			48~1.82m ・礫混じりシルト質砂である。	
				アブライト	明黄褐		100	33	56			82~5.90m ・アブライトである。	
				アブライト	明黄褐		100	30	54			08~4.26m ・風化部である。	
				花崗斑岩	灰黄褐		100	36	72			74~4.76m ・幅15~17mmの流入粘土、砂を挟む。	
				花崗斑岩	明黄褐		100	26	55			90~22.70m ・花崗斑岩である。	
				花崗斑岩	灰黄		100	10	20			部分的にアブライトを挟む。	
				花崗斑岩	明黄褐		100	13	13			20~6.40m ・幅8~12mmの白色~褐色粘土を挟む。	
				アブライト	黄褐		100	48	81			50~10.00m ・割れ目に酸化マンガンを挟む。	
	24.56	12.80		アブライト	黄褐		100	26	36				
				アブライト	灰白		100	48	82				
				アブライト	褐灰		100	25	57				
				花崗斑岩	にぶい橙		100	15	15			5.54~15.85m ・角礫~土砂状で、石英の巨晶が多い。	
	20.79	16.57		アブライト	にぶい黄橙		100	16	26				
				アブライト	にぶい黄		100	26	46				
	19.82	17.54		花崗斑岩	明黄褐		100	24	24			8.33~20.20m ・変質している。	
				花崗斑岩	灰黄		100	0	0			黄灰色土砂状を呈する。	
				花崗斑岩	にぶい橙		100	45	76				
				花崗斑岩	にぶい黄橙		100	46	91				
				アブライト	灰白		100	25	70				
	14.66	22.70		アブライト	明黄褐		100	27	40			22.70~31.40m ・アブライトである。	
				アブライト	明黄褐		100	32	69				
				アブライト	明黄褐		100	20	57			24.19~25.00m ・割れ目が少なく柱状を呈する。	
				アブライト	明黄褐		100	22	59				
				アブライト	灰白		100	23	69				
				アブライト	灰		100	25	40			●28.77~28.82m(f-2-8破碎帯) ・破碎部である。	
				アブライト	にぶい黄橙		100	9	0			・黄褐色の固結礫状部からなる。	
				アブライト	黄褐							・走向・傾斜はN32°E80°Wである。	
				アブライト	黄褐							・フィルム状の粘土を挟在する。	
				アブライト	黄褐							29.35~30.38m ・変質している。	
				アブライト	黄褐							・網目状に白色シルトを挟む。	

- 1-135(分類b)①
誤記の修正。
- 1-136(分類b)②
孔口標高を正しい値にしたため。
- 1-137, 1-138(分類c)③
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-139, 1-140(分類c)④
表現を統一したため。
- 1-141(分類b)⑤
報告書の記載漏れを修正したため。

H19—No. 3

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 3

孔 口 標 高	T. P.	37.36m	掘 削 長	200.00m
---------	-------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R D (%)	Q (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
											最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	
	37.36	0.00		表土	にぶい黄褐		100	5	0					0.00~0.12m ・表土である。
	36.16	1.20		礫混じりシルト	明褐		100							0.12~1.20m ・礫混じりシルト質砂である。
	35.94	1.38		礫混じりシルト質砂	にぶい黄褐	CL'	100	36	72					1.20~1.48m ・礫である。
				アブライト	明黄褐	CM'	100	31	64					1.48~1.82m ・礫混じりシルト質砂である。
				アブライト	明黄褐	CM'	100	21	57					1.82~5.90m ・アブライトである。
	31.46	5.90		花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	33	56					3.08~4.26m ・風化部である。
				花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	30	54					4.26~4.76m
				花崗斑岩	明黄褐	CM'	100	36	72					4.76~4.76m ・幅15~17mmの流入粘土、砂を挟む。
				花崗斑岩	明黄褐	CM'	100	26	55					5.90~22.70m ・花崗斑岩である。
				花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	10	20					6.20~6.40m ・部分的にアブライトを挟む。
				アブライト	明黄褐	CL'	100	13	13					6.40~6.40m
				アブライト	明黄褐	CH'	100	48	81					7.50~10.00m ・幅8~12mmの白色~褐色粘土を挟む。
	24.56	12.80		アブライト	明黄褐	CL'	100	26	36					・割れ目に酸化マンガンを挟む。
				アブライト	明黄褐	CM'	100	48	82					
	22.26	15.10		アブライト	明黄褐	CM'	100	25	57					
				花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	15	15					15.54~15.85m
	20.79	16.57		アブライト	明黄褐	CL'	100	16	26					・角礫~土砂状で、石英の巨晶が多い。
	19.82	17.54		アブライト	明黄褐	CM'	100	26	46					
				花崗斑岩	明黄褐	D'	100	24	24					18.33~20.20m
				花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	0	0					・変質している。
				花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	45	76					・黄灰色土砂状を呈する。
				花崗斑岩	明黄褐	CH'	100	46	91					
				アブライト	明黄褐	CM'	100	25	70					22.70~31.40m
				アブライト	明黄褐	CM'	100	27	40					・アブライトである。
				アブライト	明黄褐	CM'	100	32	69					24.19~25.00m
				アブライト	明黄褐	CH'	100	20	57					・割れ目が少なく柱状を呈する。
				アブライト	明黄褐	CH'	100	22	59					
				アブライト	明黄褐	CH'	100	23	69					
				アブライト	明黄褐	CM'	100	25	40					
				アブライト	明黄褐	CL'	100	9	0					28.77~28.82m (f-2-8破碎帯)
				アブライト	明黄褐	CL'	100	9	0					・破碎部である。
				アブライト	明黄褐	CL'	100	9	0					・黄褐色の固結礫状部からなる。
				アブライト	明黄褐	CL'	100	9	0					・走向・傾斜はN32° E80° Wである。
				アブライト	明黄褐	CL'	100	9	0					・フィルム状の粘土を挟在する。
				アブライト	明黄褐	CL'	100	9	0					29.35~30.38m
				アブライト	明黄褐	CL'	100	9	0					・変質している。
				アブライト	明黄褐	CL'	100	9	0					・網目状に白色シルトを挟む。

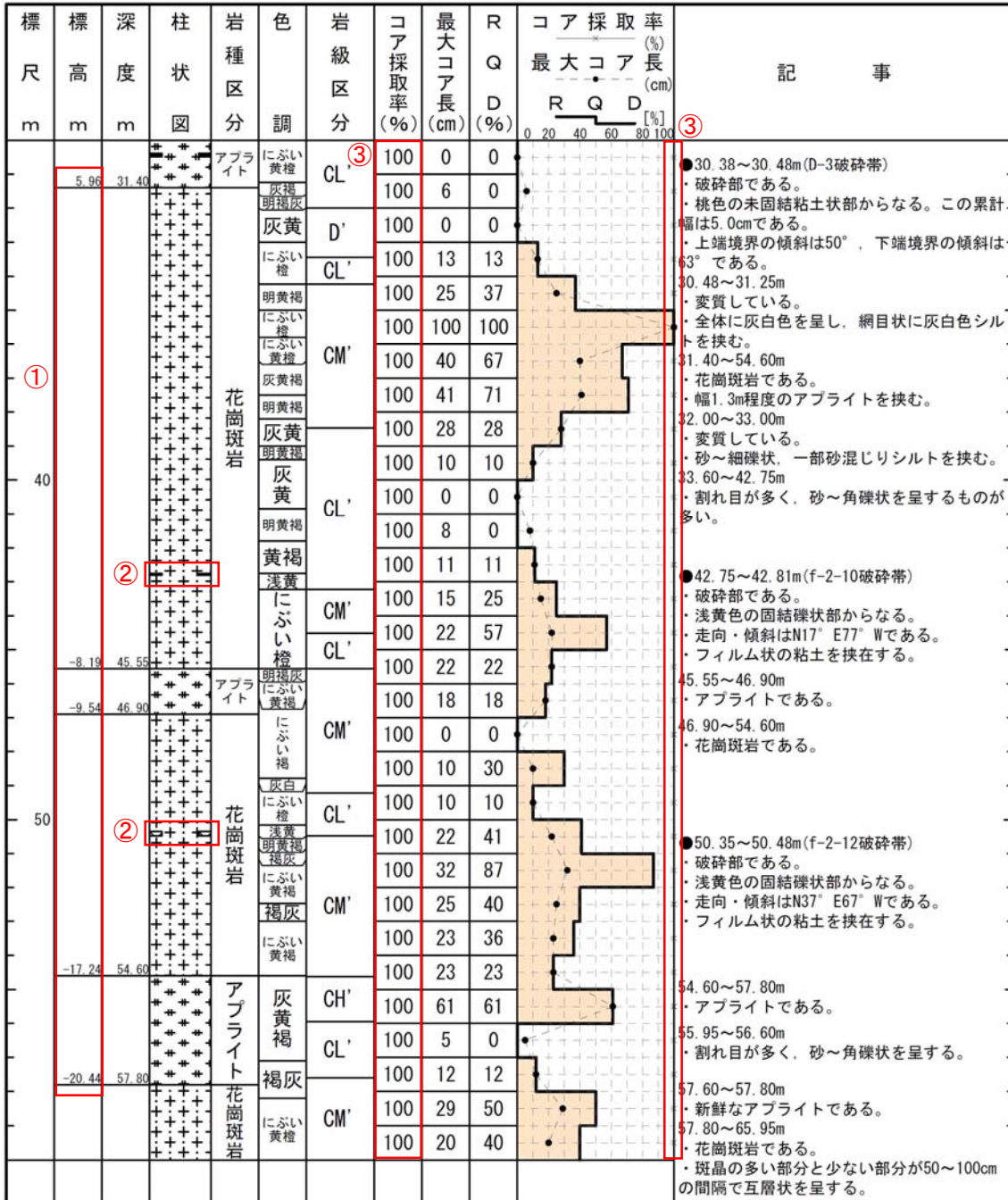
1-142(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

1-141(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コアラ形状	風割れ目	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	孔内水位/測定月日 (N) 値	(標準貫入試験) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアラチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)										
															(N 値 ~ 深度)																							
		30		アフライト	灰	Bg	α	1	2	27.24~28.06m: 新鮮なアフライト。 28.06~28.82m: 全体に褐色化顯著。	0	50	OM	28.10	0	10	20	30	40	50		64						0.0	泥水5	5								
	5.91	31.40		アフライト	黄褐	Dg	γ	2	3	29.35~30.38m: 変質帯。灰白色帯が原岩組織不明。網目状に白色シルトを挟む。 30.38~30.49m: 硬砂帯 (Hc)。上盤50度。下盤63度。幅40~50mm。褐色粘土状。 30.49~31.25m: 変質帯。上盤63度。下盤26度。全体に灰白色帯びる。網目状に灰白色シルトを挟む。 31.25~31.40m: 花崗斑岩。上位の境界は変質帯で不明瞭。	0	50	OM	28.10											63						0.0	泥水5	3					
		40		花崗斑岩	灰褐	Dg	δ	2	3	31.40~54.60m: 花崗斑岩。一部アフライト。 花崗斑岩主体で、厚さ1.3m程度のアフライトを挟む。 花崗斑岩は、径5mm程度の石英、長石の斑晶を主体とし、少量の黒雲母の斑晶を含む。斑晶の割合は3~5%程度である。石英は径0.1~0.5mmで組織は全体に不均質である。斑晶の混入は少ないが、部分的に多くなる。 32.00~33.00m: 変質帯。砂~細礫状。一部砂混じりシルトを挟む。 32.14m, 32.30m, 幅10~20mm灰白色シルト状。 33.60~34.23m: 砂~角礫状を呈する。岩片は硬い。 34.23~38.47m: 節理少ない柱状コア。硬さは中硬質で、コア表面はややざらつく。 岩芯まで風化し、節理に沿って褐色化顯著。やや高角度な節理が多い。 38.47~39.00m: 角礫状を呈し、全体に脆い。 39.40~40.63m: 全体に強風化岩で、岩質脆い。高角度の密着した節理多い。 40.63~42.75m: 角礫~土砂状を呈する。	0	50	OM	28.10														64						0.0	泥水5	4		
		50		花崗斑岩	灰黄	Dg	γ	3	3	42.81m: シーム。傾斜20度。幅7mm。黒褐、褐色主体、一部黄灰色粘土状。傾斜52度の変質部と交差する。	0	50	OM	28.10									68						0.0	泥水5	5							
	-8.24	45.56		アフライト	明黄褐	Dg	γ	2	2	45.90~48.78m: 比較的鮮明。節理からの風化が進行し、節理面は黒褐色化している。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 46.90~54.60m: 花崗斑岩。径5~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部黒雲母の斑晶を多く含む。石英は径0.1~0.2mmで黒雲母を散在する。 48.92~50.48m: やや風化著しく、角礫~細礫状をなす。 50.48~52.00m: 節理の少ない柱状コア。節理に沿って褐色を帯びる。 52.00~54.20m: 全体的に風化を受けているが、岩片は硬い。高角度な節理発達。	0	50	OM	28.10														76										
	-9.59	46.90		花崗斑岩	明黄褐	Dg	γ	2	2	54.60~57.80m: アフライト。石英は径0.1mm以下である。 54.60m: シーム。傾斜70度。幅5mm。暗褐色粘土状。上盤に幅0.7cmの灰白色砂状変質部を伴う。 55.95~56.60m: 砂~角礫状をなす。高角度な節理に沿って砂を挟む。 57.10~57.60m: 高角度な節理に沿って、砂~シルトを挟む。 57.60~60.00m: 新鮮岩。やや節理が多く、一部角礫状。節理に沿って表面のみ弱く酸化する。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 57.80~65.95m: 花崗斑岩。斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 60.00~63.50m: 節理少なく柱状コアをなす。	0	50	OM	28.10															85						0.0	泥水7	7	
	-17.29	54.60		アフライト	灰黄褐	Dg	γ	2	2	63.50~64.00m: シーム。傾斜20度。幅7mm。黒褐、褐色主体、一部黄灰色粘土状。傾斜52度の変質部と交差する。	0	50	OM	28.10									78						0.0	泥水10	10							
	-20.49	57.80		花崗斑岩	明黄褐	Dg	γ	2	2	64.00~65.95m: 花崗斑岩。斑晶がやや粗粒な花崗斑岩である。径3~10mmの石英、長石の斑晶を主体とし、一部に黒雲母の斑晶を1~40%程度含み、石英は径0.1mmで一部径0.5mm程度をなす。斑晶の多い部分と少ない部分が50~100cmの互層を呈する。 65.95~66.00m: シーム。傾斜20度。幅7mm。黒褐、褐色主体、一部黄灰色粘土状。傾斜52度の変質部と交差する。	0	50	OM	28.10													85					0.0	泥水5	5				
		60		花崗斑岩	明黄褐	Dg	β	1	1	66.00~68.00m: シーム。傾斜20度。幅7mm。黒褐、褐色主体、一部黄灰色粘土状。傾斜52度の変質部と交差する。	0	50	OM	28.10									83						0.0	泥水10	10							

H19—No. 3

柱状図(30.00m～60.00m)



- 1-136(分類b)①
孔口標高を正しい値にしたため。
- 1-143, 1-144(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-141(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(60.00m~90.00m)

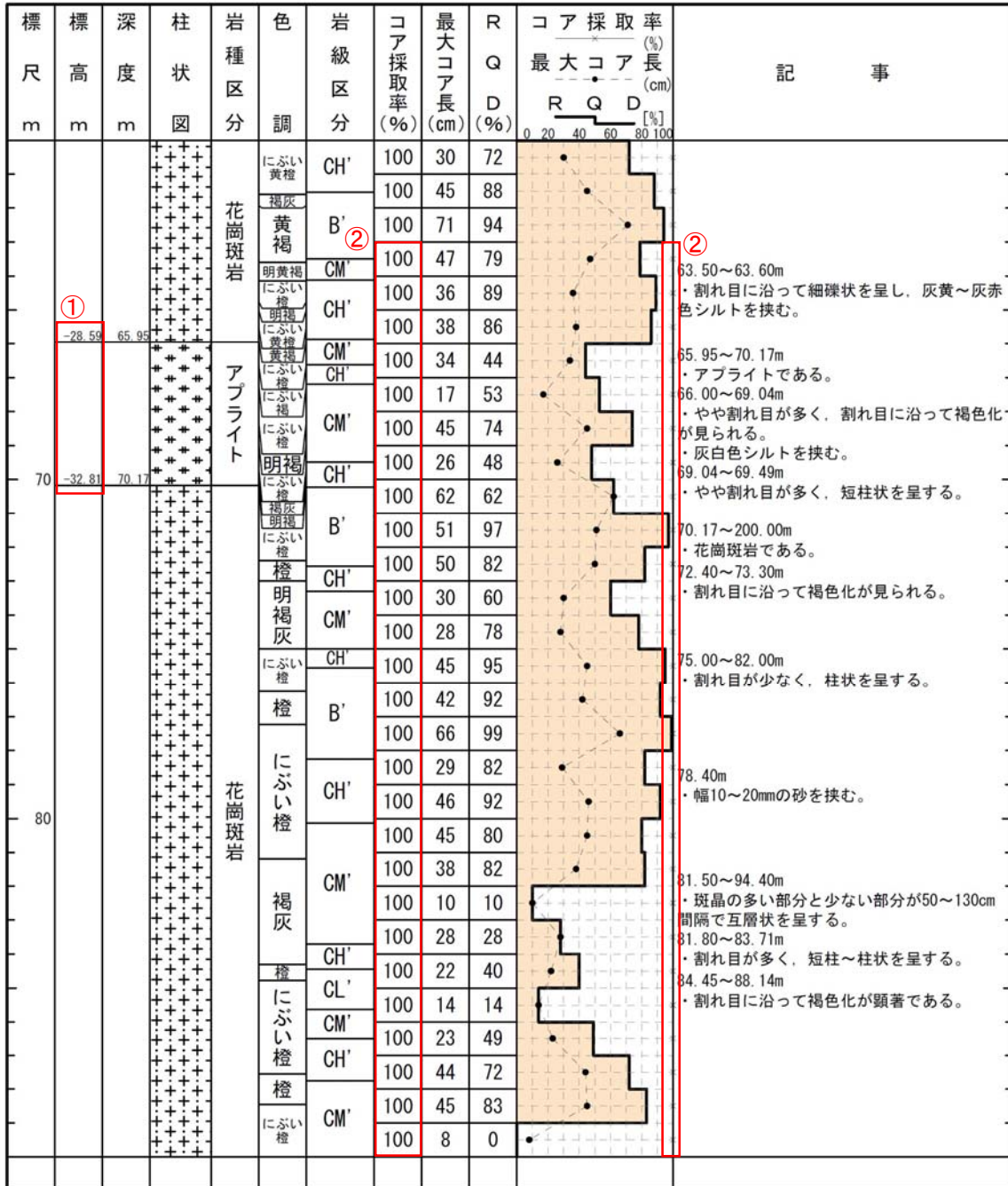
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事		
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	D			
70 80				花崗斑岩	にぶい 黄橙	CH①	100	30	72		①	63.50~63.60m ・割れ目に沿って細礫状を呈し、灰黄~灰赤色シルトを挟む。			
					褐灰		100	45	88						
					黄褐	B'	100	71	94						
					明黄褐	CM'	100	47	79						
					にぶい 橙	CH'	100	36	89						
					明褐	CH'	100	38	86						
				アブライト	黄橙	CM'	100	34	44				65.95~70.17m ・アブライトである。 66.00~69.04m ・やや割れ目が多く、割れ目に沿って褐色化が見られる。 ・灰白色シルトを挟む。 69.04~69.49m ・やや割れ目が多く、短柱状を呈する。		
					にぶい 橙	CH'	100	17	53						
					にぶい 褐	CM'	100	45	74						
					にぶい 橙	CH'	100	26	48						
					明褐	CH'	100	62	62						
					褐灰	B'	100	51	97						
					にぶい 橙	CH'	100	50	82						
					明褐灰	CM'	100	30	60						
					明褐	CM'	100	28	78						
					にぶい 橙	CH'	100	45	95						
					にぶい 橙	B'	100	42	92						
							100	66	99						
					花崗斑岩	にぶい 橙	CH'	100	29					82	75.00~82.00m ・割れ目が少なく、柱状を呈する。 78.40m ・幅10~20mmの砂を挟む。 81.50~94.40m ・斑晶の多い部分と少ない部分が50~130cm間隔で互層状を呈する。 81.80~83.71m ・割れ目が多く、短柱~柱状を呈する。 84.45~88.14m ・割れ目に沿って褐色化が顕著である。
						にぶい 橙	CH'	100	46					92	
						褐灰	CM'	100	45					80	
							CM'	100	38					82	
							CM'	100	10					10	
橙	CH'	100	28	28											
橙	CL'	100	22	40											
にぶい 橙	CM'	100	14	14											
にぶい 橙	CH'	100	23	49											
						100	44	72							
						100	45	83							
						100	8	0							

1-141(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	変質	記事	コア採取率 (%)	岩盤区分	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験)試験						原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進進捗 (掘進速度: cm/時)	孔径(mm) / 孔壁保護	コアダクト (ポンプ/ビット)	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
										最大コア長 cm R Q D [%]			N 値 ~ 深度																	
				花崗斑岩	黄褐 明黄褐 黄褐	I g Cg II g			深度63.50~63.60m: 節理に沿って細線状。幅7mmの灰黄~灰赤色シルトを挟む。 深度64.15~65.18m: 柱状コアをなすが、節理に沿って褐色化している。	0			0 10 20 30 40 50											0.0	泥水10	10				
	-28.64	65.95		アプライト	黄褐	IV g			アプライト。上位との境界不明瞭。深度65.95~70.17m: アプライト。石差は径0.1mm程度であり、径3mm程度の石英、長石の斑晶及び径1mm程度の黒雲母の斑晶が点在する(0.5%以下)。 深度66.00~69.04m: やや節理多く、節理に沿って褐色化する。深度68.10m: 幅5~10mmの灰白色シルトを挟む。 深度69.04~69.49m: やや節理多く、短柱状コアをなす。													0.0	泥水10	5						
				花崗斑岩	にぶい橙 明褐	I g II g IV g			花崗斑岩。上位との境界傾斜15~20度。深度70.17~81.50m: 花崗斑岩。径3~15mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を50%程度含み、石差は上部が径0.1mm程度、下部が径0.5mm程度である。 深度72.40~73.30m: 節理に沿って褐色化が見られる。 深度73.30~75.00m: やや節理多くなり、節理に沿って褐色化している。													0.0	泥水10	5						
	70	-32.86	70.17	明褐灰	にぶい橙 橙	I g II g			深度75.00~82.00m: 節理少なく柱状コアをなす。																					
				花崗斑岩	明褐灰 にぶい橙 橙	III g I g II g			深度78.40m: 幅10~20mmの砂を挟む。																					
	80			花崗斑岩	にぶい橙 橙 褐灰	I g II g Cg IV g			深度81.50~94.40m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石、黒雲母斑晶を1~5%程度含み、石差は径0.1~0.2mm程度である。斑晶の多い部分と少ない部分が50~130cm程度で互層を呈する。 深度81.80~81.90m: 固結し密着した節理が多く、柱状コアをなす。 深度82.00~83.71m: 節理多く、短柱状コアをなす。深度82.80m以深、節理に沿って褐色化著しい。 深度84.45~86.50m: 節理多く、褐色化著しい。																					
				花崗斑岩	にぶい橙 橙 明褐灰	IV g III g Cg			深度87.75~88.14m: 節理多く、一部角線状、節理に沿って褐色化著しい。 深度89.00~90.00m: 節理多く、高角度な節理あり。節理に沿って砂、シルトを挟む。 深度90.00~92.25m: やや節理多く、節理に沿って褐色化。砂~シルトを挟む。 深度92.25~93.18m: 高角度な砂~細線状破砕部あり。																					
				花崗斑岩	にぶい橙 橙	IV g II g			深度93.18~94.12m: やや節理多く、高角度な節理あり。																					
	90			花崗斑岩	明褐灰 にぶい橙 灰	III g IV g I g			深度94.12~96.70m: 新鮮柱状コア、黒雲母を多く含む花崗斑岩。 深度94.40~113.00m: 花崗斑岩。径3mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を3~15%程度含み、石差は径0.1~0.5mm程度。黒雲母を含み全体に組織は均質である。 深度96.70~98.85m: 全体に褐色化著しい。硬質で節理少ない柱状コア。																					
				花崗斑岩	にぶい橙 橙	I g II g																								
				花崗斑岩	明褐灰 にぶい橙	III g IV g																								
				花崗斑岩	にぶい橙 橙	I g II g																								
				花崗斑岩	明褐灰 にぶい橙	III g IV g																								

H19—No. 3

柱状図(60.00m~90.00m)

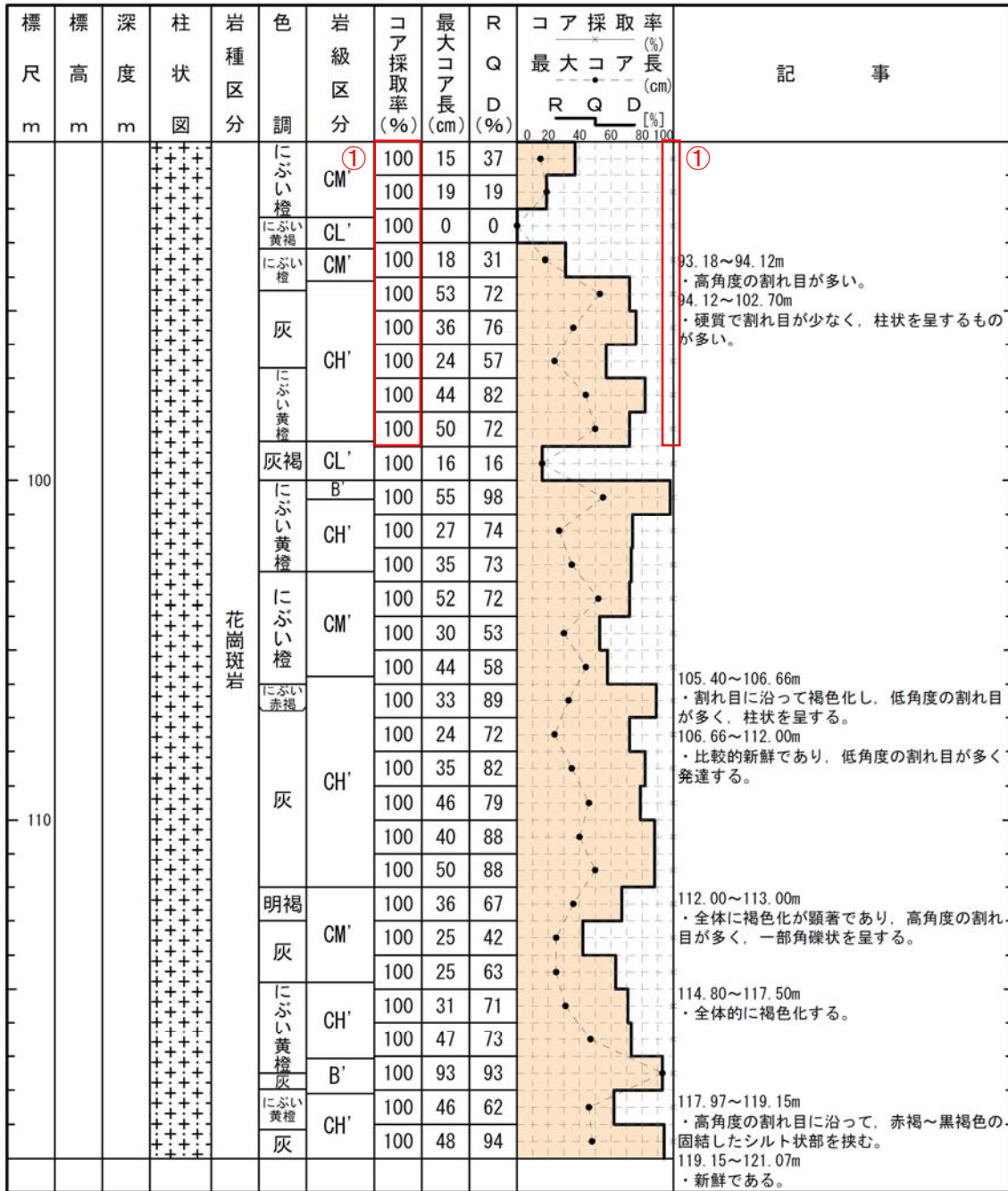


1-136(分類b)①
 孔口標高を正しい値にしたため。
 1-141(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアカラ形状	割れ目の状態	風変質	記 事	コア採取率 (%)	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進進度 (cm/時)	孔径(φ) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (l/分)	送水圧 (MPa)	排水量 (l/分)			
														(N 値 ~ 深度)																	
-28.64	65.95		+ +	黄褐 明赤褐 黄褐	Bg Cg Bg	I g II g II g				深度63.50~63.60m: 節理に沿って細線状。幅7mmの灰黄~灰赤色シルトを挟む。 深度64.15~65.18m: 柱状コアをなすが、節理に沿って褐色化している。	0.75 0.86 0.89 0.98	B'	83	10 / 4 65.60				0.0	泥水10	10											
				黄褐	Bg	II g					アブライト。上位との境界不明瞭。深度65.95~70.17m: アブライト。石差は径0.1mm程度であり、径3mm程度の石英、長石の斑晶及び径1mm程度の黒雲母の斑晶が点在する(0.5%以下)。	1.38 1.44 1.53	OM						0.0	泥水10	0										
				黄褐	Bg	II g				β	深度66.00~69.04m: やや節理多く、節理に沿って褐色化する。 深度68.10m: 幅5~10mmの灰白色シルトを挟む。	1.67 1.74 1.81	OM						0.0	泥水10	0										
				黄褐	Bg	II g					深度69.04~69.49m: やや節理多く、短柱状コアをなす。	1.86 1.92	OM							10 / 5 69.50											
				黄褐	Bg	II g					花崗斑岩。上位との境界傾斜15~20度。	2.09 2.15	OM																		
				黄褐	Bg	I g				1	深度70.17~81.50m: 花崗斑岩。径3~15mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を50%程度含み、石差は上部が径0.1mm程度、下部が径0.5mm程度である。	2.61 2.68	OM																		
				黄褐	Bg	II g					深度72.40~73.30m: 節理に沿って褐色化が見られる。	2.86 2.92	OM																		
				黄褐	Bg	III g	bg				深度73.30~75.00m: やや節理多くなり、節理に沿って褐色化している。	3.28 3.34	OM																		
				黄褐	Bg	I g					深度75.00~82.00m: 節理少なく柱状コアをなす。	3.45 3.51	OM																		
				黄褐	Bg	I g				α	深度76.00~82.00m: 節理少なく柱状コアをなす。	3.66 3.72	OM																		
				黄褐	Bg	I g					深度78.40m: 幅10~20mmの砂を挟む。	3.86 3.92	OM																		
				黄褐	Bg	II g					深度81.50~94.40m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石、黒雲母斑晶を1~5%程度含み、石差は径0.1~0.2mm程度である。斑晶の多い部分と少ない部分が50~130cm程度で互層を呈する。	4.11 4.17	OM																		
				黄褐	Bg	II g					深度81.80~81.90m: 固結し密着した節理が多く、柱状コアをなす。	4.28 4.34	OM																		
				黄褐	Bg	IV g					深度82.00~83.71m: 節理多く、短柱状コアをなす。深度82.80m以深、節理に沿って褐色化著しい。	4.22 4.28	OM																		
				黄褐	Bg	IV g	cg				深度84.45~86.50m: 節理多く、褐色化著しい。	4.44 4.50	OM																		
				黄褐	Bg	II g	bg				深度87.75~88.14m: 節理多く、一部角線状、節理に沿って褐色化著しい。	4.20 4.26	OM																		
			黄褐	Bg	IV g	cg				深度89.00~90.00m: 節理多く、高角度な節理あり。節理に沿って砂、シルトを挟む。	4.44 4.50	OM																			
			黄褐	Bg	IV g	cg				深度90.00~92.25m: やや節理多く、節理に沿って褐色化。砂~シルトを挟む。	4.16 4.22	OM																			
			黄褐	Bg	IV g	cg				深度92.25~93.18m: 高角度な砂~細線状破砕部あり。	4.50 4.56	OM																			
			黄褐	Bg	IV g	cg				深度93.18~94.12m: やや節理多く、高角度な節理あり。	4.18 4.24	OM																			
			黄褐	Bg	I g				1	深度94.12~96.70m: 新鮮柱状コア、黒雲母を多く含む花崗斑岩。	4.83 4.89	OM																			
			黄褐	Bg	III g	bg			α	深度94.40~113.00m: 花崗斑岩。径3mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を3~15%程度含み、石差は径0.1~0.5mm程度。黒雲母を含み全体に組織は均質である。	4.89 4.95	OM																			
			黄褐	Bg	II g				2	深度96.70~98.85m: 全体に褐色化著しい。硬質で節理少ない柱状コア。	4.44 4.50	OM																			
			黄褐	Bg	II g					深度96.70~98.85m: 全体に褐色化著しい。硬質で節理少ない柱状コア。	4.44 4.50	OM																			

H19—No. 3

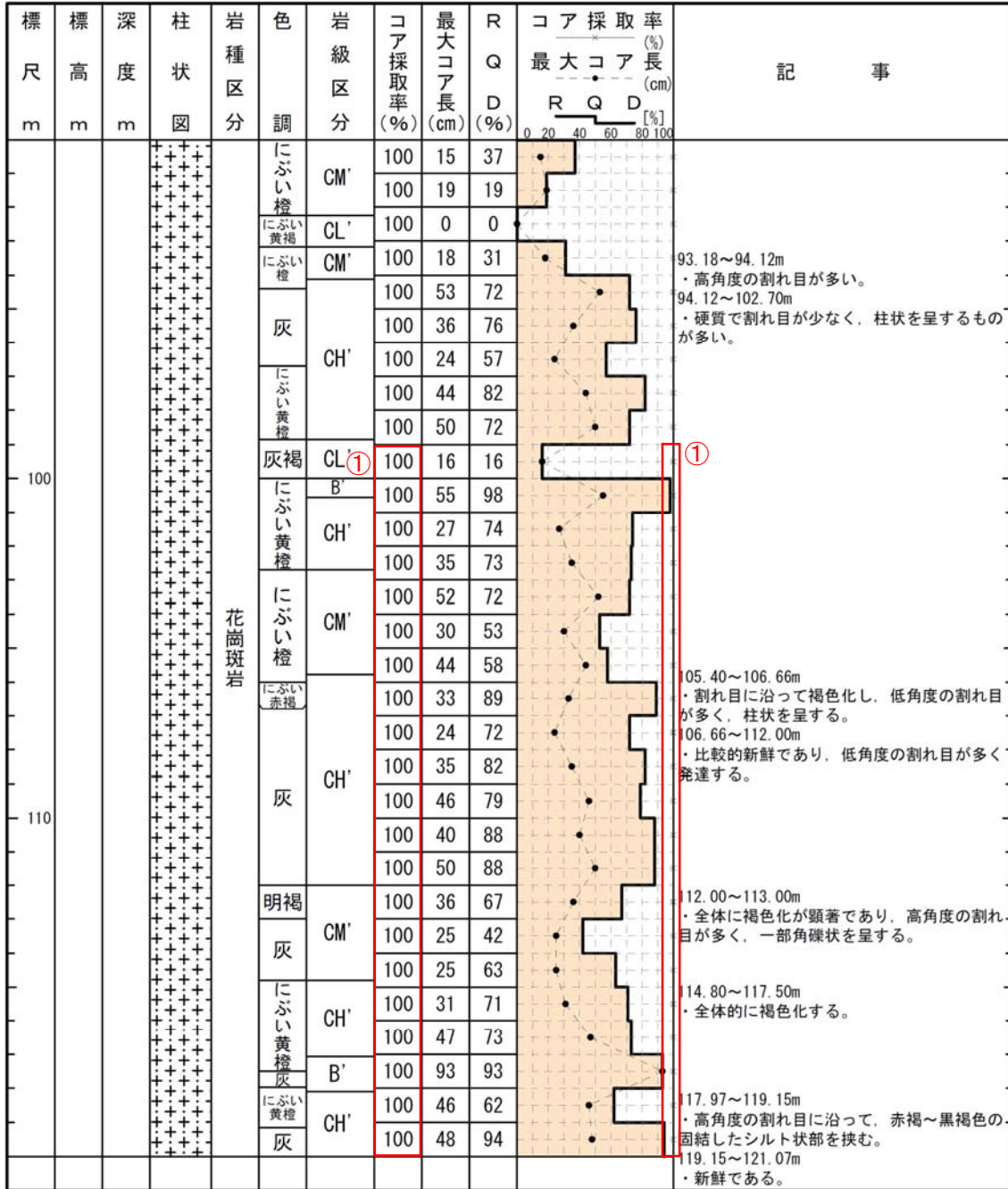
柱状図(90.00m～120.00m)



1-141(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H19—No. 3

柱状図(90.00m～120.00m)

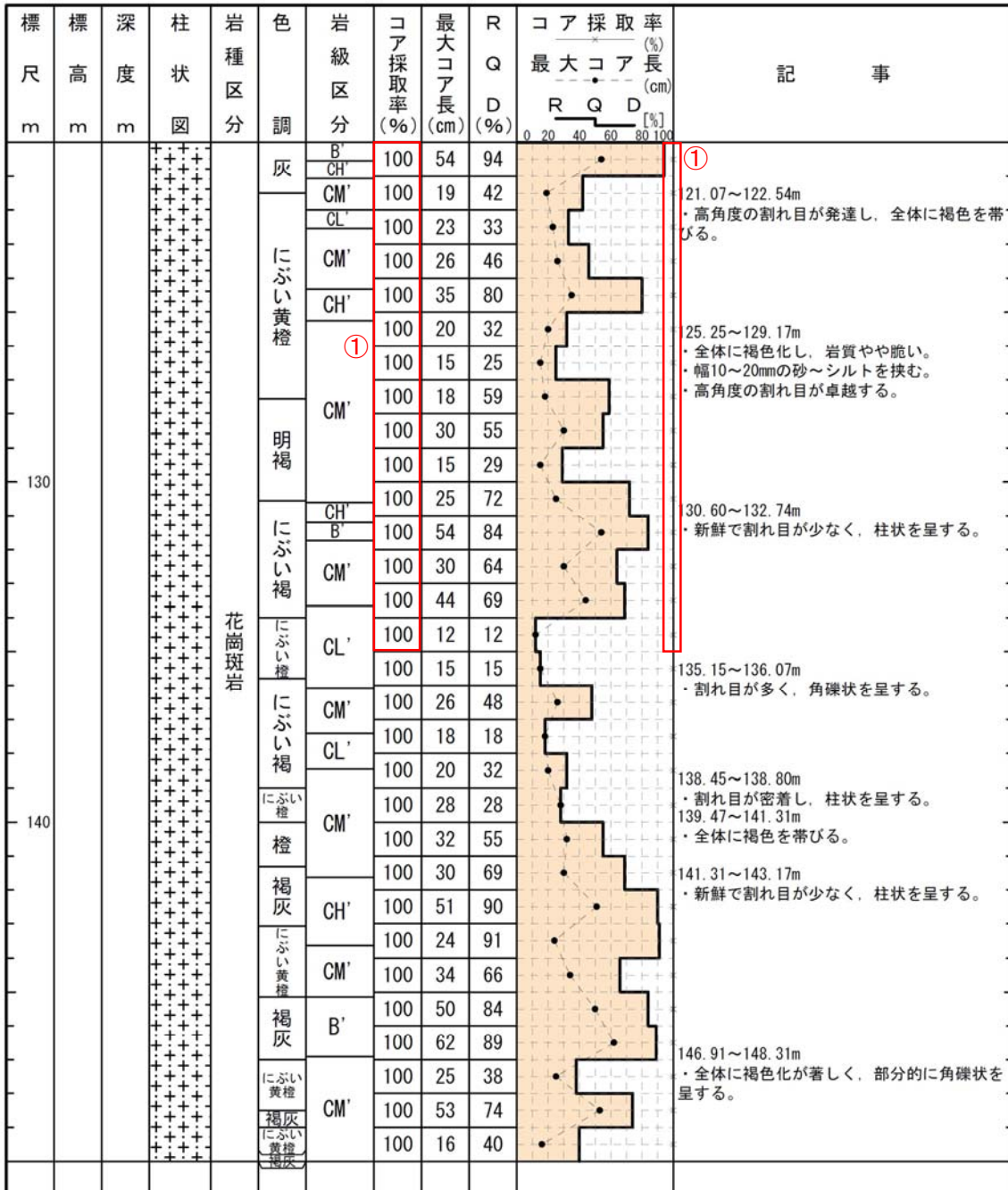


1-141(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	風割れ	変質	記	コ	岩	岩	孔	(標準貫入試験) 試験		原	室	掘	孔	コ	給	回	送	送	排			
															N 値	深度											置	内	進
100				花崗斑岩	灰褐	IVg	cg	2		深度98.85~99.60m: 高角度な節理発達。節理に沿って砂を挟む。	15	CL																	
					「に」い「い」黄橙	Ig		1		深度100.00~102.70m: 硬質、柱状コアであるが、全体に褐色化している。	16	B'	[CH]																
					「に」い「い」黄橙	Bg	IIg				17	CH																	
					「に」い「い」黄橙	IIIg		β		深度102.70~105.00m: 高角度な節理あり、やや節理多くなる。上位に比べやや変質・風化進む。	18	CH																	
					「に」い「い」黄橙	Cg	IIg		2		19	OM	[CM]																
					「に」い「い」黄橙	Bg	IIg			深度105.00~105.40m: 高角度な節理発達。節理に沿って細線を挟む。	20	CH																	
					「に」い「い」黄橙	Cg	IIg			深度105.40~106.66m: 節理に沿って褐色化、低角度な節理が多くなり、節理は密着し、柱状コアをなす。	21	CH																	
					「に」い「い」黄橙	IIIg	bg			深度106.66~112.00m: 灰色花崗斑岩。褐色化弱く比較的新鮮。低角度の節理多く発達。	22	B'																	
					灰	Bg	IIg		α	深度109.30~110.00m: 高角度な節理あり。	23	CH																	
					灰	Ig		1		深度110.60m以深、節理に沿う褐色化顕著。	24	B'																	
					明褐	IVg		β		深度112.00~113.00m: 全体に褐色化顕著。高角度な節理多く、一部角礫状をなす。	25	CH																	
					灰	Cg	IIIg			深度113.00~162.89m: 花崗斑岩。斑晶は粗粒。上位の細粒な花崗斑岩との境界は明瞭であり傾斜は10~20度である。	26	OM	[CH]																
					灰	Bg	IIIg		α	径5~20mmの石英、長石、黒雲母を10~50%程度含み、石基は0.1~0.5mm程度である。一般に斑晶は多いが、厚さ1~2mm程度の斑晶の少ない部分を挟む。一般に流理は傾斜20度程度を示す。組織は均質であるが、漸移的に変化する。157.00m以深より長石を多く含む。	27	CH																	
					「に」い「い」黄橙	IIg	bg		β	深度114.80~117.50m: 全体的に褐色化している。硬質柱状コアで、高角度な節理あり。	28	B'																	
					灰	Bg	IIg		2		29	B'																	
					「に」い「い」黄橙	IIg				深度117.97~119.15m: 高角度な節理に沿って、赤褐色・黒褐色の固結シルトを挟む。	30	CH																	
					灰	IVg	cg			深度119.15~121.07m: 変質を受けていない新鮮花崗斑岩。節理に沿ってわずかに褐色化する。	31	CH																	
					灰	IIg	bg		α		32	B'																	
					灰	IIg		1			33	CH																	
					「に」い「い」黄橙	IIIg	cg			深度121.07~122.54m: 高角度な節理が発達し、全体に褐色を帯びる。節理に沿って砂を挟む。	34	OM																	
					「に」い「い」黄橙	Cg	IIIg			深度122.54~125.25m: 全体に褐色化し、やや節理多い。	35	OM																	
					「に」い「い」黄橙	IVg	bg		γ		36	CH																	
					「に」い「い」黄橙	Bg	IIg				37	CH																	
					「に」い「い」黄橙	IIIg	cg			深度125.25~126.67m: 全体に褐色化し、岩質やや脆い。幅10~20mmの砂~シルトを挟む。高角度な節理が卓越。	38	CH																	
					「に」い「い」黄橙	IVg				深度126.67~129.17m: 全体に褐色化する。高角度な節理あり。所々節理が密集する。	39	OM	[CM]																
					明褐	IIIg		2			40	CH																	
					明褐	IVg	bg			深度129.17~130.60m: わずかに褐色を帯びた新鮮岩。	41	B'																	
					「に」い「い」黄橙	Cg	IIIg		β		42	CH																	
					「に」い「い」黄橙	Bg	IIg			深度130.60~132.74m: 新鮮な柱状コア。節理少ない。	43	B'																	
					「に」い「い」黄橙	Ig				深度131.74m以深は、全体にわずかに褐色を帯びる。	44	OM																	
					「に」い「い」黄橙	Bg	IIIg			深度132.74~136.63m: 高角度な節理発達し、節理に沿って細線状をなす。全体に褐色化顕著。	45	OM																	
					明褐	IVg	cg		γ		46	CL																	

H19—No. 3

柱状図(120.00m～150.00m)



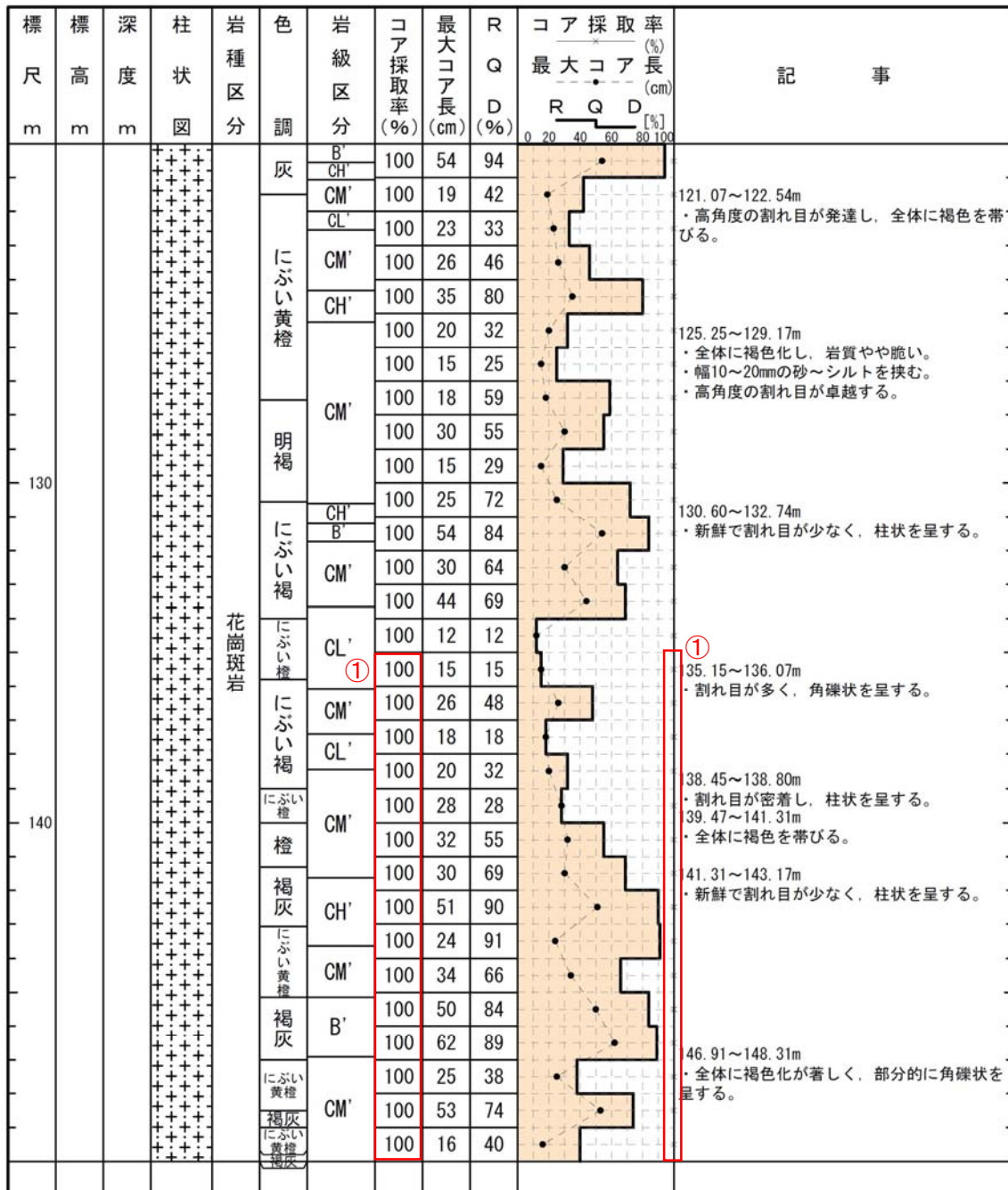
1-141(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	（標準貫入試験）試験		室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
															N 値	深度									
140			+	花崗斑岩	にぶい褐	IVg	cg	γ	2		深度135.15~136.07m: 節理多く、角礫状をなす。	0	50	CL	0	50									
											深度136.63~139.47m: 高角度な節理発達。全体に角礫~細礫を呈する。節理に沿って褐色化顕著、砂を挟む。														
150			+	花崗斑岩	にぶい黄橙	IVg	cg	α	1		深度138.45~138.80m: 節理密着し、柱状コアをなす。	50	100	CM	0	50									
											深度139.47~141.31m: 全体に褐色を帯びる。節理はやや少ない。														
											深度141.31~143.17m: 柱状コアをなす新鮮花崗斑岩。節理に沿って弱く褐色を帯びる。														
											深度143.17~145.14m: 全体に褐色化した花崗斑岩。柱状コアをなし節理少ない。節理に沿って黒褐色砂を挟む。														
											深度145.14~146.91m: 新鮮な柱状コア。節理少ない。節理に沿って一部褐色化。														
											深度146.91~148.31m: 全体に褐色化著しく、節理多い。高角度な節理を主として、一部に角礫状部を挟む。														
											深度148.31~149.00m: 節理に沿って褐色化著しい。														
											深度149.00~149.66m: 全体に褐色化著しい。節理に沿って砂~シルトを挟む。														
											深度150.00~151.62m: 柱状コアを呈する。節理に沿って褐色を帯びるが、一部に新鮮岩を残す。														
											深度151.62~152.10m: 細礫~角礫状を呈する節理密着部。														
											深度152.10~153.00m: 節理に沿って褐色化著しい。														
											深度153.00~153.70m: 不規則に節理が理発達し、角礫状コアをなす。														
											深度153.70~154.90m: 全体に褐色化著しい。														
											深度154.90~155.45m: 新鮮岩を残すが、節理に沿って褐色化している。														
											深度155.45~157.13m: 全体に褐色化著しく、高角度な節理多い。														
160			+	花崗斑岩	にぶい赤橙	IVg	cg	β	2		深度157.13~157.54m: 砂~細礫状をなす。一部粘土を挟む。	100	200	CH	0	50									
											深度157.54~161.17m: 比較的節理の少ない柱状コア。節理に沿って褐色を帯びる。														
											高角度な節理が発達した花崗斑岩。全体に褐色を帯びる。														
170			+	花崗斑岩	にぶい赤橙	IVg	cg	β	2		深度162.89~200.00m: 花崗斑岩。径5~15mmのカリ長石、石英の斑晶及び径2mm程度の黒雲母の斑晶を30~80%程度含み、石基は径0.5mm程度。	200	400	CH	0	50									
											深度165.00m以深 高角度な節理が多くなり、節理に沿って砂~細礫を挟む。														
											深度169.50~175.00m: 全体に高角度な節理発達。														

ダブルコアチューブ/ダイヤビット

H19—No. 3

柱状図(120.00m～150.00m)



1-141(分類b)①
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 — (%) 最大コア長 R Q D [%]	岩盤区分					(標準貫入試験) 試験 (N 値 ~ 深度)	掘進 速度 (cm / 時)	掘進 月 日	室内 試験 原位置試験 (岩内水平載荷)	コア径 (mm) / 孔壁保護	給 水 量 (l / 分)	送 水 量 (l / 分)	送 水 圧 (MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	排 水 量 (l / 分)								
												岩種	色調	硬軟	割れ目	風化												変質	原位置試験	掘進速度	掘進月日	室内試験			
140				花崗斑岩	にぶい褐	IVg IIIg IVg	bg	γ	2	<p>深度135.15~136.07m: 節理多く、角礫状をなす。</p> <p>深度136.63~139.47m: 高角度な節理発達。全体に角礫~細線を呈する。節理に沿って褐色化顕著、砂を挟む。</p> <p>深度138.45~138.80m: 節理密着し、柱状コアをなす。</p> <p>深度139.47~141.31m: 全体に褐色を帯びる。節理はやや少ない。</p> <p>深度141.31~143.17m: 柱状コアをなす新鮮花崗斑岩。節理に沿って弱く褐色を帯びる。</p>		CL CM CL CM	0	10	20	30	40	50	103	10/23 67.10	10/24 41.30	74	10/25 45.00	78	10/26 50.10	80	10/27 54.70	105	10/28 56.30	78	10/30 61.40	100	10/31 67.40	118	No.3(5/6)
150				花崗斑岩	にぶい黄橙	IVg IIIg IVg	bg	α	1	<p>深度145.14~146.91m: 新鮮な柱状コア、節理少ない。節理に沿って一部褐色化。</p> <p>深度146.91~148.31m: 全体に褐色化著しく、節理多い。高角度な節理を主として、一部に角礫状部を挟む。</p> <p>深度148.31~149.00m: 節理に沿って褐色化著しい。</p> <p>深度149.00~149.66m: 全体に褐色化著しい。節理に沿って砂~シルトを挟む。</p> <p>深度150.00~151.62m: 柱状コアを呈する。節理に沿って褐色を帯びるが、一部に新鮮岩を残す。</p>		CH CH CM CH	0	10	20	30	40	50	76	10/27 54.70	10/28 56.30	78	10/30 61.40	100	10/31 67.40	118	No.3(5/6)								
160				花崗斑岩	にぶい黄橙	IVg IIIg IVg	bg	β	2	<p>深度151.62~152.10m: 細礫~角礫状を呈する節理密集部。</p> <p>深度152.10~153.00m: 節理に沿って褐色化著しい。</p> <p>深度153.00~153.70m: 不規則に節理が発達し、角礫状コアをなす。</p> <p>深度153.70~154.90m: 全体に褐色化著しい。</p> <p>深度154.90~155.45m: 新鮮岩を残すが、節理に沿って褐色化している。</p> <p>深度155.45~157.13m: 全体に褐色化著しく、高角度な節理多い。</p>		CM CM CH CH	0	10	20	30	40	50	76	10/27 54.70	10/28 56.30	78	10/30 61.40	100	10/31 67.40	118	No.3(5/6)								
170				花崗斑岩	赤灰	IVg IIIg IVg	bg	β	2	<p>深度157.13~157.54m: 砂~細礫状をなす。一部粘土を挟む。</p> <p>深度157.54~161.17m: 比較的節理の少ない柱状コア。節理に沿って褐色を帯びる。</p> <p>高角度な節理が発達した花崗斑岩。全体に褐色を帯びる。</p> <p>深度162.89~200.00m: 花崗斑岩。径5~15mmのカリ長石、石英の斑晶及び径2mm程度の黒雲母の斑晶を30~80%程度含む。石基は径0.5mm程度。</p> <p>深度165.00m以深、高角度な節理が多くなり、節理に沿って砂~細線を挟む。</p> <p>高角度な節理を中心に、網目状に節理が発達し、節理に沿って褐色化する。</p> <p>深度169.50~175.00m: 全体に高角度な節理発達。</p>		CH CH CM CH CM	0	10	20	30	40	50	76	10/27 54.70	10/28 56.30	78	10/30 61.40	100	10/31 67.40	118	No.3(5/6)								

柱状図(150.00m～180.00m)

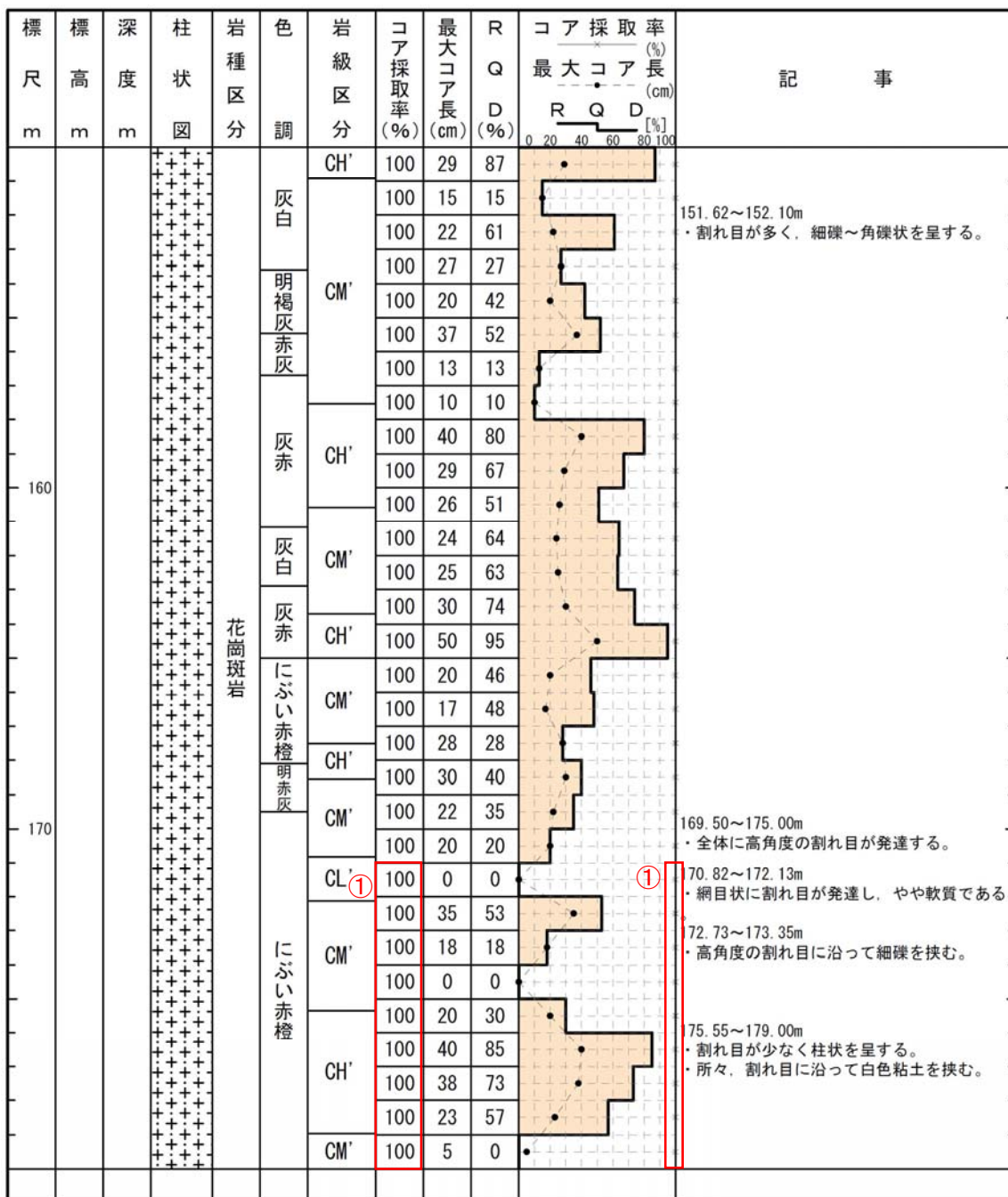
標 尺 m	標 高 度 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事	
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)		
160			+	花崗斑岩	灰白	CH'	100	29	87		① 51.62～152.10m ・割れ目が多く、細礫～角礫状を呈する。		
						①	100	15	15				
							100	22	61				
						明褐 灰赤 灰	CM'	100	27			27	
								100	20			42	
								100	37			52	
						灰赤	CH'		100			13	13
									100			10	10
									100			40	80
						灰白	CM'		100			29	67
	100	26	51										
170			+	花崗斑岩	灰白		100	24	64	69.50～175.00m ・全体に高角度の割れ目が発達する。 170.82～172.13m ・網目状に割れ目が発達し、やや軟質である。 172.73～173.35m ・高角度の割れ目に沿って細礫を挟む。 175.55～179.00m ・割れ目が少なく柱状を呈する。 ・所々、割れ目に沿って白色粘土を挟む。			
							100	25	63				
						灰赤	CH'		100		30	74	
									100		50	95	
						にぶい 赤橙 明赤 灰	CM'		100		20	46	
									100		17	48	
									100		28	28	
									100		30	40	
						にぶい 赤橙	CM'		100		22	35	
									100		20	20	
CL'		100	0	0									
		100	35	53									
CM'		100	18	18									
		100	0	0									
CH'		100	20	30									
		100	40	85									
		100	38	73									
	CM'	100	23	57									
	100	5	0										

1-141(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定月日) (N) 値	(標準貫入試験) 試験		原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)							
																N 値	深度																		
		180	+++++	花崗斑岩	にんげい赤橙	Dg	IVg	bg			深度170.82~172.13m: 網目状に節理が発達し、やや軟質である。 深度171.50~172.70m: 節理に沿って褐色化する。 深度172.73~173.35m: 高角度な節理に沿って細礫を挟む。	0 50 100	CL									118	11/1	73.30											
						Dg	IIIg	bg					深度175.00~175.55m: 高角度な節理発達。 深度175.55~179.00m: 節理の少ない柱状コア。深度177.65m以深、節理に沿って白色粘土を挟む。		CM									102	11/2	76.40									
						Dg	IIg	ag					深度179.00~180.00m: 高角度な節理が発達し、一部角礫~細礫状をなす。		CH	[CH]									96	11/3	87.60								
						Dg	IVg	bg					深度180.16~180.24m: 180.76~180.89m: 角礫~細礫状をなす。		CM	[CM]										106	11/6	85.30							
						Dg	IIIg	bg					深度181.00~181.40m: 高角度な節理発達し、角礫~細礫状をなす。		CH	[CH]										76	11/7	89.90							
						Dg	IVg	ag					深度182.61~182.87m: 節理密集、角礫~細礫状をなす。		CM	[CH]										92	11/8	84.10							
						Dg	IIIg	ag					深度186.60~188.00m: 高角度な節理が発達。 深度187.30m, 188.20m: 節理に沿って黄鉄鉱を挟む。		CM	[CM]										84	11/9	86.20							
						Dg	IVg	bg					深度188.70~190.00m: 高角度な節理が発達。		CL											84	11/10	80.00							
						Dg	IIIg	ag					深度191.05~191.75m: 節理に沿って黒褐色・赤褐色化する。高角度な節理が発達。 深度192.65m, 193.23m, 194.04m, 194.16m: 密着した節理に黄鉄鉱を挟む。		B'												72	11/10	80.00						
						Dg	IVg	bg					深度195.20~196.00m: 長石の灰白色粘土化が認められる。 深度195.73m: 密着した節理に黄鉄鉱を挟む。		B'												98	11/10	80.00						
			Dg	IIIg	ag					深度197.70m, 197.73m, 199.93m: 密着した節理に黄鉄鉱を挟む。		B'												98	11/10	80.00									

H19—No. 3

柱状図(150.00m～180.00m)

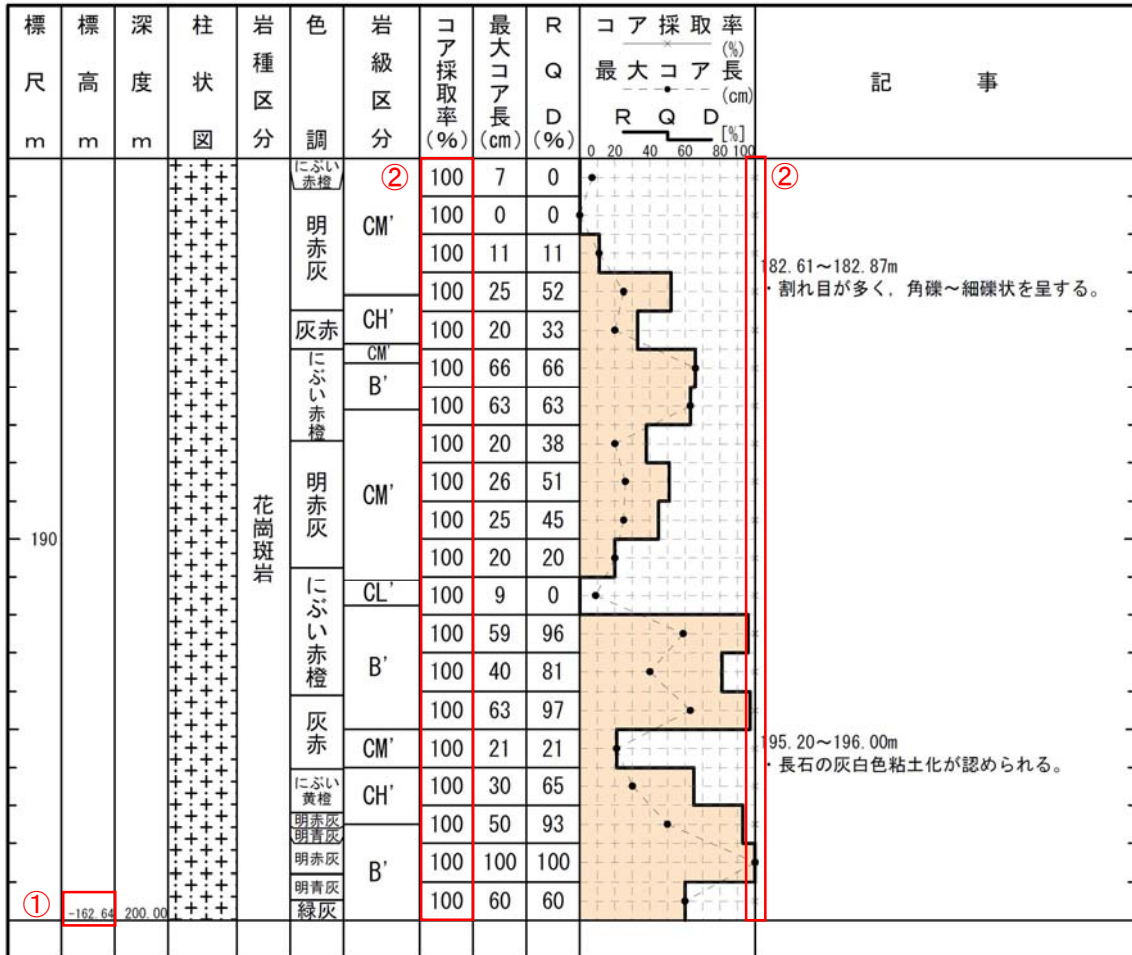


1-141(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D L [%]	岩盤区分	岩級分類	（標準貫入試験）試験		原位置試験（孔内水平載荷）	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
															(N 値 ~ 深度)	(N 値)													
											深度170.82~172.13m：網目状に節理が発達し、やや軟質である。深度171.50~172.70m：節理に沿って褐色化する。深度172.73~173.35m：高角度な節理に沿って細礫を挟む。	0 50 100	CL		0 10 20 30 40 50					11/1	118								
											深度175.00~175.55m：高角度な節理発達。深度175.55~179.00m：節理の少ない柱状コア。深度177.65m以深、節理に沿って白色粘土を挟む。		CM							11/2	102								
											深度179.00~180.00m：高角度な節理が発達し、一部角礫~細礫状をなす。		CH	[CH]						11/3	96								
											深度180.16~180.24m：180.76~180.89m：角礫~細礫状をなす。		CM	[CM]						11/4	106								
											深度181.00~181.40m：高角度な節理発達し、角礫~細礫状をなす。		CH	[CH]						11/5	76								
											深度182.61~182.87m：節理密集、角礫~細礫状をなす。		CM	[CH]						11/6	92								
											深度186.60~188.00m：高角度な節理が発達。深度187.30m、188.20m：節理に沿って黄鉄鉱を挟む。		CM	[CM]						11/7	84								
											深度188.70~190.00m：高角度な節理が発達。		CL							11/8	72								
											深度191.05~191.75m：節理に沿って黒褐色・赤褐色化する。高角度な節理が発達。		B'							11/9	98								
											深度192.65m、193.23m、194.04m、194.16m：密着した節理に黄鉄鉱を挟む。		CM	[B]						11/10	72								
											深度195.20~196.00m：長石の灰白色粘土化が認められる。深度195.73m：密着した節理に黄鉄鉱を挟む。		CH																
											深度197.70m、197.73m、199.93m：密着した節理に黄鉄鉱を挟む。		B'																

H19—No. 3

柱状図(180.00m～200.00m)



- 1-136(分類b)①
孔口標高を正しい値にしたため。
- 1-141(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.											1
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

事業・工事業

ボーリング名	Br-1			調査位置			北緯					
発注機関							調査期間			東経		
調査業者名					主任技師			現代理人		ボーリング責任者		
孔口標高	94.37 m	角	180°		方		北 0°		地盤勾配	使用機種	試験機	ハンマー落下用具
総掘削長	130.00 m	度	90°		東 90°	鉛直 90°	水平 0°		エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深 (m)	柱状区分	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	岩級区分	孔内水位 (m)	測定月日	標準貫入 (試験)						室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアチューフ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																														
																				(N値~深度)	図	原位置試験 (孔内水深記載)	掘進	送水	水量																																																								
10	94.21	0.16	コア取付部	硬質シルト	黒	Vg	Vg	3	δ	δ	0.00~0.16m: 礫混じり有機質シルト極めて軟らかい。 0.11~0.16m: 最大径2.5mmの歪角~歪円礫を含む。 0.16~106.11m: アプライト。 0.16~2.80m: 割れ目に木根が多い。 0.34~0.42m: 幅18~22mmの礫混じり砂状シルト状を呈する。 0.90m: 幅0.5~2mmの褐色粘土を挟在する。 2.96m, 3.36m: 幅0~4mmの褐色粘土を挟在する。 3.58~4.81m: 変質により石英粒(径2~8mm)を残して粘土化している。割れ目が不明瞭となる。 4.47m: 幅2~10mmの灰白色シルトを挟在する。 5.03~5.26m: 幅1mmの灰白色粘土及び褐色粘土を挟在する割れ目が発達する。 6.14~6.83m: 幅5mm以下の灰白色粘土及び褐色粘土を挟在する。 7.23~7.97m: 幅3mm以下の褐色粘土・灰白色粘土を多数挟在する。 8.17~8.75m: 幅2mm以下の褐色粘土・灰白色粘土を多数挟在する。 8.86~8.87m: 交差する割れ目に沿って幅1~5mmの褐色粘土及び灰白色粘土を挟在する。 9.00~9.63m: 幅3mm以下の灰白色粘土・褐色粘土を多数挟在する。	3	44	141	18	120	12	12	D'	100																																																													
																																										10	94.21	0.16	コア取付部	硬質シルト	黒	Vg	Vg	3	δ	δ	0.00~0.16m: 礫混じり有機質シルト極めて軟らかい。 0.11~0.16m: 最大径2.5mmの歪角~歪円礫を含む。 0.16~106.11m: アプライト。 0.16~2.80m: 割れ目に木根が多い。 0.34~0.42m: 幅18~22mmの礫混じり砂状シルト状を呈する。 0.90m: 幅0.5~2mmの褐色粘土を挟在する。 2.96m, 3.36m: 幅0~4mmの褐色粘土を挟在する。 3.58~4.81m: 変質により石英粒(径2~8mm)を残して粘土化している。割れ目が不明瞭となる。 4.47m: 幅2~10mmの灰白色シルトを挟在する。 5.03~5.26m: 幅1mmの灰白色粘土及び褐色粘土を挟在する割れ目が発達する。 6.14~6.83m: 幅5mm以下の灰白色粘土及び褐色粘土を挟在する。 7.23~7.97m: 幅3mm以下の褐色粘土・灰白色粘土を多数挟在する。 8.17~8.75m: 幅2mm以下の褐色粘土・灰白色粘土を多数挟在する。 8.86~8.87m: 交差する割れ目に沿って幅1~5mmの褐色粘土及び灰白色粘土を挟在する。 9.00~9.63m: 幅3mm以下の灰白色粘土・褐色粘土を多数挟在する。	3	44	141	18	120	12	12	D'	100																			